

レジオネラ菌検査報告書

御中

国民宿舎 マリンテラスあしや

遠賀郡芦屋町山鹿1588

2025年3月10日

TEL;

FAX;

点検担当者

環境計量証明事業登録福岡県濃度第39号
建築物飲料水水質検査業登録 46号

環境計量証明事業登録福岡県濃度第39号
建築物飲料水水質検査業登録 46号

空 調 機 器 点 検 表

御中

国民宿舎 マリンテラスあしや

遠賀郡芦屋町山鹿1588

2025年3月10日

点検担当者

空 冷 ヒートポンプ エアコン 点検表

冷房 暖房

✓

管理番号	1		点検年月日		2025年3月10日	
施設名称			国民宿舎 マリンテラスあしや			点検担当者
記号名称(系統)		ACP-1 (1)	室内機 設置場所	B1階 機械室 (1)		設置年月
室外機 メーカー名	日立アプライアンス機	室外機 型式	RAC-AP1500CHV		室外機 設置場所	1階 屋外
電動機定格出力	31.6 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	30.7 kg
					追加 充填量	0.0 kg
					製造番号	UAHS3568
					総 充填量	30.7 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		31.2A
圧縮機	油量	目視点検				
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49		/
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ
運転圧力	高圧圧力			R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.83Mpa
	低圧圧力			R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.81Mpa
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		12℃
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		5℃
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること		23℃
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること		40℃
安全装置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動		/
	低圧圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動		/
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動		/
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認				○
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧	規定電圧の±110%以内	R-S	205V	○
				S-T	204V	○
				S-T	205V	○
	ヒューズ容量	目視点検	電源回路用ヒューズ容量		10A	○
	クランケーサヒーター	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○
電磁開閉器	目視点検	接点の焼損のないこと			○	
送風機関係	ファンベルト	目視点検	緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/
	電流	クランプメーターにて測定				/
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○
	エアフィルター	目視点検	目詰まりのないこと			◎
その他	機器冷媒系統	目視点検	漏れのないこと			○
	運転音	ベアリング等(グリス注入)	異音のないこと			○
	水漏れ	目視点検	漏れのないこと			○
	冷温水ポンプ	目視点検	チーリングユニット押し込み側			/
	清掃	目視点検	汚れ等ないこと			○
	デフロスト	作動確認	スムーズに作動すること			○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。						
【備考】						

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ エ ア コ ン 点 検 表

冷房	暖房
	✓

管理 番号	2	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者							
記号名称(系統)	ACP-1 (2)	室内機 設置場所	B1階 機械室 (2)	設置年月	2017年12月					
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAC-AP1500CHV	室外機 設置場所	1階 屋外	製造番号	UAHS3567			
電動機定格出力	31.6 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	30.7 kg	追加 充填量	0.0 kg	総 充填量	30.7 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値	判定			
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		21.3A	○			
圧 縮 機	油量	目視点検					/			
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49			/			
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
運 転 圧 力	高圧圧力			R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.66Mpa	○			
	低圧圧力			R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.79Mpa	○			
温 度	室外機	冷却風(空冷)		入		12℃	○			
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		5℃	○			
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること		24℃	○			
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること		39℃	○			
安 全 装 置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動			/			
	低圧圧力開閉器	ポンプタウンにて確認		定格圧力内で作動			/			
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動			/			
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認					○			
電 源 回 路	主電源電圧	各相間の電圧	規定電圧の±110%以内	R-S	206V	○				
				S-T	204V	○				
				S-T	205V	○				
	ヒューズ容量	目視点検	電源回路用ヒューズ容量		10A	○				
	クランケースヒーター	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○				
電磁開閉器	目視点検	接点の焼損のないこと			○					
送 風 機 関 係	ファンベルト	目視点検	緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/				
	電流	クランプメーターにて測定				/				
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○				
	エアフィルター	目視点検	目詰まりのないこと			◎				
そ の 他	機器冷媒系統	目視点検	漏れのないこと			○				
	運転音	ベアリング等(グリス注入)	異音のないこと			○				
	水漏れ	目視点検	漏れのないこと			○				
	冷温水ポンプ	目視点検	チーリングユニット押し込み側			/				
	清掃	目視点検	汚れ等ないこと			○				
	デフロスト	作動確認	スムーズに作動すること			○				
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒ ー ト ポ ン プ エ ア コ ン 点 検 表

冷房 暖房

✓

管理番号	3		点検年月日		2025年3月10日					
施設名称			国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者					
記号名称(系統)		ACP-3	室内機 設置場所	2階 宴会場系統(1)	設置年月	2018年1月				
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP450DSR4		室外機 設置場所	3階南側 屋外				
電動機定格出力	10.4kw (6.0+4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	9.5 kg				
					追加 充填量	0.0 kg				
					総 充填量	9.5 kg				
点検項目		点検方法		基準値		実測値 判定				
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		15.4A ○				
圧縮機	油量	目視点検				○ /				
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29~0.49		/				
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ ○				
運転圧力	高压圧力			R-410A (2.53~3.39Mpa)		2.75Mpa ○				
	低压圧力			R-410A (0.53~0.98Mpa)		0.71Mpa ○				
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		12℃ ○				
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		3℃ ○				
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること		○				
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること						
		吸込口温度	No.4	No.3	24℃		No.2	23℃	No.1	23℃
		吹出口温度			41℃			41℃		40℃
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動		/				
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動		/				
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動		/				
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認				○				
電源回路	主電源電圧	各相関の電圧		規定電圧の±110%以内		R-S	206V	○		
						S-T	205V	○		
						S-T	205V	○		
	ヒューズ'容量	目視点検		電源回路用ヒューズ'容量		20A	○			
	クランケースピーター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと			○				
送風機関係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/			
	電流	クランプメーターにて測定					/			
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと			◎			
その他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと			○			
	運転音	ベアリング等(グリス注入)		異音のないこと			○			
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと			○			
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側			/			
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと			○			
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること			○			
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒ ー ト ポ ン プ ° エ ア コ ン 点 検 表

冷房	暖房
	✓

管理番号	4	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者							
記号名称(系統)	ACP-4	室内機設置場所	2階 宴会場系統(2)	設置年月	2018年1月					
室外機 メーカー名	日立アプライアンス機	室外機 型式	RAS-AP400DSR4		室外機設置場所	3階南側 屋外	製造番号	UAJA2491		
電動機定格出力	9.2 kw (4.8 + 4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	8.5 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	8.5 kg
点検項目		点検方法		基準値			実測値	判定		
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下			11.8A	○		
圧縮機	油量	目視点検						/		
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29~0.49				/		
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○		
運転圧力	高压圧力			R-410A (2.53~3.39Mpa)			2.69Mpa	○		
	低压圧力			R-410A (0.53~0.98Mpa)			0.73Mpa	○		
温度	室外機	冷却風(空冷)		入			13℃	○		
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出			5℃	○		
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること			○			
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること						
		吸込口温度	No.1	25℃	No.2	24℃		No.2	23℃	No.1
吹出口温度	No.1	40℃	No.2	40℃	No.2	41℃	No.1	42℃		
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動				/		
	低压圧力開閉器	ポンプタウにて確認		定格圧力内で作動				/		
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動				/		
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認						○		
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧		規定電圧の±110%以内			R-S	205V	○	
							S-T	203V	○	
							S-T	205V	○	
	ヒューズ容量	目視点検		電源回路用ヒューズ容量			20A	○		
	クランケースヒーター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○		
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと				○			
送風機関係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと			サイズ 本数	/		
	電流	クランプメーターにて測定						/		
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○		
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと				◎		
その他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと				○		
	運転音	ヘアリング等(ガス注入)		異音のないこと				○		
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと				○		
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側				/		
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと				○		
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること				○		
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ ° エ ア コ ン 点 検 表

冷房	暖房
	✓

管理番号	5	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者						
記号名称(系統)		ACP-5	室内機設置場所	2階 宴会場系統 (3)	設置年月	2018年1月				
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP450DSR4		室外機設置場所	3階南側 屋外	製造番号	UAJA2620		
電動機定格出力	10.4 kw (6.0 + 4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	9.5 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	9.5 kg
点検項目		点検方法			基準値		実測値	判定		
総合	運転電流	クランプメーターにて測定			定格の 115%以下		20.2A	○		
圧縮機	油量	目視点検						/		
	油圧	油圧圧力計で調べる			蒸発圧 +0.29～0.49			/		
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定			1 MΩ以上		100MΩ	○		
運転圧力	高压圧力				R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.72Mpa	○		
	低压圧力				R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.73Mpa	○		
温度	室外機	冷却風(空冷)			入		13℃	○		
		冷却水(冷房時)			入口 32℃以下 出口37℃以下 出		6℃	○		
	室内機	吸込口温度測定			冷房時 10℃前後の温度差があること				○	
		吹出口温度測定			暖房時 15℃前後の温度差があること					
		吸込口温度	No.4	25℃	No.3	25℃	No.2	26℃		No.1
吹出口温度		41℃		42℃		43℃		42℃		
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認			定格圧力内で作動			/		
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認			定格圧力内で作動			/		
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認			定格圧力内で作動			/		
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認						○		
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧			規定電圧の±110%以内		R-S	206V	○	
							S-T	203V	○	
							S-T	204V	○	
	ヒューズ容量	目視点検			電源回路用ヒューズ容量		20A	○		
	クランケーサヒーター	500Vメガにて絶縁測定			1 MΩ以上		100MΩ	○		
電磁開閉器	目視点検			接点の焼損のないこと			○			
送風機関係	ファンベルト	目視点検			緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/		
	電流	クランプメーターにて測定						/		
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定			1 MΩ以上		100MΩ	○		
	エアフィルター	目視点検			目詰まりのないこと			◎		
その他	機器冷媒系統	目視点検			漏れのないこと			○		
	運転音	ベアリング等(グリス注入)			異音のないこと			○		
	水漏れ	目視点検			漏れのないこと			○		
	冷温水ポンプ	目視点検			チーリングユニット押し込み側			/		
	清掃	目視点検			汚れ等ないこと			○		
	デフロスト	作動確認			スムーズに作動すること			○		
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可										
* 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒートポンプ エアコン 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	6	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者							
記号名称(系統)	ACP-6	室内機設置場所	3階 宴会場系統 (1)	設置年月	2018年1月					
室外機 メーカー名	日立アプライアンス機	室外機 型式	RAS-AP450DSR4	室外機設置場所	3階北側 屋外	製造番号	UAJA2619			
電動機定格出力	10.4 kw (6.0 + 4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	9.5 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	9.5 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値	判定			
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		17.5A	○			
圧縮機	油量	目視点検					/			
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29~0.49			/			
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
運転圧力	高压圧力			R-410A (2.53~3.39Mpa)		2.75Mpa	○			
	低压圧力			R-410A (0.53~0.98Mpa)		0.74Mpa	○			
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		13℃	○			
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		5℃	○			
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること		○				
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること						
		吸込口温度	No.4	25℃	No.3		24℃	No.2	24℃	No.1
吹出口温度		42℃		43℃		42℃		40℃		
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動			/			
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動			/			
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動			/			
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認					○			
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧		規定電圧の±110%以内		R-S	205V	○		
						S-T	203V	○		
						S-T	205V	○		
	ヒューズ容量	目視点検		電源回路用ヒューズ容量		20A	○			
	クランケーサヒーター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと			○				
送風機関係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/			
	電流	クランプメーターにて測定					/			
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと			◎			
その他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと			○			
	運転音	ベアリング等(グリス注入)		異音のないこと			○			
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと			○			
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側			/			
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと			○			
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること			○			
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒートポンプ エアコン 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	7	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者							
記号名称(系統)	ACP-7	室内機設置場所	3階 宴会場系統(2)	設置年月	2018年1月					
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP450DSR4		室外機設置場所	3階 北側屋外	製造番号	UAJA2617		
電動機定格出力	10.4 kw (6.0 + 4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	9.5 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	9.5 kg
点検項目		点検方法		基準値			実測値	判定		
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下			16.3A	○		
圧縮機	油量	目視点検					○	/		
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29~0.49				/		
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○		
運転圧力	高压圧力			R-410A (2.53~3.39Mpa)			2.62Mpa	○		
	低压圧力			R-410A (0.53~0.98Mpa)			0.77Mpa	○		
温度	室外機	冷却風(空冷)		入			13℃	○		
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出			5℃	○		
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること			○			
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること						
		吸込口温度	No.4	24℃	No.3	23℃		No.2	22℃	No.1
吹出口温度		40℃		41℃		40℃		41℃		
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動				/		
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動				/		
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動				/		
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認						○		
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧		規定電圧の±110%以内			R-S	206V	○	
							S-T	205V	○	
							S-T	205V	○	
	ヒューズ容量	目視点検		電源回路用ヒューズ容量			20A	○		
	クランケースピーター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○		
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと				○			
送風機関係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと			サイズ 本数	/		
	電流	クランプメーターにて測定						/		
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○		
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと				◎		
その他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと				○		
	運転音	ベアリング等(グリス注入)		異音のないこと				○		
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと				○		
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側				/		
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと				○		
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること				○		
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ エ ア コ ン 点 検 表

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ エ ア コ ン 点 検 表										冷房	暖房
											✓
管理番号	8				点検年月日		2025年3月10日				
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや				点検担当者					
記号名称(系統)		ACP-8		室内機 設置場所	B1階系統 (3)		設置年月		2018年1月		
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP140GH3		室外機 設置場所	1階 屋外		製造番号	UAJD1031		
電動機定格出力	2.5 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	3.8 kg	追加 充填量	0.0 kg	総 充填量	3.8 kg	
点検項目		点検方法			基準値			実測値	判定		
総合	運転電流	クランプメーターにて測定			定格の 115%以下			6.3A	○		
圧縮機	油量	目視点検						○	/		
	油圧	油圧圧力計で調べる			蒸発圧 +0.29～0.49				/		
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定			1 MΩ以上			100MΩ	○		
運転圧力	高压圧力				R-410A (2.53～3.39Mpa)			2.71Mpa	○		
	低压圧力				R-410A (0.53～0.98Mpa)			0.80Mpa	○		
温度	室外機	冷却風(空冷)			入			12℃	○		
		冷却水(冷房時)			入口 32℃以下 出口37℃以下 出			5℃	○		
	室内機	吸込口温度測定			冷房時 10℃前後の温度差があること			23℃	○		
		吹出口温度測定			暖房時 15℃前後の温度差があること			41℃	○		
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認			定格圧力内で作動				/		
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認			定格圧力内で作動				/		
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認			定格圧力内で作動				/		
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認							○		
電源回路	主電源電圧	各相関の電圧			規定電圧の±110%以内		R-S	205V	○		
							S-T	203V	○		
							S-T	203V	○		
	ヒューズ容量	目視点検			電源回路用ヒューズ容量			10A	○		
	クランケースピーター	500Vメガにて絶縁測定			1 MΩ以上			100MΩ	○		
電磁開閉器	目視点検			接点の焼損のないこと				○			
送風機関係	ファンベルト	目視点検			緩み・損傷のないこと			サイズ 本数	/		
	電流	クランプメーターにて測定							/		
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定			1 MΩ以上			100MΩ	○		
	エアフィルター	目視点検			目詰まりのないこと				◎		
その他	機器冷媒系統	目視点検			漏れのないこと				○		
	運転音	ベアリング等(グリス注入)			異音のないこと				○		
	水漏れ	目視点検			漏れのないこと				○		
	冷温水ポンプ	目視点検			チーリングユニット押し込み側				/		
	清掃	目視点検			汚れ等ないこと				○		
	デフロスト	作動確認			スムーズに作動すること				○		
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。											
【備考】											

空 冷 ヒートポンプ エアコン 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	9	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者							
記号名称(系統)	ACP-9	室内機設置場所	1階系統 (1)	設置年月	2018年1月					
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP160GH3		室外機設置場所	1階 屋外	製造番号	UAHY3953		
電動機定格出力	2.5 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	3.8 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	3.8 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値	判定			
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		6.3A	○			
圧縮機	油量	目視点検					/			
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29~0.49			/			
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
運転圧力	高压圧力			R-410A (2.53~3.39Mpa)		2.56Mpa	○			
	低压圧力			R-410A (0.53~0.98Mpa)		0.76Mpa	○			
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		13℃	○			
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		7℃	○			
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること				○		
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること						
		吸込口温度	No.4	No.3	No.2	24℃	No.1		24℃	
吹出口温度				40℃		43℃				
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動			/			
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動			/			
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動			/			
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認					○			
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧		規定電圧の±110%以内		R-S	206V	○		
						S-T	205V	○		
						S-T	206V	○		
	ヒューズ容量	目視点検		電源回路用ヒューズ容量		20A	○			
	クランケーサヒーター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと			○				
送風機関係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/			
	電流	クランプメーターにて測定					/			
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと			◎			
その他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと			○			
	運転音	ベアリング等(グリス注入)		異音のないこと			○			
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと			○			
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側			/			
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと			○			
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること			○			
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空冷ヒートポンプエアコン 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	10	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者							
記号名称(系統)	ACP-10	室内機設置場所	1階系統(2)	設置年月	2018年1月					
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP112GH3	室外機設置場所	1階 屋外	製造番号	UAJD0907			
電動機定格出力	3.19 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	3.8 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	3.8 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値	判定			
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		7.0A	○			
圧縮機	油量	目視点検					/			
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49			/			
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
運転圧力	高圧圧力			R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.69Mpa	○			
	低圧圧力			R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.77Mpa	○			
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		12℃	○			
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		6℃	○			
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること		24℃	○			
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること		42℃	○			
安全装置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動			/			
	低圧圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動			/			
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動			/			
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認					○			
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧	規定電圧の±110%以内	R-S	206V	○				
				S-T	204V	○				
				S-T	205V	○				
	ヒューズ容量	目視点検	電源回路用ヒューズ容量		10A	○				
	クランケースヒーター	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○				
電磁開閉器	目視点検	接点の焼損のないこと			○					
送風機関係	ファンベルト	目視点検	緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/				
	電流	クランプメーターにて測定				/				
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○				
	エアフィルター	目視点検	目詰まりのないこと			◎				
その他	機器冷媒系統	目視点検	漏れのないこと			○				
	運転音	ベアリング等(グリス注入)	異音のないこと			○				
	水漏れ	目視点検	漏れのないこと			○				
	冷温水ポンプ	目視点検	チーリングユニット押し込み側			/				
	清掃	目視点検	汚れ等ないこと			○				
	デフロスト	作動確認	スムーズに作動すること			○				
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ ° エ ア コ ン 点 検 表

冷房	暖房
	✓

管理番号	11	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリニテラスあしや		点検担当者							
記号名称(系統)	ACP-11	室内機設置場所	1階系統 (3)	設置年月	2018年1月					
室外機 メーカー名	ダイキン工業(株)	室外機 型式	RZRP112BDA	室外機設置場所	1階 屋外	製造番号	A000240			
電動機定格出力	1.95 kw	冷媒番号・種類	R-32	HFC	機器封入量	3.15 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	3.15 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値	判定			
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		5.6A	○			
圧縮機	油量	目視点検				○	/			
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49			/			
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
運転圧力	高圧圧力			R-32 (2.53～3.39Mpa)		2.72Mpa	○			
	低圧圧力			R-32 (0.53～0.98Mpa)		0.81Mpa	○			
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		13℃	○			
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		7℃	○			
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること		23℃	○			
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること		43℃	○			
安全装置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動			/			
	低圧圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動			/			
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動			/			
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認					○			
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧	規定電圧の±110%以内	R-S	206V	○				
				S-T	203V	○				
				S-T	204V	○				
	ヒューズ容量	目視点検	電源回路用ヒューズ容量		10A	○				
	クランクケースヒーター	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○				
電磁開閉器	目視点検	接点の焼損のないこと			○					
送風機関係	ファンベルト	目視点検	緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/				
	電流	クランプメーターにて測定				/				
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○				
	エアフィルター	目視点検	目詰まりのないこと			◎				
その他	機器冷媒系統	目視点検	漏れのないこと			○				
	運転音	ベアリング等(グリス注入)	異音のないこと			○				
	水漏れ	目視点検	漏れのないこと			○				
	冷温水ポンプ	目視点検	チーリングユニット押し込み側			/				
	清掃	目視点検	汚れ等ないこと			○				
	デフロスト	作動確認	スムーズに作動すること			○				
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ エ ア コ ン 点 検 表

冷房	暖房
	✓

管理 番号	12	点検年月日	2025年3月10日					
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者				
記号名称(系統)		ACP-14 (1)	室内機 設置場所	2階 レストラン系統 (1)	設置年月	2018年1月		
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP450DSR3		室外機 設置場所	屋上		
電動機定格出力	9.6 kw (4.8 + 4.8)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	15.4 kg (7.7 + 7.7)		
					追加 充填量	0.0 kg		
					総 充填量	15.4 kg		
製造番号		UAJA2622 UAJA2624						
点検項目		点検方法		基準値		実測値	判定	
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		6.9A	○	
圧 縮 機	油量	目視点検				○	/	
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49			/	
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○	
運 転 圧 力	高压圧力			R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.87Mpa	○	
	低压圧力			R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.78Mpa	○	
温 度	室外機	冷却風(空冷)		入		12℃	○	
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		4℃	○	
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること		○		
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること				
		吸込口温度	No.4	No.3	No.2		24℃	No.1
吹出口温度				40℃		41℃		
安 全 装 置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動			/	
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動			/	
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動			/	
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認					○	
電 源 回 路	主電源電圧	各相間の電圧		規定電圧の±110%以内		R - S	207V	○
						S - T	205V	○
						S - T	206V	○
	ヒューズ容量	目視点検		電源回路用ヒューズ容量			20A	○
	クランケーブスター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと				○	
送 風 機 関 係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと		サイズ 本数		/
	電流	クランプメーターにて測定						/
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上			100MΩ	○
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと				◎
そ の 他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと				○
	運転音	ベアリング等(グリス注入)		異音のないこと				○
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと				○
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側				/
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと				○
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること				○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。								
【備考】								

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ エ ア コ ン 点 検 表

冷房 暖房

✓

管理 番号	13					点検年月日	2025年3月10日			
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや				点検担当者				
記号名称(系統)		ACP-14 (2)		室内機 設置場所	2階 レストラン系統 (2)		設置年月		2018年1月	
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP450DSR3		室外機 設置場所	屋上		製造番号	UAJA2626 UAJA2625	
電動機定格出力	9.6 kw (4.8 + 4.8)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	15.4 kg (7.7 + 7.7)	追加 充填量	0.0 kg	総 充填量	15.4 kg
点検項目		点検方法				基準値		実測値	判定	
総合	運転電流	クランプメーターにて測定				定格の 115%以下		10.7A	○	
圧 縮 機	油量	目視点検						○	/	
	油圧	油圧圧力計で調べる				蒸発圧 +0.29～0.49			/	
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定				1 MΩ以上		100MΩ	○	
運 転 圧 力	高压圧力					R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.74Mpa	○	
	低压圧力					R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.79Mpa	○	
温 度	室外機	冷却風(空冷)				入		12℃	○	
		冷却水(冷房時)				入口 32℃以下 出口37℃以下 出		8℃	○	
	室内機	吸込口温度測定				冷房時 10℃前後の温度差があること			○	
		吹出口温度測定				暖房時 15℃前後の温度差があること				
		吸込口温度	No.1		No.3		No.2	23℃		
	吹出口温度						41℃		40℃	
安 全 装 置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認				定格圧力内で作動			/	
	低压圧力開閉器	ポンプタウンにて確認				定格圧力内で作動			/	
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認				定格圧力内で作動			/	
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認							○	
電 源 回 路	主電源電圧	各相間の電圧				規定電圧の±110%以内		R-S	206V	○
								S-T	207V	○
								S-T	207V	○
	ヒューズ容量	目視点検				電源回路用ヒューズ容量		20A	○	
	クランケー・スピーター	500Vメガにて絶縁測定				1 MΩ以上		100MΩ	○	
電磁開閉器	目視点検				接点の焼損のないこと			○		
送 風 機 関 係	ファンベルト	目視点検				緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/	
	電流	クランプメーターにて測定							/	
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定				1 MΩ以上		100MΩ	○	
	エアフィルター	目視点検				目詰まりのないこと			◎	
そ の 他	機器冷媒系統	目視点検				漏れのないこと			○	
	運転音	ベアリング等(グリス注入)				異音のないこと			○	
	水漏れ	目視点検				漏れのないこと			○	
	冷温水ポンプ	目視点検				チーリングユニット押し込み側			/	
	清掃	目視点検				汚れ等ないこと			○	
	デフロスト	作動確認				スムーズに作動すること			○	
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ ° エ ア コ ン 点 検 表

冷房	暖房
	✓

管理 番号	14	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者						
記号名称(系統)		ACP-18	室内機 設置場所	3階 北側屋外	設置年月	2011年11月				
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP335DSR4		室外機 設置場所	3階 北側屋外	製造番号	UAHK4151		
電動機定格出力	7.2 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	7.2 kg	追加 充填量	0.0 kg	総 充填量	7.2 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値	判定			
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		9.9A	○			
圧縮機	油量	目視点検					/			
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49			/			
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
運転圧力	高圧圧力			R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.86Mpa	○			
	低圧圧力			R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.79Mpa	○			
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		10℃	○			
		冷却水(冷房時)		入口 32℃以下 出口37℃以下 出		6℃	○			
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10℃前後の温度差があること			○			
		吹出口温度測定		暖房時 15℃前後の温度差があること						
		吸込口温度	No.4	No.3	No.2	23℃		No.1	23℃	
		吹出口温度				40℃			43℃	
安全装置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動			/			
	低圧圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動			/			
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動			/			
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認					○			
電源回路	主電源電圧	各相間の電圧		規定電圧の±110%以内		R-S	206V	○		
						S-T	205V	○		
						S-T	207V	○		
	ヒューズ容量	目視点検		電源回路用ヒューズ容量		20A	○			
	クランクヒーター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと			○				
送風機関係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと		サイズ 本数	/			
	電流	クランプメーターにて測定					/			
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ	○			
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと			◎			
その他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと			○			
	運転音	ベアリング等(グリス注入)		異音のないこと			○			
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと			○			
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側			/			
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと			○			
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること			○			
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。										
【備考】										

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室外機) 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	15	点検年月日	2025年3月10日								
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや				点検担当者						
記号名称(系統)	MAC-3B	設置場所	3階 南側屋外		設置年月	2018年1月					
メーカー名	日立アプライアンス	型式	RAS-AP335SG		製造番号	UEXY0315					
電動機定格出力	6.8 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	9.3 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	9.3 kg	
点検項目		点検方法		基準値		実測値		判定			
絶縁測定	圧縮機	500Vメガにて測定 (U・V・W)		1MΩ以上		INV	100 MΩ		○		
									/		
	電源回路	500Vメガにて測定		1MΩ以上		MF	100 MΩ		○		
		500Vメガにて測定		1MΩ以上			100 MΩ		○		
									/		
クランケースヒーター	500Vメガにて測定		1MΩ以上					/			
	テスターにて導通を確認		断線なきこと					/			
電気系統	電源ブレーカー、電源配線接続端子・コネクタ類	目視点検		規程容量のこと			75 A		○		
		電源端子のビス締付を確認。目視、差込確認		抜け、緩みなきこと					○		
冷媒	機内冷媒系統	機内冷媒配管の溶接部及びフレア部をリークテスターにて確認		漏れなきこと					○		
運転データ	電源電圧	運転時に各相間をテスターにて測定		定格電圧の±110%以内電圧 降下なきこと		R-S	206 V		○		
						S-T	205 V				
						S-T	206 V				
	圧縮機運転電流	クランプメーターにて測定		過電流継電器電子サーマルの作動セット値未満		INV	U	16.2 A	○		
							V	15.3 A			
							W	15.9 A			
								インバーター			/
								インバーター			
								インバーター			
	高圧圧力	運転開始後20分以降、安定状態でサービスチェッカーもしくは、圧力ゲージにて測定		2.53～3.39Mpa (暖房時のみ*)		2.63 Mpa		○			
	低圧圧力			0.53～0.98Mpa (冷房時のみ*)				/			
	吐出管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定		(Tc+20)～120℃		INV	63 ℃		○		
				Tc; 高圧圧力 相当飽和、凝縮温度					/		
	吸入管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定 (吸入管サーミスタ付近で計測)		Te+ (2～20)℃		11 ℃		○			
Te; 低圧圧力 相当飽和、蒸発温度											
外気温度 (A)	温度計にて測定(乾球温度) (外機吹出温度の影響を受けない所で測定)		冷房時 -5～43℃ 暖房時 -15～16℃		13 ℃		○				
吸込空気温度 (B)	温度計にて測定				13 ℃		○				
ショートサーキット値	上記 (B) - (A) = Δt		Δt < 5deg		0 ℃		○				
その他	送風機	ファン回転方向、取付向き、通路側に障害物がないか目視にて確認		異常なきこと				○			
	異音・振動	ケーシング・ファン付近を聴感にて確認		異常なきこと				○			
	外観・熱交換器	破損・汚れ等がないか目視にて確認		異常なきこと				○			
【判定】 ○; 良好 ; 要処置(運転可能) ; 要処置(運転不可) ◎; 処置後良好 /; 点検不要 -; 点検不可 *運転圧力の基準値は、高圧圧力は暖房運転時、低圧圧力は、冷房運転時の判断基準です。尚冷房運転時の高圧圧力、鈍宝時の低圧圧力は負荷・使用環境により大きく変動する為、小負荷時、過負荷時には基準値の範囲から外れることがあります。計測時の運転モードと負荷状況に応じて運転状態から見て良否を判定しています。 【備考】											

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室内機) 点検表

		冷房		暖房					
管理番号	15-1					✓			
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや							
記号名称(系統)		MAC-3B	室外機 設置場所		3階 南側屋外				
室外機 メーカー名		日立アプライアンス(株)	室外機 型式		RAS-AP335SG				
番号	室内機 型式	機番	室内機 設置場所			ユニットNo.			
No.1	RCB-GP56K1		3階 和室 (1)						
No.2	RCB-GP90K1		3階 和室 (2)						
No.3	RCB-GP80K1		3階 和室 (3)						
No.4	RCB-GP80K1		3階 和室 (4)						
No.5	RCB-GP45K		3階 客室廊下						
点検項目		点検方法	基準	実測値					
絶縁	電気ヒーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	判定
	ファンモーター			/	/	/	/	/	/
運転データ	吸込温度	温度計にて	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後	23	24	24	25	25	○
	吹出温度			41	40	42	43	42	○
	温度差	吸込温度と吹出温度の温度差		18	16	18	18	17	○
	運転音	聴感		異常音なきこと	○	○	○	○	○
その他	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと	/	/	/	/	/	/
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること	○	○	○	○	○	○
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事	○	○	○	○	○	○
番号	室内機 型式	機番	室内機 設置場所			ユニットNo.			
(この欄は空欄です)									
点検項目		点検方法	基準	実測値					
絶縁	電気ヒーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上						
	ファンモーター								
運転データ	吸込温度	温度計にて	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後						
	吹出温度								
	温度差	吸込温度と吹出温度の温度差							
	運転音	聴感		異常音なきこと					
その他	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと						
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと						
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること						
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事						
[判定] ○:良好 ; 要処置(運転可能) ; 要処置(運転不可) ◎:処置後良好 /; 点検不要 -; 点検不可 【備考】									

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室外機) 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	16	点検年月日	2025年3月10日							
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや				点検担当者					
記号名称(系統)	MAC-4A	設置場所	屋上			設置年月	2018年1月			
メーカー名	日立アプライアンス㈱	型式	RAS-AP335SG / RAS-AP280SG			製造番号	UEXY0313			
電動機定格出力	12.3 kw (6.8 + 5.5)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器 封入量	17.8kg (9.3 + 8.5)	追加 充填量	0.0 kg	総 充填量	17.8 kg
点検項目		点検方法		基準値		実測値		判定		
絶縁測定	圧縮機	500Vメガにて測定 (U・V・W)		1MΩ以上		INV	100 MΩ		○	
						INV 2	100 MΩ		○	
	電源回路	500Vメガにて測定		1MΩ以上		MF	100 MΩ		○	
		500Vメガにて測定		1MΩ以上			100 MΩ		○	
	クランケースヒーター					CH 1	100 MΩ 導通(有)		○	
		500Vメガにて測定 テスターにて導通を確認		1MΩ以上 断線なきこと		CH 2	100 MΩ 導通(有)		○	
					導通(有)		/			
電気系統	電源ブレーカー、電源配線接続端子・コネクタ類	目視点検 電源端子のビス締付を確認。目視、差込確認		規程容量のこと 抜け、緩みなきこと			200 A		○	
	冷媒	機内冷媒系統	機内冷媒配管の溶接部及びフレア部をリークテスターにて確認		漏れなきこと				○	
運転データ	電源電圧	運転時に各相間をテスターにて測定		定格電圧の±110%以内電圧 降下なきこと		R-S	206 V		○	
						S-T	205 V			
						S-T	205 V			
	圧縮機運転電流	クランプメーターにて測定		過電流継電器電子サーマルの作動セット値未満		INV	U	6.5 A	○	
							V	6.0 A		
							W	6.0 A		
						INV 2	インバーター	U	18.7 A	○
							V	16.5 A		
							W	16.9 A		
	高圧圧力	運転開始後20分以降、安定状態でサービスチェッカーもしくは、圧力ゲージにて測定		2.53～3.39Mpa (暖房時のみ*) 0.53～0.98Mpa (冷房時のみ*)		2.71 Mpa		○		
								/		
								/		
吐出管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定		(Tc+20)～120℃ Tc; 高圧圧力 相当飽和、凝縮温度		INV	63 ℃		○		
					INV 2	65 ℃		○		
吸入管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定 (吸入管サーミスタ付近で計測)		Te+(2～20)℃ Te; 低圧圧力 相当飽和、蒸発温度		8 ℃		○			
							/			
外気温度 (A)	温度計にて測定(乾球温度) (外機吹出温度の影響を受けない所で測定)		冷房時 -5～43℃ 暖房時 -15～16℃		12 ℃		○			
吸込空気温度 (B)	温度計にて測定				12 ℃		○			
ショートサーキット値	上記 (B) - (A) = Δt		Δt < 5deg				○			
その他	送風機	ファン回転方向、取付向き、通路側に障害物がないか目視にて確認		異常なきこと				○		
	異音・振動	ケーシング・ファン付近を聴感にて確認		異常なきこと				○		
	外観・熱交換器	破損・汚れ等がないか目視にて確認		異常なきこと				○		
【判定】 ○; 良好 △; 要処置(運転可能) ×; 要処置(運転不可) ◎; 処置後良好 /; 点検不要 -; 点検不可 *運転圧力の基準値は、高圧圧力は暖房運転時、低圧圧力は、冷房運転時の判断基準です。尚冷房運転時の高圧圧力、鈍宝時の低圧圧力は負荷・使用環境により大きく変動する為、小負荷時、過負荷時には基準値の範囲から外れることがあります。計測時の運転モードと負荷状況に応じて運転状態から見て良否を判定しています。 【備考】										

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室内機) 点検表

		冷房	暖房
管理番号	16-1		✓
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		
記号名称(系統)	MAC-4A	室外機 設置場所	屋上
室外機 メーカー名	日立アプライアンス㈱	室外機 型式	RAS-AP615SG
番号	室内機 型式	機番	室内機 設置場所
No.1	RCID-GP36K		4階 エレベーターホール
No.2	RCB-GP45K1		4階 客室 (1)
No.3	RCB-GP45K1		4階 客室 (2)
No.4	RCB-GP45K1		4階 客室 (3)
No.5	RCB-GP45K1		4階 客室 (4)
No.6	RCB-GP45K1		4階 客室 (5)
No.7	RCB-GP56K1		4階 客室 (6)
No.8	RCB-GP56K1		4階 客室 (7)
点検項目	点検方法	基準	実測値
絶縁	電気ヒーター ファンモーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上
運転データ	吸込温度 吹出温度	温度計にて	
その他	温度差	吸込温度と吹出温度の 温度差	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後
	運転音	聴感	異常音なきこと
	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事
番号	室内機 型式	機番	室内機 設置場所
No.9	RCB-GP56K1		4階 客室 (7)
No.10	RCB-GP90K1		4階 客室 (8)
No.11	RCID-GP45K		4階 客室廊下 北 (1)
No.12	RCID-GP45K		4階 客室廊下 北 (2)
No.13	RCID-GP45K		4階 客室廊下 北 (3)
点検項目	点検方法	基準	実測値
絶縁	電気ヒーター ファンモーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上
運転データ	吸込温度 吹出温度	温度計にて	
その他	温度差	吸込温度と吹出温度の 温度差	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後
	運転音	聴感	異常音なきこと
	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事
[判定] ○:良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎:処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 【備考】			

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室外機) 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	17	点検年月日	2025年3月10日								
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					点検担当者					
記号名称(系統)	MAC-4B	設置場所	4階 客室(南側)			設置年月	2018年1月				
メーカー名	日立アプライアンス㈱	型式	RAS-AP335SG			製造番号	UAHY0314				
電動機定格出力	6.8 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	9.3 kg	追加充填量	0.0 kg	総充填量	9.3 kg	

点検項目		点検方法	基準値	実測値		判定		
絶縁測定	圧縮機	500Vメガにて測定 (U・V・W)	1MΩ以上	INV	100 MΩ	○		
						/		
	電源回路	500Vメガにて測定	1MΩ以上	MF	100 MΩ	○		
		500Vメガにて測定	1MΩ以上		100 MΩ	○		
	クランケースヒーター	500Vメガにて測定 テスターにて導通を確認	1MΩ以上 断線なきこと	CH 1	100 MΩ 導通(有)	○		
					導通(有)	/		
				導通(有)	/			
電気系統	電源ブレーカー、電源配線接続端子・コネクタ類	目視点検 電源端子のビス締付を確認。目視、差込確認	規程容量のこと 抜け、緩みなきこと		75 A	○		
	冷媒	機内冷媒系統	機内冷媒配管の溶接部及びフレア部をリークテスターにて確認	漏れなきこと		○		
運転データ	電源電圧	運転時に各相間をテスターにて測定	定格電圧の±110%以内電圧 降下なきこと	R-S	206 V	○		
				S-T	205 V			
				S-T	206 V			
	圧縮機運転電流	クランプメーターにて測定	過電流継電器電子サーマルの作動セット値未満	INV	U	10.9 A	○	
					V	8.8 A		
					W	8.9 A		
					インバーター			/
					インバーター			
					インバーター			
	高圧圧力	運転開始後20分以降、安定状態でサービスチェッカーもしくは、圧力ゲージにて測定	2.53～3.39Mpa (暖房時のみ*) 0.53～0.98Mpa (冷房時のみ*)	INV	2.64 Mpa	○		
						/		
	吐出管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定	Tc+(20)～120℃ Tc; 高圧圧力 相当飽和、凝縮温度	INV	63 ℃	○		
						/		
	吸入管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定 (吸入管サーミスタ付近で計測)	Te+(2～20)℃ Te; 低圧圧力 相当飽和、蒸発温度		8 ℃	○		
外気温度 (A)	温度計にて測定(乾球温度) (外機吹出温度の影響を受けない所で測定)	冷房時 -5～43℃ 暖房時 -15～16℃		12 ℃	○			
吸込空気温度 (B)	温度計にて測定			12 ℃	○			
ショートサーキット値	上記 (B) - (A) = Δt	Δt < 5deg		0 ℃	○			
その他	送風機	ファン回転方向、取付向き、通路側に障害物がないか目視にて確認	異常なきこと		○			
	異音・振動	ケーシング・ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと		○			
	外観・熱交換器	破損・汚れ等がないか目視にて確認	異常なきこと		○			

[判定] ○; 良好 ; 要処置(運転可能) ; 要処置(運転不可) ◎; 処置後良好 /; 点検不要 -; 点検不可

*運転圧力の基準値は、高圧圧力は暖房運転時、低圧圧力は、冷房運転時の判断基準です。尚冷房運転時の高圧圧力、鈍室時の低圧圧力は負荷・使用環境により大きく変動する為、小負荷時、過負荷時には基準値の範囲から外れることがあります。計測時の運転モードと負荷状況に応じて運転状態から見て良否を判定しています。

【備考】

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室内機) 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	17-1													
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや													
記号名称(系統)	MAC-4B			室外機 設置場所		4階 客室(南側)								
室外機 メーカー名	日立アプライアンス(株)			室外機 型式		RAS-AP335SG								
番号	室内機 型式		機番		室内機 設置場所				ユニットNo.					
No.1	RCID-GP71K				4階 リン室									
No.2	RCB-GP56K1				4階 客室 (1)									
No.3	RCB-GP56K1				4階 客室 (2)									
No.4	RCB-GP56K1				4階 客室 (3)									
No.5	RCB-GP90K1				4階 客室 (4)									
No.6	RCB-GP45K1				4階 客室廊下 南									
実測値														
点検項目		点検方法		基準		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	判定
絶縁	電気ヒーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	ファンモーター			100	100	100	100	100	100	100	100	100	○	
運転データ	吸込温度	温度計にて		24	23	23	24	25	24	24	24	23	○	
	吹出温度			41	40	42	42	41	40	41	42	○		
	温度差	吸込温度と吹出温度の温度差	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後	17	17	19	18	16	16	17	19	○		
	運転音	聴感	異常音なきこと	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
番号	室内機 型式		機番		室内機 設置場所				ユニットNo.					
No.9	AXCP36M				更衣室				RB-2					
No.10	AXCP36M				補導室				RB-2					
No.11	AXCP36M				生活安全課小会議室				RB-2					
No.12	AXWR71MC				捜査会議室				RB-2					
実測値														
点検項目		点検方法		基準		No.9	No.10	No.11	No.12					判定
絶縁	電気ヒーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上	/	/	/	/							/
	ファンモーター			100	100	100	100					○		
運転データ	吸込温度	温度計にて		23	23	24	24							○
	吹出温度			43	38	38	39					○		
	温度差	吸込温度と吹出温度の温度差	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後	20	15	14	15						○	
	運転音	聴感	異常音なきこと	○	○	○	○							○
その他	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと	◎	◎	◎	◎							◎
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと	/	/	/	/							/
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること	○	○	○	○							○
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事	○	○	○	○							○
[判定] ○;良好 △;要処置(運転可能) ×;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可														
【備考】														

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室外機) 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	18	点検年月日	2025年3月10日				
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや			点検担当者			
記号名称(系統)	MAC-5A	設置場所	屋上				
メーカー名	日立アプライアンス㈱	型式	RAS-AP335SG × 2				
電動機定格出力	13.6 kw (6.8 + 6.8)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量 18.6 kg (9.3 + 9.3) 追加充填量 0.0 kg 総充填量 18.6 kg		
点検項目		点検方法		基準値	実測値	判定	
絶縁測定	圧縮機	500Vメガにて測定 (U・V・W)	1MΩ以上	INV	100 MΩ	○	
				INV 2	100 MΩ	○	
	電源回路	500Vメガにて測定	1MΩ以上	MF	100 MΩ	○	
		500Vメガにて測定	1MΩ以上		100 MΩ	○	
		500Vメガにて測定 テスターにて導通を確認	1MΩ以上 断線なきこと	CH 1	100 MΩ 導通(有)	○	
クランケースヒーター			CH 2	100 MΩ 導通(有)	○		
					/		
電気系統	電源ブレーカー、電源配線接続端子・コネクタ類	目視点検 電源端子のビス締付を確認。目視、差込確認	規程容量のこと 抜け、緩みなきこと		200 A	○	
冷媒	機内冷媒系統	機内冷媒配管の溶接部及びフレア部をリークテスターにて確認	漏れなきこと			○	
運転データ	電源電圧	運転時に各相間をテスターにて測定	定格電圧の±110%以内電圧 降下なきこと	R-S S-T R-S	208 V 207 V 208 V	○	
	圧縮機運転電流	クランプメーターにて測定	過電流継電器電子サーマルの作動セット値未満	INV	U	6.2 A	○
					V	5.5 A	
					W	5.9 A	
				INV 2	インバーター U	13.6 A	○
					V	11.5 A	
					W	12.3 A	
				インバーター		/	
	高圧圧力	運転開始後20分以降、安定状態でサービスチェッカーもしくは、圧力ゲージにて測定	2.53～3.39Mpa (暖房時のみ*)		2.63 Mpa	○	
	低圧圧力		0.53～0.98Mpa (冷房時のみ*)			/	
	吐出管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定	(Tc+20)～120℃ Tc; 高圧圧力 相当飽和、凝縮温度	INV INV 2	61 ℃ 62 ℃	○ ○	
					/		
吸入管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定 (吸入管サーミスタ付近で計測)	Te+ (2～20)℃ Te; 低圧圧力 相当飽和、蒸発温度		8 ℃	○		
外気温度 (A)	温度計にて測定(乾球温度) (外機吹出温度の影響を受けない所で測定)	冷房時 -5～43℃ 暖房時 -15～16℃		12 ℃	○		
吸込空気温度 (B)	温度計にて測定			12 ℃	○		
ショートサーキット値	上記 (B) - (A) = Δt	Δt < 5deg		0 ℃	○		
その他	送風機	ファン回転方向、取付向き、通路側に障害物がないか目視にて確認	異常なきこと			○	
	異音・振動	ケーシング・ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			○	
	外観・熱交換器	破損・汚れ等がないか目視にて確認	異常なきこと			○	
【判定】 ○; 良好 -; 要処置(運転可能) -; 要処置(運転不可) ◎; 処置後良好 /; 点検不要 -; 点検不可 *運転圧力の基準値は、高圧圧力は暖房運転時、低圧圧力は、冷房運転時の判断基準です。尚冷房運転時の高圧圧力、純空時の低圧圧力は負荷・使用環境により大きく変動する為、小負荷時、過負荷時には基準値の範囲から外れることがあります。計測時の運転モードと負荷状況に応じて運転状態から見て良否を判定しています。 【備考】							

冷房	暖房
	✓

–30–

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室外機) 点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	19	点検年月日	2025年3月10日				
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや				点検担当者		
記号名称(系統)	MAC-5B	設置場所	5階 客室(南側)		設置年月	2018年1月	
メーカー名	日立アプライアンス機	型式	RAS-AP335SG		製造番号	UAHY0312	
電動機定格出力	6.8 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	9.3 kg	追加充填量
						0.0 kg	9.3 kg

点検項目		点検方法	基準値	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガにて測定 (I・V・W)	1MΩ以上	INV	100 MΩ	○
	電源回路	500Vメガにて測定	1MΩ以上	MF	100 MΩ	○
		500Vメガにて測定	1MΩ以上		100 MΩ	○
					100 MΩ	○
	クランケースヒーター	500Vメガにて測定 テスターにて導通を確認	1MΩ以上 断線なきこと	CH 1	導通(有)	○
電気系統	電源ブレーカー、電源配線接続端子・コネクタ類	目視点検	規程容量のこと			○
		電源端子のビス締付を確認。目視、差込確認	抜け、緩みなきこと			○
	冷媒	機内冷媒系統	機内冷媒配管の溶接部及びフレア部をリークテスターにて確認	漏れなきこと		
運転データ	電源電圧	運転時に各相間をテスターにて測定	定格電圧の±110%以内電圧 降下なきこと	R-S S-T S-T	207 V 205 V 205 V	○
	圧縮機運転電流	クランプメーターにて測定	過電流継電器電子サーマルの作動セット値未満	INV	U 11.5 A V 10.6 A W 10.9 A	○
				インバーター		/
				インバーター		/
	高圧圧力	運転開始後20分以降、安定状態でサービスチェッカーもしくは、圧力ゲージにて測定	2.53~3.39Mpa (暖房時のみ*)		2.76 Mpa	○
	低圧圧力		0.53~0.98Mpa (冷房時のみ*)			/
	吐出管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定	(Tc+20)~120℃	INV	66℃	○
			Tc; 高圧圧力 相当飽和、凝縮温度		/	
	吸入管温度	表面温度計、もしくはサービスチェッカーにて測定 (吸入管サーミスタ付近で計測)	Te+(2~20)℃		8℃	○
			Te; 低圧圧力 相当飽和、蒸発温度		/	
	外気温度 (A)	温度計にて測定(乾球温度) (外機吹出温度の影響を受けない所で測定)	冷房時 -5~43℃ 暖房時 -15~16℃		13℃	○
	吸込空気温度 (B)	温度計にて測定			13℃	○
	ショートサーキット値	上記 (B) - (A) = Δt	Δt < 5deg		0℃	○
	その他	送風機	ファン回転方向、取付向き、通路側に障害物がないか目視にて確認	異常なきこと		○
		異音・振動	ケーシング・ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと		○
外観・熱交換器		破損・汚れ等がないか目視にて確認	異常なきこと		○	

【判定】 ○:良好 ; 要処置(運転可能) ; 要処置(運転不可) ◎:処置後良好 /; 点検不要 -; 点検不可

*運転圧力の基準値は、高圧圧力は暖房運転時、低圧圧力は、冷房運転時の判断基準です。尚冷房運転時の高圧圧力、鈍宝時の低圧圧力は負荷・使用環境により大きく変動する為、小負荷時、過負荷時には基準値の範囲から外れることがあります。計測時の運転モードと負荷状況に応じて運転状態から見て良否を判定しています。

【備考】

空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン(室内機)点検表

冷房	暖房
	✓

管理番号	19-1											
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや											
記号名称(系統)	ACP-6	室外機 設置場所	5階 客室(南側)									
室外機 メーカー名	日立アプライアンス株	室外機 型式	RAS-AP450DSR4									
番号	室内機 型式	機番	室内機 設置場所	ユニットNo.								
No.1	RCID-GP36K		5階 リン室									
No.2	RCB-GP45K1		5階 客室 (1)									
No.3	RCB-GP56K1		5階 客室 (2)									
No.4	RCB-GP56K1		5階 客室 (3)									
No.5	RCB-GP56K1		5階 客室 (4)									
No.6	RCB-GP90K1		5階 客室 (5)									
No.7	RCID-GP45K		5階 客室廊下 南									
点検項目		点検方法	基準	実測値						判定		
				No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6			
絶縁	電気ヒーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上	/	/	/	/	/	/			/
	ファンモーター			100	100	100	100	100	100			○
運転データ	吸込温度	温度計にて		25	23	24	25	23	24			○
	吹出温度			40	41	42	41	42	40			○
	温度差	吸込温度と吹出温度の温度差	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後	15	18	18	16	19	16			○
	運転音	聴感	異常音なきこと	○	○	○	○	○	○			○
その他	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと	/	/	/	/	/	/			/
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること	○	○	○	○	○	○			○
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事	○	○	○	○	○	○			○
番号	室内機 型式	機番	室内機 設置場所	ユニットNo.								
点検項目		点検方法	基準	実測値						判定		
絶縁	電気ヒーター	500Vメガにて測定	1MΩ以上									
	ファンモーター											
運転データ	吸込温度	温度計にて										
	吹出温度											
	温度差	吸込温度と吹出温度の温度差	冷房時;10℃前後 暖房時;15℃前後									
	運転音	聴感	異常音なきこと									
その他	エアフィルター	目視確認	汚れ等なきこと									
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと									
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること									
	異常履歴	リモコンにて動作確認	履歴有事の時は原因除去の事									
[判定] ○;良好 □;要処置(運転可能) △;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可												
【備考】												

空冷ヒートポンプチラー 点検表

冷房
暖房

✓

管理番号	20	点検年月日	2025年3月10日			
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者			
記号名称(系統)	AHP-1	室内機 設置場所	設置年月	2014年1月		
室外機 メーカー名	ダイキン工業㈱	室外機 型式	UWAP75AR	室外機 設置場所		
電動機定格出力	2.20 kw	冷媒番号・種類	R-407C	HFC		
		機器 封入量	2.9 kg	追加 充填量		
		屋上	0.0 kg	製造番号		
				A003781		
		総 充填量	2.9 kg			
点検項目	点検方法		基準値	実測値	判定	
総合	運転電流	クランプメーターにて測定	定格の 115%以下	21.3A	○	
圧縮機	油量	目視点検		○	/	
	油圧	油圧圧力計で調べる	蒸発圧 +0.29～0.49		/	
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上	100MΩ	○	
運転圧力	高压圧力		R-407C (1.60～2.21Mpa)	1.76Mpa	○	
	低压圧力		R-407C (0.29～0.54Mpa)	0.44Mpa	○	
温度	室外機	冷却風(空冷)	入	12℃	○	
		冷却水(冷房時)	入口 32℃以下 出口37℃以下 出	21℃	○	
	室内機	吸込口温度測定	冷房時 10℃前後の温度差があること	17℃	○	
		吹出口温度測定	暖房時 15℃前後の温度差があること	9℃	○	
安全装置	高压圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認	定格圧力内で作動		/	
	低压圧力開閉器	ポンプダウンにて確認	定格圧力内で作動		/	
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認	定格圧力内で作動		/	
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認			○	
電源回路	主電源電圧	各相関の電圧	規定電圧の±110%以内	R-S	208V	○
				S-T	207V	○
				T-R	208V	○
	ヒューズ容量	目視点検	電源回路用ヒューズ容量	10A	○	
	クランクセクター	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上	100MΩ	○	
電磁開閉器	目視点検	接点の焼損のないこと		○		
送風機関係	ファンベルト	目視点検	緩み・損傷のないこと	サイズ 本数	/	
	電流	クランプメーターにて測定			/	
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上	100MΩ	○	
	エアフィルター	目視点検	目詰まりのないこと		◎	
その他	機器冷媒系統	目視点検	漏れのないこと		○	
	運転音	ベアリング等(ガス注入)	異音のないこと		○	
	水漏れ	目視点検	漏れのないこと		○	
	冷温水ポンプ	目視点検	チーリングユニット押し込み側		/	
	清掃	目視点検	汚れ等ないこと		○	
	デフロスト	作動確認	スムーズに作動すること		/	
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。						
【備考】						

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ ° エ ア コ ン 点 検 表

冷房 暖房

✓

管理 番号	21	点検年月日		2025年3月10日	
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者	
記号名称(系統)		室内機 設置場所	2階 厨房 (1)	設置年月	2014年1月
室外機 メーカー名	ダイキン工業(株)	室外機 型式	RZZP80CBTH	室外機 設置場所	3階 北側屋外
電動機定格出力	1.62 kw	冷媒番号・種類	R-410A HFC	機器 封入量	2.9 kg
				追加 充填量	0.0 kg
				総 充填量	2.9 kg
点検項目		点検方法		基準値	実測値 判定
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下	7.4A ○
圧縮機	油量	目視点検			○ /
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29~0.49	/
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上	100MΩ ○
運転圧力	高圧圧力			R-410A (2.53~3.39Mpa)	2.69Mpa ○
	低圧圧力			R-410A (0.53~0.98Mpa)	0.78Mpa ○
温度	室外機	冷却風(空冷)		入	13°C ○
		冷却水(冷房時)		入口 32°C以下 出口37°C以下 出	8°C ○
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10°C前後の温度差があること	24°C ○
		吹出口温度測定		暖房時 15°C前後の温度差があること	41°C ○
安全装置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動	/
	低圧圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動	/
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動	/
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認			○
電源回路	主電源電圧	各相関の電圧	規定電圧の±110%以内	R-S	206V ○
				S-T	203V ○
				S-T	204V ○
	ヒューズ容量	目視点検	電源回路用ヒューズ容量		10A ○
	クランクヒーター	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ ○
電磁開閉器	目視点検	接点の焼損のないこと		○	
送風機関係	ファンベルト	目視点検	緩み・損傷のないこと	サイズ 本数	/
	電流	クランプメーターにて測定			/
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上	100MΩ	○
	エアフィルター	目視点検	目詰まりのないこと		◎
その他	機器冷媒系統	目視点検	漏れのないこと		○
	運転音	ヘアリング等(ガス注入)	異音のないこと		○
	水漏れ	目視点検	漏れのないこと		○
	冷温水ポンプ	目視点検	チャージユニット押し込み側		/
	清掃	目視点検	汚れ等ないこと		○
	デフロスト	作動確認	スムーズに作動すること		○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可					
* 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。					
【備考】					

空 冷 ヒ ー ト ポ ン プ エ ア コ ン 点 検 表

冷房	暖房
	✓

管理 番号	22	点検年月日	2025年3月10日			
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		点検担当者		
記号名称(系統)		室内機 設置場所	2階 厨房 (2)	設置年月	2015年	
室外機 メーカー名	ダイキン工業(株)	室外機 型式	RZZP80CBTH	室外機 設置場所	3階 北側屋外	
電動機定格出力	1.62 kw	冷媒番号・種類	R-410A HFC	機器 封入量	2.9 kg	
				追加 充填量	0.0 kg	
				製造番号	A000194	
				総 充填量	2.9 kg	
点検項目		点検方法		基準値	実測値	判定
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下	5.5A	○
圧 縮 機	油量	目視点検			○	/
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49		/
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上	100MΩ	○
運 転 圧 力	高圧圧力			R-410A (2.53～3.39Mpa)	2.70Mpa	○
	低圧圧力			R-410A (0.53～0.98Mpa)	0.79Mpa	○
温 度	室外機	冷却風(空冷)	入		13℃	○
		冷却水(冷房時)	入口 32℃以下 出口37℃以下 出		5℃	○
	室内機	吸込口温度測定	冷房時 10℃前後の温度差があること		23℃	○
		吹出口温度測定	暖房時 15℃前後の温度差があること		41℃	○
安 全 装 置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動		/
	低圧圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動		/
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動		/
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認				○
電 源 回 路	主電源電圧	各相間の電圧	規定電圧の±110%以内	R-S	205V	○
				S-T	203V	○
				S-T	203V	○
	ヒューズ容量	目視点検	電源回路用ヒューズ容量		10A	○
	クランケースヒーター	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○
電磁開閉器	目視点検	接点の焼損のないこと			○	
送 風 機 関 係	ファンベルト	目視点検	緩み・損傷のないこと	サイズ 本数		/
	電流	クランプメーターにて測定				/
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定	1 MΩ以上		100MΩ	○
	エアフィルター	目視点検	目詰まりのないこと			◎
そ の 他	機器冷媒系統	目視点検	漏れのないこと			○
	運転音	ヘアリング等(ガス注入)	異音のないこと			○
	水漏れ	目視点検	漏れのないこと			○
	冷温水ポンプ	目視点検	チーリングユニット押し込み側			/
	清掃	目視点検	汚れ等ないこと			○
	デフロスト	作動確認	スムーズに作動すること			○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。						
【備考】						

空 冷 ヒ ー ト ホ ン プ ° エ ア コ ン 点 検 表

冷房 暖房
✓

管理番号	23		点検年月日		2025年3月10日	
施設名称			国民宿舎 マリンテラスあしや			点検担当者
記号名称(系統)		室内機設置場所		2階 厨房 (3)		設置年月
2015年						
室外機 メーカー名	ダイキン工業株式会社	室外機 型式	RZZP80CBTH		室外機設置場所	3階 北側屋外
製造番号	A000195					
電動機定格出力	1.62 kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	機器封入量	2.9 kg
追加充填量	0.0 kg	総充填量	2.9 kg			
点検項目		点検方法		基準値		実測値 判定
総合	運転電流	クランプメーターにて測定		定格の 115%以下		6.1A ○
圧縮機	油量	目視点検				○ /
	油圧	油圧圧力計で調べる		蒸発圧 +0.29～0.49		/
	モーター絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ ○
運転圧力	高圧圧力			R-410A (2.53～3.39Mpa)		2.73Mpa ○
	低圧圧力			R-410A (0.53～0.98Mpa)		0.79Mpa ○
温度	室外機	冷却風(空冷)		入		12°C ○
		冷却水(冷房時)		入口 32°C以下 出口37°C以下 出		7°C ○
	室内機	吸込口温度測定		冷房時 10°C前後の温度差があること		24°C ○
		吹出口温度測定		暖房時 15°C前後の温度差があること		41°C ○
安全装置	高圧圧力開閉器	冷却水ポンプ停止又は、ファンモーター停止にて確認		定格圧力内で作動		/
	低圧圧力開閉器	ポンプダウンにて確認		定格圧力内で作動		/
	油圧保護圧力開閉器	油圧配管バルブ(閉)にて作動確認		定格圧力内で作動		/
	温度調節器	設定温度を変えて圧縮機のON/OFFが作動することを確認				○
電源回路	主電源電圧	各相関の電圧		規定電圧の±110%以内		R-S 206V ○
						S-T 203V ○
						S-T 205V ○
	ヒューズ容量	目視点検		電源回路用ヒューズ容量		10A ○
	クランクセヒーター	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ ○
電磁開閉器	目視点検		接点の焼損のないこと		○	
送風機関係	ファンベルト	目視点検		緩み・損傷のないこと		サイズ 本数 /
	電流	クランプメーターにて測定				/
	絶縁	500Vメガにて絶縁測定		1 MΩ以上		100MΩ ○
	エアフィルター	目視点検		目詰まりのないこと		◎
その他	機器冷媒系統	目視点検		漏れのないこと		○
	運転音	ベアリング等(グリス注入)		異音のないこと		○
	水漏れ	目視点検		漏れのないこと		○
	冷温水ポンプ	目視点検		チーリングユニット押し込み側		/
	清掃	目視点検		汚れ等ないこと		○
	デフロスト	作動確認		スムーズに作動すること		○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可 * 中間期等では、実測値が基準内に入らない場合がありますが、運転状況を確認の上判定しています。						
【備考】						

フロン排出抑制法に基づく
第一種特定製品(業務用エアコン)簡易点検報告書

御中

国民宿舎 マリンテラスあしや
遠賀郡芦屋町山鹿1588

第一種特定製品(業務用エアコン)簡易点検(3ヶ月に1回実施)				
点検回数	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目
点検実施日	2024年6月27日	2024年9月25日	2024年12月17日	2025年3月10日
点検者名				

※ 重要 ※

* 手元に届きましたら、機器廃棄まで「管理」をよろしくお願い致します。

TEL

FAX

「フロン排出抑制法 第一種特定製品」 機器リスト

顧客名称											
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや									
施設住所		遠賀郡芦屋町山鹿1588									
管理 番号	系統名	メーカー名	設置年月	機器名称	電動機 定格出力 (kw)	冷媒種類	室内機 台数 (台)	判定	定期点検		
									有無	前回 点検日	次回 点検日
1	ACP-1 B1階系統(1)	日立アプライアンス(株)	2017年12月	パッケージエアコン	31.60	R-410A	1	○	有	2022年6月	2025年6月
2	ACP-1 B1階系統(2)	日立アプライアンス(株)	2017年12月	パッケージエアコン	31.60	R-410A	1	○	有	2022年6月	2025年6月
3	ACP-3 2階宴会場系統(3)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	10.40	R-410A	4	○	有	2022年6月	2025年6月
4	ACP-4 2階宴会場系統(2)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	9.20	R-410A	4	○	有	2022年6月	2025年6月
5	ACP-5 2階宴会場系統(1)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	10.40	R-410A	4	○	有	2022年6月	2025年6月
6	ACP-6 3階宴会場系統(1)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	10.40	R-410A	4	○	有	2022年6月	2025年6月
7	ACP-7 3階宴会場系統(2)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	10.40	R-410A	4	○	有	2022年6月	2025年6月
8	ACP-8 B1階系統(1)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	2.50	R-410A	1	○	無		
9	ACP-9 1階系統(1)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	2.50	R-410A	3	○	無		
10	ACP-10 1階系統(2)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	3.19	R-410A	1	○	無		
11	ACP-11 1階系統(3)	ダイキン工業(株)	2018年1月	パッケージエアコン	1.95	R-32	1	○	無		
12	ACP-14 2階レストラン系統(1)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	9.60	R-410A	5	○	有	2022年6月	2025年6月
13	ACP-14 2階レストラン系統(2)	日立アプライアンス(株)	2018年1月	パッケージエアコン	9.60	R-410A	5	○	有	2022年3月	2025年3月
14	ACP-18 3階ロビー系統	日立アプライアンス(株)	2011年11月	パッケージエアコン	7.20	R-410A	3	○	無		
15	MAC-3B 3階各室南系統	日立アプライアンス(株)	2018年1月	ビル用マルチエアコン	6.80	R-410A	5	○	無		
16	MAC-4A 4階各室北系統	日立アプライアンス(株)	2018年1月	ビル用マルチエアコン	12.30	R-410A	13	○	有	2022年6月	2025年6月
17	MAC-4B 4階各室南系統	日立アプライアンス(株)	2018年1月	ビル用マルチエアコン	6.80	R-410A	6	○	無		
18	MAC-5A 5階各室北系統	日立アプライアンス(株)	2018年1月	ビル用マルチエアコン	13.60	R-410A	10	○	有	2022年6月	2025年6月
19	MAC-5B 5階各室南系統	日立アプライアンス(株)	2018年1月	ビル用マルチエアコン	6.80	R-410A	7	○	無		
20	AHP-1	ダイキン工業(株)	2014年1月	チラー	2.20	R-407C	1	○	無		
21	2階厨房系統(1)	ダイキン工業(株)	2014年1月	パッケージエアコン	1.62	R-410A	1	○	無		
22	2階厨房系統(2)	ダイキン工業(株)	2014年1月	パッケージエアコン	1.62	R-410A	1	○	無		
23	2階厨房系統(3)	ダイキン工業(株)	2014年1月	パッケージエアコン	1.62	R-410A	1	○	無		
【備考】											

[判定] ○:良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎:処置後良好 /;点検不要 -;点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
管理番号	1						✓	
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	ACP-1 B1階系統(1)	設置場所	1階屋外			法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上		
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAC-AP1500CHV					
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAHS3568			設置年月	2017年12月	
電動機 定格出力	31.60 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	30.7 kg	室内機 台数	1 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 -；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
管理番号	2						✓	
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	ACP-1 B1階系統(2)	設置場所	1階屋外			法律上 必要なし	3年に 1回以上	1年に 1回以上
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAC-AP1500CHV					
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAHS3567			設置年月	2017年12月	
電動機 定格出力	31.60 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	30.7 kg	室内機 台数	1 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
	終了時 作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○：良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎：処置後良好 /：点検不要 ー：点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

		冷房		暖房			
管理番号		3				✓	
顧客名称				【備考】			
施設名称				国民宿舎 マリンテラスあしや			
系統名		ACP-3 2階宴会場系統(3)		設置場所		3階南側屋外	
メーカー名		日立アプライアンス(株)		室外機型式		RAS-AP450DSR4	
機器名称		パッケージエアコン		製造番号		UAJP2618	
電動機定格出力		10.4kw (6.0 + 4.4)		冷媒番号・種類		R-410A HFC	
				初期充填量		9.5 kg	
						室内機台数	
						4 台	

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

										冷房	暖房	
管理番号	4										✓	
顧客名称								【備考】				
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや							フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度				
系統名	ACP-4 2階宴会場系統(2)	設置場所	3階南側屋外					法律上 必要なし	3年に 1回以上	1年に 1回以上		
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP400DSR4									
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAJA2491					設置年月	2018年1月			
電動機 定格出力	9.2kw (4.8 + 4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	8.5 kg		室内機 台数	4 台			

		(4.8 + 4.4)							
点検年月日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点検者									
点検項目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
管理番号	5						✓	
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	ACP-5 2階宴会場系統(1)	設置場所	3階南側屋外			法律上 必要なし	3年に 1回以上	1年に 1回以上
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP450DSR4					
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAJA2620					
電動機 定格出力	10.4kw (6.0 + 4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	9.5 kg	室内機 台数	4 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

管理番号		6		冷房		暖房			
顧客名称				【備考】					
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度					
系統名	ACP-6 3階宴会場系統(1)	設置場所	3階北側屋外		法律上 必要なし		3年に 1回以上		1年に 1回以上
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP450DSR4						
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAJA2619		設置年月	2018年1月			
電動機 定格出力	10.4kw (6.0 + 4.4)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	9.5 kg	室内機 台数	4 台	

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

〔判定〕 ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

管理番号		7		冷房		暖房			
顧客名称				【備考】					
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度					
系統名		ACP-7 3階宴会会場系統(2)		設置場所		3階北側屋外		法律上 必要なし	
メーカー名		日立アプライアンス(株)		室外機型式		RAS-AP450DSR4		3年に 1回以上	
機器名称		パッケージエアコン		製造番号		UAJA2617		設置年月	
電動機 定格出力		10.4kw (6.0 + 4.4)		冷媒番号・種類		R-410A HFC		初期 充填量	
						9.5 kg		室内機 台数	
								4 台	

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

〔判定〕 ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
管理番号	8						✓	
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	ACP-8 B1階系統(1)	設置場所	1階屋外			法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上		
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP140GH3					
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAJD1031				設置年月	2018年1月
電動機 定格出力	2.50 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	3.8 kg	室内機 台数	1 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

										冷房	暖房	
管理番号	9										✓	
顧客名称									【備考】			
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや								フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度			
系統名	ACP-9 1階系統(1)	設置場所	1階屋外						法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上			
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP160GH3									
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAHY3953									
電動機 定格出力	2.50 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	3.8 kg		設置年月	2018年1月			
								室内機 台数	3 台			

点検年月日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点検者									
点検項目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 一;点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

										冷房	暖房	
管理番号	10										✓	
顧客名称									【備考】			
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや								フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度			
系統名	ACP-10 1階系統(2)		設置場所	1階屋外					法律上 必要なし 3年に 1回以上1年に 1回以上			
メーカー名	日立アプライアンス(株)		室外機型式	RAS-AP112GH3								
機器名称	パッケージエアコン		製造番号	UAJD0907					設置年月	2018年1月		
電動機 定格出力	3.19 Kw		冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	3.8 kg		室内機 台数	1 台		

点検年月日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点検者									
点検項目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

判定 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 ;点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
管理番号	11							
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	ACP-11 1階系統(3)	設置場所	1階屋外			法律上 必要なし	3年に 1回以上	1年に 1回以上
メーカー名	ダイキン工業(株)	室外機型式	RZRP112BDA					
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	A000240			設置年月	2018年1月	
電動機 定格出力	1.95 Kw	冷媒番号・種類	R-32	HFC	初期 充填量	3.15 kg	室内機 台数	1 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

[illegible]

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

							冷房	暖房	
								✓	
管理番号	13								
顧客名称							【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや						フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	ACP-14 2階レストラン系統(2)	設置場所	屋上				法律上 必要なし		
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP224DGR3 × 2				3年に1回以上 1年に1回以上		
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	UAJA2626 UAJA2625				設置年月	2018年1月	
電動機 定格出力	9.6 kw (4.8 + 4.8)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	15.4 kg (7.7 + 7.7)		室内機 台数	5 台
点 検 年 月 日			2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日
点 検 者									
点 検 項 目			点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検 判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握		○	○	○	○	○	○	○ ○
室 外 機	機器の異音・異常振動の有無		○	○	○	○	○	○	○ ○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ		○	○	○	○	○	○	○ ○
	機器の損傷、腐食、錆び		○	○	○	○	○	○	○ ○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び		○	○	○	○	○	○	○ ○
室 内 機	異音・異常振動の有無		○	○	○	○	○	○	○ ○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ		○	○	○	○	○	○	○ ○
	熱交換器点検（霜付の有無）		○	○	○	○	○	○	○ ○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）		○	○	○	○	○	○	○ ○
	エアフィルター点検		○	○	○	◎	○	○	○ ◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認		○	○	○	○	○	○	○ ○
【備考】 									
[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 -；点検不可									

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

管理番号		14		冷房		暖房			
顧客名称		—		【備考】					
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度					
系統名		ACP-18 3階ビル系統		設置場所		3階北側屋外		法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上	
メーカー名		日立アプライアンス(株)		室外機型式		RAS-AP335DSR4			
機器名称		パッケージエアコン		製造番号		UAHK4151		設置年月 2011年11月	
電動機 定格出力		7.20 Kw		冷媒番号・種類		R-410A HFC		初期 充填量 7.2 kg	
								室内機 台数 3 台	

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
	終了時 作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ---；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

管理番号		15		冷房		暖房			
顧客名称				【備考】					
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度					
系統名		MAC-3B 3階各室南系統		設置場所		3階南側屋外		法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上	
メーカー名		日立アプライアンス(株)		室外機型式		RAS-AP335SG			
機器名称		ビル用マルチエアコン		製造番号		UEXY0315		設置年月	
電動機 定格出力		6.80 Kw		冷媒番号・種類		R-410A HFC		初期 充填量	
						9.3 kg		室内機 台数	
								5 台	

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
管理番号	16						✓	
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	MAC-4A 4階各室北系統	設置場所	屋上			法律上 必要なし		
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP335SG RAS-AP280SG			3年に 1回以上		
機器名称	ビル用マルチエアコン	製造番号	UAHY0313			設置年月	2018年1月	
電動機 定格出力	12.3 kw (6.8 + 5.5)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	17.8 kg (9.3 + 8.5)	室内機 台数	13 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

〔判定〕 ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

										冷房	暖房	
管理番号	17										✓	
顧客名称									【備考】			
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや								フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度			
系統名	MAC-4B 4階各室南系統	設置場所	屋上						法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上			
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP335SG									
機器名称	ビル用マルチエアコン	製造番号	UAHY0314					設置年月	2018年1月			
電動機 定格出力	6.80 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	9.3 kg		室内機 台数	6 台			

点検年月日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点検者									
点検項目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
							✓	
管理番号	18							
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	MAC-5A 5階各室北系統	設置場所	屋上			法律上必要なし		
メーカー名	日立アプライアンス(株)	室外機型式	RAS-AP335SG × 2			3年に1回以上 1年に1回以上		
機器名称	ビル用マルチエアコン	製造番号	UAHY0316 UAHY0317			設置年月	2018年1月	
電動機定格出力	13.6 kW (6.8 + 6.8)	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期充填量	18.6 kg (9.3 + 9.3)	室内機台数	10 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

〔判定〕 ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

管理番号		19		冷房		暖房			
顧客名称				【備考】					
施設名称		国民宿舎 マリンテラスあしや		フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度					
系統名		MAC-5B 5階各室南系統		設置場所		屋上		法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上	
メーカー名		日立アプライアンス(株)		室外機型式		RAS-AP335SG			
機器名称		ビル用マルチエアコン		製造番号		UAHY0312		設置年月 2018年1月	
電動機 定格出力		6.80 Kw		冷媒番号・種類		R-410A HFC		初期 充填量 9.3 kg	
								室内機 台数 7 台	

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○：良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎：処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

										冷房	暖房		
管理番号	20										✓		
顧客名称										【備考】			
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや									フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度			
系統名	AHP-1			設置場所	屋外					法律上 必要なし	3年に 1回以上	1年に 1回以上	
メーカー名	ダイキン工業(株)			室外機型式	UWAP75AR								
機器名称	クーラー			製造番号	A003781				設置年月	2014年1月			
電動機 定格出力	2.20 Kw		冷媒番号・種類	R-407C	HFC	初期 充填量	2.9 kg		室内機 台数	1 台			

		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点検年月日									
点検者									
点検項目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

										冷房	暖房	
管理番号	21										✓	
顧客名称										【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや									フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	2階厨房系統(1)		設置場所	3階北側屋外						法律上 必要なし	3年に 1回以上	1年に 1回以上
メーカー名	ダイキン工業(株)		室外機型式	RZZP80CBTH								
機器名称	パッケージエアコン		製造番号	A000193								
							設置年月		2014年1月			
電動機 定格出力	1.62 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	2.9 kg		室内機 台数	1 台			

点検年月日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点検者									
点検項目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

〔判定〕 ○：良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎：処置後良好 /：点検不要 一：点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房				
管理番号	22									✓	
顧客名称							【備考】				
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや						フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度				
系統名	2階厨房系統(2)		設置場所	3階北側屋外			法律上 必要なし	3年に 1回以上	1年に 1回以上		
メーカー名	ダイキン工業(株)		室外機型式	RZZP80CBTH							
機器名称	パッケージエアコン		製造番号	A000194			設置年月	2014年1月			
電動機 定格出力	1.62 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	2.9 kg		室内機 台数	1 台		

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室 外 機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室 内 機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

【簡易点検表】（第一種特定製品：フロン使用業務用空調機）

						冷房	暖房	
管理番号	23						✓	
顧客名称						【備考】		
施設名称	国民宿舎 マリンテラスあしや					フロン排出抑制法に基づく定期点検の頻度		
系統名	2階厨房系統(3)	設置場所	3階北側屋外			法律上 必要なし 3年に 1回以上 1年に 1回以上		
メーカー名	ダイキン工業(株)	室外機型式	RZZP80CBTH					
機器名称	パッケージエアコン	製造番号	A000195			設置年月	2014年1月	
電動機 定格出力	1.62 Kw	冷媒番号・種類	R-410A	HFC	初期 充填量	2.9 kg	室内機 台数	1 台

点 検 年 月 日		2024年6月27日		2024年9月25日		2024年12月17日		2025年3月10日	
点 検 者									
点 検 項 目		点検	判定	点検	判定	点検	判定	点検	判定
開始時	作業開始時：運転状況の把握	○	○	○	○	○	○	○	○
室外機	機器の異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、配管、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器の損傷、腐食、錆び	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	異音・異常振動の有無	○	○	○	○	○	○	○	○
	機器、周辺の油にじみ、冷媒洩れ	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（霜付の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	熱交換器点検（腐食・錆の有無）	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアフィルター点検	○	○	○	◎	○	○	○	◎
終了時	作業終了時：スイッチ・設定確認	○	○	○	○	○	○	○	○

【備考】

[判定] ○；良好 ；要処置（運転可能） ；要処置（運転不可） ◎；処置後良好 /；点検不要 ー；点検不可

真 空 ボ イ ラ ー 点 検 表

御中

国民宿舎 マリンテラスあしや

遠賀郡芦屋町山鹿1588

2025年3月19日

点検担当者

ボ イ ラ ー 点 検 表

管理番号	1				
施設の名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検年月日	2025年3月19日	
メーカー名	昭和鉄工(株)		点検担当者		
型式	SV-3004MK-WC		設置年月		
系統名・設置場所	BHW-1	1階ボイラー室	前回点検年月		
用途	給湯・昇温用		次回点検年月		
本体関係			判定	バーナー関係	
1	外観状況		○	14	エレクトの位置確認
2	煙突確認		○	15	プロテクタレー・安全タイシング
3	管接続部水漏れ確認		○	16	フレパージ・ホストパージの確認
4	コイル出入口損失水頭圧	— mH ₂ O	/	17	煤の状況
5	真空度確認		○	18	スモークテストバー
6	抽気ポンプ確認		○		調査前
7	抽気用電磁弁作動確認		○	19	タンパー開度
8	圧力スイッチの作動確認		/		調査後
9	給水ポンプの機能確認		/		自動
10	Y型ストレーナーの確認		/	その他	
11	連続フロー装置の電磁弁他の確認		/	1	ボイラー室温度
12	電極棒の汚れ		/	2	排気ガス温度
13	軟水器の点検と軟水状態		/	3	CO ₂ 濃度
14	薬注ポンプの点検		/	4	給水PH
15	缶体スケール付着度の確認		/	5	給水硬度
16	循環ポンプの機能確認		○	6	抽気間隔スイッチ
バーナー関係			判定	7	ボイラー室内状況
1	使用燃料	灯油	○	8	各配管・配線状況
2	オイルストレーナーの汚れ		◎	【備考】 *各部分解点検清掃済み *S/N GCAOV00285	
3	ギアポンプストレーナーの汚れ		◎		
4	ノズルストレーナーの汚れ (ノズルチップサイズ)	7.50G 60°	◎		
5	油圧	灯油 (0.7~0.9Mpa) 0.70 Mpa	○		
6	油漏れの確認		◎		
7	シロッコファン汚れ		◎		
8	エレクトの汚れ		◎		
9	イグニッションリートの汚れ		◎		
10	トランスカインの汚れ		◎		
11	炎監視装置の汚れ		◎		
12	燃焼点検ガラスの汚れ		◎		
13	デヒューザーの汚れ		◎		

[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可

ボ イ ラ ー 点 検 表

管理番号	2				
施設の名称	国民宿舎 マリンテラスあしや		点検年月日	2025年3月19日	
メーカー名	昭和鉄工(株)		点検担当者		
型式	SV-3004MK-WC		設置年月		
系統名・設置場所	BHW-2	1階ボイラー室	前回点検年月		
用途	給湯・昇温用		次回点検年月		
本体関係			判定	バーナー関係	
1	外観状況		○	14	エレクトロドの位置確認
2	煙突確認		○	15	プロテクタリー・安全タイシング
3	管接続部水漏れ確認		○	16	フレバー・ポスト・ホースの確認
4	コイル出入口損失水頭圧	— mH ₂ O	/	17	煤の状況
5	真空度確認		○	18	スモークナンバー
6	抽気ポンプ確認		○		調査前
7	抽気用電磁弁作動確認		○	19	ダンパー開度
8	圧カスイッチの作動確認		○		調査後
9	給水ポンプの機能確認		/		自動
10	Y型ストレーナーの確認		/	その他	
11	連続ブロー装置の電磁弁他の確認		/	1	ボイラー室温度
12	電極棒の汚れ		/		21℃
13	軟水器の点検と軟水状態		/	2	排気ガス温度
14	薬注ポンプの点検		/	3	CO ₂ 濃度
15	缶体スケール付着度の確認		/	4	給水PH
16	循環ポンプの機能確認		○	5	給水硬度
バーナー関係			判定	6	抽気間隔スイッチ
1	使用燃料	灯油	○	7	ボイラー室内状況
2	オイルストレーナーの汚れ		◎	8	各配管・配線状況
3	ギアポンプストレーナーの汚れ		◎	【備考】 *各部分解点検清掃済み *S/N GCAOV00285	
4	ノズルストレーナーの汚れ (ノズルチップサイズ)	7.50G 60°	○		
5	油圧	灯油 (0.7~0.9Mpa) 0.70 Mpa	○		
6	油漏れの確認		◎		
7	シロッコファン		◎		
8	エレクトロド		◎		
9	イグニッションリード		◎		
10	トランスガイシ		◎		
11	炎監視装置		◎		
12	燃焼点検ガラス		◎		
13	デヒューザー		◎		

[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可

空 気 環 境 測 定 点 検 表

御中

国民宿舎 マリンテラスあしや

遠賀郡芦屋町山鹿1588

2025年1月25日

点検担当者

SANWA

SANGYO Co.Ltd

Air Conditioning Refrigeration & Plumbing

御中

国民宿舎 マリンテラスあしや
空気環境測定(ビル管理法第4条の3)

点検者

測定日	天気
2025年1月25日	晴れ

管理番号		1												
測定場所	回数	測定時間	在室者数	喫煙者数	浮遊粉塵の量		一酸化炭素含有量		二酸化炭素含有量		温度 17° 28°	相対湿度 40% 70%	気流 0.5m/ 秒以下	
					0.15mg/m³		10ppm		1000ppm					
					実測値	平均	実測値	平均	実測値	平均				
外気		1	9:40	-	-	0.012	0.015	0.0	0.00	450	414	11	25.4	0.30
		2	11:40	-	-	0.018		0.0		378		12	28.7	0.50
B 1階	北	1	9:52	3	0	0.006	0.008	0.0	0.00	429	458	25	65.2	0.00
		2	11:52	0	0	0.009		0.0		486		23	64.3	0.00
1階	北	1	9:50	4	0	0.005	0.007	0.0	0.00	464	473	22	60.1	0.00
		2	11:51	1	0	0.009		0.0		482		21	67.2	0.00
	事務所	1	9:45	0	0	0.023	0.021	0.0	0.00	517	487	24	59.3	0.00
		2	11:46	2	0	0.018		0.0		456		23	60.5	0.00
2階	北	1	9:54	0	0	0.007	0.006	0.0	0.00	488	498	23	67.2	0.00
		2	11:54	2	0	0.005		0.0		508		22	66.8	0.00
3階	北	1	9:58	0	0	0.012	0.014	0.0	0.00	450	451	16	42.6	0.00
		2	11:57	0	0	0.016		0.0		452		17	43.3	0.00
4階	北	1	10:02	0	0	0.013	0.016	0.0	0.00	463	466	19	51.7	0.00
		2	12:03	0	0	0.019		0.0		468		19	52.2	0.00
5階	北	1	10:07	0	0	0.005	0.006	0.0	0.00	496	492	20	61.5	0.00
		2	12:05	0	0	0.007		0.0		488		20	63.8	0.00

濾 過 設 備 点 検 表

御中

国民宿舎 マリンテラスあしや

遠賀郡芦屋町山鹿1588

2024年12月17日

点検担当者

濾 過 設 備 点 検 表

管理番号	1				
施設の名称	国民宿舎 マリンテラスあしや			点検年月日	2024年12月17日
系統	WF-1(内風呂A)	用途		点検担当者	

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
濾過設備	東機械工業(株)	AFPE-750A	AFPE17111001	2018年3月
点検項目	点検方法	基準		実測値 判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
五方弁	手動又は、自動で作動確認	切替がスムーズにできること		○
ヘアキャッチャー	目視点検	異常のないこと		○
運転圧力	目視点検 (圧力計確認)	設計圧力内 (0.32 Mpa) であること		0.10 Mpa ○
熱交換機	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
制御盤	計器による測定及び作動確認	正常に作動すること		○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
濾過ポンプ	(株)川本製作所	GS3-506CE2.2	17D820960	2018年
点検項目	点検方法	基準		実測値 判定
回転方向	目視点検	正 回転方向であること		○
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
音・振動	聴覚・触診	異常のないこと		○
水漏れ有無	目視点検	水漏れなきこと (グラントパッキンの場合は適量であること)		○
絶縁測定	500Vメガにて測定	1MΩ 以上であること		100 MΩ ○
電圧測定	各相間の電圧	規定電圧の±110%以下 (電源) 3φ (電圧) 200V	R-S	207 V ○
			S-T	207 V ○
			T-R	209 V ○
電流測定	クランプメーターにて測定	定格電流の±110%以下 (定格電流) 9.2 A	R-S	8.2 A ○
			S-T	8.3 A ○
			T-R	8.4 A ○
運転圧力	圧力計又はデジタルモニターで確認	異常のないこと		0.16 Mpa ○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
点検項目	点検方法	基準		実測値 判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		
サンプル水量	目視点検	0.8 ～ 1.2 ℓ/minであること		
電極	分解、目視点検	異常のないこと		
検出ホルダー	分解、目視点検	異常のないこと		
洗浄ピストン	分解、目視点検	異常のないこと		
フィルター	目視点検	目詰まりのないこと		
塩素濃度	デジタル表示とサンプル水との比較	誤差のないこと		
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
薬注装置	(株)タクミナ	CLPW-30-ATCF-HWJ	18100150	2018年
点検項目	点検方法	基準		実測値 判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
チャッキ弁	分解・目視点検	異常のないこと		◎
ポンプヘッド部	目視点検	異常のないこと		○
薬注タンク内	目視点検	異常のないこと		○
液量	目視点検	腐食・損傷及び液漏れのない事 前回残量: 72 ℓ 補充量: 0 ℓ		68 ℓ → 68 ℓ ○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

濾 過 設 備 点 検 表

管理番号	2				
施設の名称	国民宿舎 マリンテラスあしや			点検年月日	2024年12月17日
系統	WF-2(内風呂B)	用途		点検担当者	

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
濾過設備	東機械工業(株)	AFPE-750A	AFPE17131001	2018年3月
点検項目	点検方法	基準		実測値
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
五方弁	手動又は、自動で作動確認	切替がスムーズにできること		○
ヘアキャッチャー	目視点検	異常のないこと		○
運転圧力	目視点検 (圧力計確認)	設計圧力内 (0.32 Mpa) であること		0.16 Mpa ○
熱交換機	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
制御盤	計器による測定及び作動確認	正常に作動すること		○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
濾過ポンプ	株川本製作所	GS3-506CE1.5	17D820596	
点検項目	点検方法	基準		実測値
回転方向	目視点検	正 回転方向であること		○
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
音・振動	聴覚・触診	異常のないこと		○
水漏れ有無	目視点検	水漏れなきこと (グラントパッキンの場合は適量であること)		○
絶縁測定	500Vメガにて測定	1MΩ 以上であること		100 MΩ ○
電圧測定	各相間の電圧	規定電圧の±110%以下 (電源) 3φ (電圧) 200V	R-S	207 V ○
			S-T	209 V ○
			T-R	209 V ○
電流測定	クランプメーターにて測定	定格電流の±110%以下 (定格電流) 6.6 A	R-S	4.2 A ○
			S-T	4.2 A ○
			T-R	4.3 A ○
運転圧力	圧力計又はデジタルモニターで確認	異常のないこと		0.19 Mpa ○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
点検項目	点検方法	基準		実測値
外観	目視点検	腐食、損傷及び水漏れのないこと		
サンプル水量	目視点検	0.8 ～ 1.2 ℓ/minであること		
電極	分解、目視点検	異常のないこと		
検出ホルダー	分解、目視点検	異常のないこと		
洗浄ビーズ	分解、目視点検	異常のないこと		
フィルター	目視点検	目詰まりのないこと		
塩素濃度	デジタル表示とサンプル水との比較	誤差のないこと		
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
薬注装置	(株)タミナ	CLPW-30-ATCF-HWJ	18100532	2018年
点検項目	点検方法	基準		実測値
外観	目視点検	腐食、損傷及び水漏れのないこと		○
チャッキ弁	分解・目視点検	異常のないこと		◎
ポンプヘッド部	目視点検	異常のないこと		○
薬注タンク内	目視点検	異常のないこと		○
液量	目視点検	腐食・損傷及び液漏れのない事 前回残量:41ℓ 補充量:0ℓ		53ℓ → 53ℓ ○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

濾過設備点検表

管理番号	3	施設の名称	国民宿舎 マリンテラスあしや	点検年月日	2024年12月17日
系統	WF-3(外風呂A)	用途		点検担当者	

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
濾過設備	東機械工業(株)	AFPE-600A	AFPE18103001	2018年3月
点検項目	点検方法	基準	実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
五方弁	手動又は、自動で作動確認	切替がスムーズでできること		○
ヘアキャッチャー	目視点検	異常のないこと		○
運転圧力	目視点検 (圧力計確認)	設計圧力内 (0.32 Mpa) であること	0.12 Mpa	○
熱交換機	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
制御盤	計器による測定及び作動確認	正常に作動すること		○
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				

【備考】

【備考】

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月	
濾過ポンプ	(株)川本製作所	GS3-506CE1.5	18N912775	2018年	
点検項目	点検方法	基準		実測値	判定
回転方向	目視点検	正 回転方向であること			○
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと			○
音・振動	聴覚・触診	異常のないこと			○
水漏れ有無	目視点検	水漏れなきこと（グランドパッキンの場合は適量であること）			○
絶縁測定	500Vメータにて測定	1MΩ 以上であること		100 MΩ	○
電圧測定	各相間の電圧	規定電圧の±110%以下 (電源) 3φ (電圧) 200V	R-S	209 V	○
			S-T	209 V	○
			T-R	210 V	○
電流測定	クランプメータにて測定	定格電流の±110%以下 (定格電流) 3.6 A	R-S	4.8 A	○
			S-T	4.9 A	○
			T-R	4.8 A	○
運転圧力	圧力計又はデジタルモニターで確認	異常のないこと		0.12 Mpa	○
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可					

【備考】

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
点検項目	点検方法	基準	実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		
サンプル水量	目視点検	0.8 ~ 1.2 l/minであること		
電極	分解、目視点検	異常のないこと		
検出ホルダー	分解、目視点検	異常のないこと		
洗浄ピストン	分解、目視点検	異常のないこと		
フィルター	目視点検	目詰まりのないこと		
塩素濃度	デジタル表示とサンプル水との比較	誤差のないこと		
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				

【備考】

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
薬注装置	(株)タミナ	CLPW-30-ATCF-HWJ	18C02352	2018年
点検項目	点検方法	基準	実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
チャッキ弁	分解・目視点検	異常のないこと		◎
ポンプヘッド部	目視点検	異常のないこと		○
薬注タンク内	目視点検	異常のないこと		○
液量	目視点検	腐食・損傷及び液漏れのない事 前回残量: 63 l 補充量: 0 l	41 l → 41 l	○
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				

【備考】

濾 過 設 備 点 検 表

管理番号	4	施設名称	国民宿舎 マリントラスあしや	点検年月日	2024年12月17日
系統	WF-3(外風呂B)	用途		点検担当者	—

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
濾過設備	東機械工業(株)	AFPE-600A	AFPE17120101	2018年3月
点検項目	点検方法	基準	実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
五方弁	手動又は、自動で作動確認	切替がスムーズにできること		○
ヘアキャッチャー	目視点検	異常のないこと		○
運転圧力	目視点検 (圧力計確認)	設計圧力内 (0.32 Mpa) であること	0.12 Mpa	○
熱交換機	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
制御盤	計器による測定及び作動確認	正常に作動すること		○
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月	
濾過ポンプ	(株)川本製作所	GS3-506CE1.5	17D821741	2018年	
点検項目	点検方法	基準		実測値	判定
回転方向	目視点検	正 回転方向であること			○
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと			○
音・振動	聴覚・触診	異常のないこと			○
水漏れ有無	目視点検	水漏れなきこと (グラントパッキンの場合は適量であること)			○
絶縁測定	500Vメガにて測定	1MΩ 以上であること		100 MΩ	○
電圧測定	各相間の電圧	規定電圧の±110%以下 (電源) 3φ (電圧) 200V	R - S	207 V	○
			S - T	209 V	○
			T - R	208 V	○
電流測定	クランプメーターにて測定	定格電流の±110%以下 (定格電流) 6.6 A	R - S	4.8 A	○
			S - T	4.7 A	○
			T - R	4.8 A	○
運転圧力	圧力計又はデジタルモニターで確認	異常のないこと		0.14 Mpa	○
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可					
【備考】					

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
点検項目	点検方法	基準	実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		
サンプル水量	目視点検	0.8 ~ 1.2 l/minであること		
電極	分解、目視点検	異常のないこと		
検出ホルダー	分解、目視点検	異常のないこと		
洗浄ピエゾ	分解、目視点検	異常のないこと		
フィルター	目視点検	目詰まりのないこと		
塩素濃度	デジタル表示とサンプル水との比較	誤差のないこと		
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月
薬注装置	(株)タミナ	CLPW-30-ATCF-HWJ	18100149	2018年
点検項目	点検方法	基準	実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと		○
チャッキ弁	分解・目視点検	異常のないこと		◎
ポンプヘッド部	目視点検	異常のないこと		○
薬注タンク内	目視点検	異常のないこと		○
液量	目視点検	腐食・損傷及び液漏れのない事 前回残量: 63 l 補充量: 0 l	52 l → 52 l	○
【判定】 ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可				
【備考】				

濾過設備点検表

管理番号	5				
施設の名称	国民宿舎 マリンテラスあしや			点検年月日	2024年12月17日
系統	WF-4(水風呂B)	用途		点検担当者	

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月	
濾過設備	東機械工業(株)	AFPE-600A	AFPE18110101	2018年3月	
点検項目	点検方法	基準		実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと			○
五方弁	手動又は、自動で作動確認	切替がスムーズにできること			○
ヘアキャッチャー	目視点検	異常のないこと			○
運転圧力	目視点検 (圧力計確認)	設計圧力内 (0.32 Mpa) であること		0.11 Mpa	○
熱交換機	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと			○
制御盤	計器による測定及び作動確認	正常に作動すること			○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可					
【備考】					

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月	
濾過ポンプ	株川本製作所	GS3-326CE0.75	18N912776	2018年	
点検項目	点検方法	基準		実測値	判定
回転方向	目視点検	正 回転方向であること			○
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと			○
音・振動	聴覚・触診	異常のないこと			○
水漏れ有無	目視点検	水漏れなきこと (グラントパッキンの場合は適量であること)			○
絶縁測定	500Vメガにて測定	1MΩ 以上であること		100 MΩ	○
電圧測定	各相間の電圧	規定電圧の±110%以下 (電源) 3φ (電圧) 200V	R-S	208 V	○
			S-T	210 V	○
			T-R	209 V	○
電流測定	クランプメーターにて測定	定格電流の±110%以下 (定格電流) 3.4 A	R-S	2.6 A	○
			S-T	2.6 A	○
			T-R	2.7 A	○
運転圧力	圧力計又はデジタルモニターで確認	異常のないこと		0.15 Mpa	○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可					
【備考】					

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月	
点検項目	点検方法	基準		実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと			
サンプル水量	目視点検	0.8 ～ 1.2 ℓ/minであること			
電極	分解、目視点検	異常のないこと			
検出ホルダー	分解、目視点検	異常のないこと			
洗浄ビーズ	分解、目視点検	異常のないこと			
フィルター	目視点検	目詰まりのないこと			
塩素濃度	デジタル表示とサンプル水との比較	誤差のないこと			
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可					
【備考】					

機器名称	メーカー名	型式	製番	設置年月	
薬注装置	(株)タミナ	CLPW-30-ATCF-HWJ	18C02351	2018年	
点検項目	点検方法	基準		実測値	判定
外観	目視点検	腐食・損傷及び水漏れのないこと			○
チャッキ弁	分解・目視点検	異常のないこと			◎
ポンプヘッド部	目視点検	異常のないこと			○
薬注タンク内	目視点検	異常のないこと			○
液量	目視点検	腐食・損傷及び液漏れのない事 前回残量: 58 ℓ 補充量: 0 ℓ		62 ℓ → 62 ℓ	○
[判定] ○;良好 ;要処置(運転可能) ;要処置(運転不可) ◎;処置後良好 /;点検不要 -;点検不可					
【備考】					

点 検 報 告 書

件 名

2024年度 マリンテラスあしや 様
自家用電気工作物年次点検（無停電）

実 施 年 月 日

2024 年 7 月 16 日 (火)

報告者

事業所名
マリンテラスあしや様

《 自家用電気工作物 年次点検・調査（無停電）報告書 》

自家用電気工作物の年次点検・調査を下記の通り実施しましたのでご報告致します。

記

1. 年次点検・調査年月日 2024 年 7 月 16 日（火）

〔 天候： 晴 気温 26 ℃ 湿度 62 % 〕

2. 点 検 ・ 調 査 項 目

- | | |
|------------------|---------------------|
| (1) 外 観 点 検 | (4) 方向性SOG制御装置動作試験 |
| (2) 接 地 抵 抗 測 定 | (5) 高圧回路リーク探查試験 |
| (3) 低圧機器回路絶縁抵抗測定 | (6) キュービクル（充電部は除く。） |

3. 点 検 ・ 調 査 結 果

- (1) 低圧機器回路絶縁抵抗測定につきましては
埋込形バック式で危険の為、活線メガー測定は実施していません。

その他の点検・調査項目につきましては指摘事項は有りませんでした。

4. 実 施 所 在 地 福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 1588番

施設名称		マリンテラスあしや	設計番号	
			年月日	2024.7.16
			ページ	1 / 1
自家用電気工作物 年次点検《実 績》2024 年 7 月 16 日(火)				
日・時	項 目	作 業 概 要		
9:30	集合	※ 9:40 作業前ミーティング ・機材運搬・発電機、計測機器セット		
9:50		・地絡方向継電器 動作試験 ・接地抵抗測定(引込柱) B種 接地抵抗 75 Ω		
	(測定・試験)	・接地抵抗測定(キュービクル) ・高圧回路超音波放電探知試験(リーク探査試験)		
	(片付)	・キュービクル清掃(内部はハケ使用のみ) ・キュービクル内・外回り		
11:30	作業終了	・機材運搬 ※ 11:40 作業完了ミーティング		
	持参機器類	発電機 1基、メガ(1000V・100V)、接地抵抗測定器 継電器テスター、高圧検電器、安全標識、活線メガー 記録用紙・バインダー、清掃用具、その他 検電器・高圧回路リーク探知試験器 住所：福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 1588番 (九電柱No.030 ツ 351)		

(注意事項：無停電点検で実施しますが、お客様にて必要と考えられる処置はよろしくお願い致します。)

- 1・ PC類電源バックアップ(UPS等)は短時間です。正常終了等の処置をとって下さい。

点検実施者名簿

※総括責任者

項 目	点検・検査項目及び結果	頁	添付記録表
(1)	外 観 点 検 結果 ○ ・ 特記事項無		別表 3-1 ～ 4
(2)	接 地 抵 抗 測 定 結果 ○ ・ 特記事項無		屋外キュービクル 別表 3-7-1 2階電気室 別表 3-7-2
(3)	低 圧 機 器 回 路 絶 縁 抵 抗 測 定 結果 — ・ 特記事項 埋込形バック式で危険の為、 活線メガー測定は実施していません。		屋外キュービクル 別表 3-8-1 2階電気室 別表 3-8-2 ～ 4
(4)	方 向 性 S O G 制 御 装 置 動 作 試 験 結果 ○ ・ 特記事項無		屋外キュービクル 別表 3-9
(5)	高 圧 回 路 リ ー ク 探 査 試 験 結果 ○ ・ 特記事項無		屋外キュービクル 別表 3-10-1 2階電気室 別表 3-10-2
(6)	キュービクル清掃（充電部は除く。） ・ 清掃後良好 ・ 特記事項無		—

別表3-1

天候 雨 気温 26 °C

湿度 62 %

精密点検測定および手入れ基準-1

2024 年 7 月 16 日

対象	項目	No	点検箇所	重点項目	良	否	備考
電 受 設 備	責任分界用 開閉器	1	本体	漏油、変形、端子の変色、発錆	○		目視
		2	操作機構	リレー結合動作は正常か	○		〃
		3	ブッシング	汚損、亀裂、損傷	○		〃
		4	接地線	ゆるみ、断線	○		〃
		5	表示	開閉表示は正常か	○		〃
		6	引網	ゆとりはあるか	○		〃
	高圧電線路	1	電柱	傾斜、腐食			
		2	支線	ゆるみ、腐食			
		3	腕金	ゆるみ、腐食			
		4	電線	高さ、離隔距離、弛度、引留は完全か			
	ケーブル	1	ケーブル	腐食、損傷、屈曲に無理はないか	○		目視
		2	端末処理	亀裂、劣化	○		〃
		3	メッセンジャー ワイヤー	腐食、引留は完全か			
		4	接地線	ゆるみ、断線	○		〃
	受電室 (屋外キュービクル)	1	出入口	危険表示、施錠装置はよい	○		〃
		2	設備	消火器、照明、風雨の進入	○		〃
		3	ジスコン棒	所定の位置にあるか	○		〃
		4	室内	温度上昇、倉庫代わりに使っていないか	○		〃
	断路器	1	受と刃	接触具合、過熱、ゆるみ、荒れ具合	○		〃
		2	ロック装置	装置の機能	—	—	—
	V C B	1	内部点検	機構点検 接触部の荒れ具合 各接続箇所のゆるみ			
		※2	絶縁油点検 および試験	油量、汚れ、水分の有無 耐圧および酸価測定			
		3	試験	結合動作試験の他に必要に応じた各種試験の実施	—	—	限時動作試験 瞬時動作試験
	L B S P · F	1	各部端子	締付のゆるみ	○		目視
		2	本体	亀裂、汚損	○		〃
		3	容量	適正か	○		〃
		4	予備品	ヒューズ等の有無	○		〃

別表3-2

精密点検測定および手入れ基準-2

対象	項目	No	点検箇所	重点項目	良	否	備考
受電設備	母線	1	指示碍子	汚損、亀裂、ボルトのゆるみ	○		目視
		2	母線	過熱、変色、たるみ	○		〃
		3	クランプ	ゆるみ、過熱、変色	○		〃
	変圧器	1	絶縁油	汚れ、漏油、温度計は正常か	○		〃
		2	ブッシング	汚損、亀裂	○		〃
		3	端子	締付のゆるみ	○		〃
		4	接地線	ゆるみ、断線	○		〃
		5	内部点検	タップ他端子締付のゆるみ ニールの変形異状 パッキンの異状			
		6	絶縁油点検 および試験	油量、汚れ、水分の有無 スラッジの有無 耐圧および酸価測定			
	計器用変成器 (VT・CT)	1	本体	変形、亀裂	○		目視
		2	端子	締付のゆるみ	○		〃
		3	ヒューズ	正常か	○		〃
		4	接地線	ゆるみ、断線	○		〃
	避雷器 (PAS内蔵)	1	本体	汚損、破損	○		〃
		2	端子	締付のゆるみ	○		〃
		3	接地線	ゆるみ、断線	○		〃
	コンデンサ	1	本体	漏油、変形、ブッシングの破損、汚損	○		目視
		2	放電コイル	断線チェック(5分後アース)			
		3	接地線	ゆるみ、断線	○		目視
	高圧配電盤	1	端子	締付のゆるみ	○		〃
		2	計器	指示は正常か、損傷	○		〃
		3	表示灯	断線、不点	○		〃
		4	計器用切替器 開閉器	接触具合	○		〃
		5	保護継電器	単体又は結合動作、整定値は適正か	○		方向性地絡継電器 過電流継電器

別表3-3

精密点検測定および手入れ基準-3

対象	項目	No	点検箇所	重点項目	良	否	備考
受電設備	発電機	1	極板	湾曲していないか、色は正常か	○		目視
		2	液量、液温、比重	正常か	○		〃
		3	沈殿物端子	過充、放電の傾向はないか	○		〃
		4	端子	破損、ゆるみ	○		〃
負荷設備	屋外配線	1	架空線	被覆損傷、取付高さ、他工作物との接触	○		目視
		2	ケーブル	端末処理、メッセンジャワイヤの異状	○		〃
	屋内配線	1	管工事	過熱、浸水、支持	○		〃
		2	ケーブル工事	過熱、損傷、衝撃に対する防護支持	○		〃
		3	その他	過熱、損傷、たこ足配線、ぞろ引配線束ね配線、平行ビニールコード配線	○		〃
	分電盤 開閉器 その他の 配線器具	1	分電盤	扉の破損、湿気、じんあい、附近の整頓	○		〃
		2	開閉器	破損、ゆるみ接触具合、端子のゆるみ、ヒューズの適正、過熱	○		〃
		3	電磁開閉器 電磁接触器	特に端子のゆるみ、サーマルの整定値 接点の磨耗	○		〃
		4	手元開閉器	破損、接触具合、端子のゆるみ ヒューズの適正、過熱、特に大電流を継続使用開閉器は注意			
		5	その他の 配線器具	破損、充電部の露出、接触のゆるみ	○		目視
	高圧機器	1	電動機	潤滑油、振動、異音、異臭、火花、過熱			
		2	始動開閉器	接触、過熱、保護装置および操作機構は正常か			
		3	配線	接続箇所の絶縁、ゆるみ	○		目視
		4	接地線	ゆるみ、断線	○		〃
	低圧機器	1	電動機	端子カバーの脱落、端子の締付、始動開閉は正常か	○		
		2	電熱乾燥 および過熱器	密閉型内部の断線その他接地事故			
		3	溶接機	ケーブルの損傷、締付、接地は完全か			
		4	低圧 コンデンサー	温度、変形	○		目視
		5	接地線	正常か	○		〃

別表3-4

精密点検測定および手入れ基準-4

対象		項目	No	点検箇所	重点項目	良	否	備考
測定	絶縁抵抗	1	高圧配線					無停電点検の為未実施
		2	高圧機器	特に避雷器は3相バランスしているか				〃
		3	低圧配線	埋込形バック式で危険の為 活線メガー測定は、未実施				別表3-8-1 別表3-8-2～4
		4	低圧機器	〃				〃
	接地抵抗	1	避雷器高圧			○		別表3-7-1
		2	機器共通高圧	B種接地抵抗規定値 75 Ω		○		別表3-7-1 別表3-7-2
		3	機器高圧			○		〃
		4	機器低圧			○		〃
全般	改善事項の 検討	1	受電設備	電力使用の合理化				
		2	保護装置	波及事故の防止				
		3	負荷設備	容量の過大、過少				

接地抵抗 絶縁抵抗測定記録

事業場名 マリンテラスあしや

測定箇所 屋外キュービクル

接地抵抗 湿度 42 %

測定年月日 2024 年 8 月 6 日 天候 晴 温度 38 °C

測定機器 アーステスター ET-5 株式会社 ムサシインテック

No. 332234 2004年製

被接地機器	施設箇所	種別	測定値
高圧機器他全般	屋外キュービクル	EA	} 1.1 Ω
低圧機器他全般	〃	ED	
変圧器2次中性点	〃	EB	4.5 Ω
気中開閉器(LA内蔵)	構内1号柱	EA(LA)	} 3.8 Ω
S O G 用	〃	ED	

九電引込柱 030 ツ 351 B種接地抵抗規定値 75 Ω

試験測定者

絶縁抵抗(高圧機器) ※ 無停電点検の為、今回は実施しません。 湿度 %

測定年月日 年 月 日 天候 温度 °C

測定機器

被測定機器及回路	測定値	被測定機器及回路	測定値
高圧引込ケーブル(含VCB)	MΩ	キュービクル内清掃後	MΩ
キュービクル高圧機器		キュービクル内清掃後	
R相	MΩ	R相	MΩ
S相	MΩ	S相	MΩ
T相	MΩ	T相	MΩ

※ 1次側、2次側共にR相を測定

電気管理技術者

試験測定者

立会者

接地抵抗 絶縁抵抗測定記録

事業場名 マ リ ン テ ラ ス あ し や
 測定箇所 2 階 電 気 室
 接地抵抗 湿度 68 %
 測定年月日 2024 年 7 月 16 日 天候 雨 温度 29 ℃
 測定機器 アーステスター EIT-5 株式会社 ムサシインテック
 No. 332234 2004年製

被接地機器	施設箇所	種 別	測 定 値
高圧機器他全般	屋 内 電 気 室	EA	} 0.3 Ω
低圧機器他全般	〃	ED	
低圧機器他全般	〃	ED(ELB)	2.0 Ω
変圧器2次中性点	〃	EB	5.2 Ω

九電引込柱 030 ツ 351 B種接地抵抗規定値 75 Ω

試験測定者

絶縁抵抗(高圧機器) ※ 無停電点検の為、今回は実施しません。 湿度 %
 測定年月日 年 月 日 天候 温度 ℃
 測定機器

被測定機器及回路	測 定 値	被測定機器及回路	測 定 値
高圧引込ケーブル(含VCB)	MΩ	キュービクル内清掃後	MΩ
キュービクル高圧機器		キュービクル内清掃後	
R相	MΩ	R相	MΩ
S相	MΩ	S相	MΩ
T相	MΩ	T相	MΩ

※ 1次側、2次側共にR相を測定

電気管理技術者

試験測定者

立 会 者

別表 3-8-1

低圧機器及び回路の絶縁抵抗測定記録表(1)

埋込形バック式で危険の為、活線メガー測定は実施していません。

事業場名 マリンテラスあしや
測定箇所 屋外キュービクル
測定年月日 2024 年 8 月 6 日

湿度 42 %
天候 晴 気温 38 °C

測定機器
測定者

幹線符号	被測定回路又は機器名	分岐回路 (容量)	線間電圧 (V)	測定値			判定
				漏洩電流(mA)		換算抵抗値(KΩ)	
				Io	Igr	Gr	
	低圧電灯盤 (30 KVA)	主幹一括				管理値 0.1 MΩ以上	
「切」	無記名	63/20	—	—	—	— MΩ	—
「切」	無記名	63/20				— MΩ	—
「切」	無記名	63/20	—	—	—	— MΩ	—
「切」	無記名	125/100	—	—	—	— MΩ	—
	DGR電源	63/20	—	—	—	— MΩ	—
	警報回路電源	63/20	—	—	—	— MΩ	—
	FL・FANコンセント電源	125/100	—	—	—	— MΩ	—
	低圧動力盤 (150 KVA)					管理値 0.2 MΩ以上	判定
「切」	無記名 左上	125/100	—	—	—	— MΩ	—
「切」	無記名 中	125/100	—	—	—	— MΩ	—
「切」	無記名 右上	250/200	—	—	—	— MΩ	—
	M-BF-1	400/400	—	—	—	— MΩ	—
	M-1F-1	63/40	—	—	—	— MΩ	—

低圧機器及び回路の絶縁抵抗測定記録表(2)

埋込形バック式で危険の為、活線メガー測定は実施していません。

事業場名
 マリンテラスあしや

測定箇所
 2 階 電 気 室

測定年月日
 2024 年 7 月 16 日

湿度
 68 %

天 候
 雨 気 温 29 °C

測定機器

測定者

幹線符号	被測定回路又は機器名	分岐回路 (容量)	線間電圧 (V)	測定値			
				漏洩電流(mA)		換算抵抗値(KΩ)	
				Io	Igr	Gr	
	低圧電灯盤 No.1 (100 KVA)	主幹一括				管理値 0.1 MΩ以上	判定
	2LM-1	400/300	—	—	—	— MΩ	—
	BL-1 MCCBLA1 No.1	225/150	—	—	—	— MΩ	—
	BL-1 MCCBLA2 No.2	225/175	—	—	—	— MΩ	—
	1L-1	225/200	—	—	—	— MΩ	—
	1L-2 3LM-1	225/175	—	—	—	— MΩ	—
「切」	予備(LA-7)	100/100	—	—	—	— MΩ	—
パルス	予備(LA-8)	50/20	—	—	—	— MΩ	—
不使用	HGR・LGR電源	50/20	—	—	—	— MΩ	—
	盤内電源	50/20	—	—	—	— MΩ	—
	低圧電灯盤 No.2 (100 KVA)	主幹一括				管理値 0.1 MΩ以上	判定
	4LM-1	225/225	—	—	—	— MΩ	—
	5LM-1	225/225	—	—	—	— MΩ	—
	2L-1	225/150	—	—	—	— MΩ	—
	3LC-1	225/125	—	—	—	— MΩ	—
	イー・モバイル	100/100	—	—	—	— MΩ	—

事業場名	マリンテラスあしや
測定箇所	2 階 電 気 室
測定年月日	2024 年 7 月 16 日

湿度 68 %
天候雨 気温 29 °C

測定者

–89–

別表 3-9

方向性SOG制御装置動作試験

事業場名	マ リ ン テ ラ ス あ し や				
試験年月日	2024	年	7	月	16 日
継電器名称	方向性SOG制御装置	定 格	AC 100/110V 50/60 Hz		
製造年月	2018	年	1	月	
製造社名	株式会社戸上電機製作所	動作電流	0.2 / 0.3 / 0.4 / 0.6 A		
製造番号	A 1 0 2 4 0 9 9	動作時間	0.1 / 0.2 / 0.3 / 0.4 / 0.6 Sec		
型 式	L T R - P - D	動作電圧	2 / 5 / 7.5 / 10 %		
		整 定 値	0.2 A 0.2 Sec 5 %		

測 定 器 名	製作者	型 式	番 号	製造年	定 格
位 相 特 性 試 験 装 置	SOUKOU	DGR-5000KD	17D170129	2017/02	100V

試 験 成 績		試験 1 回目	試験 2 回目	平均値
タップ項目	最小動作電圧	169.3 V	170.8 V	170.05 V
電流 0.2 A	最小動作電流	0.1955 A	0.1962 A	0.19585 A
時限 0.2 Sec	150% 電圧印加 285 V	0.252 S	0.251 S	0.2515 S
	130% 試験電流 0.26 A			
電流 0.2 A	最小動作電流	— A	— A	— A
時限 0.2 Sec	150% 電圧印加 285 V	0.147 S	0.147 S	0.147 S
	400% 試験電流 0.8 A			
動作位相特性	印加電圧 285 V	印加電流 2.0 A	良 否	良 否
	LEAD 123 ° ~ LAG -57 °		良 否	良 否
PAS 連動試験		整定値 0.2 A の130%にて動作確認		— S

試験結果	良 否	整定値	0.2 A 0.2 S 5 %
------	-----	-----	-----------------

記 事

- (A) 試験電圧 (1) 自己電源法 (B) 試験方法 (1) 単体試験
(2) 他電源法 (2) 結合試験

※今回は無停電点検の為、PAS連動試験は実施しません。

電気管理技術者
試験測定者
立 会 者

高圧回路リーク探査試験

事業場名 マリンテラスあしや

測定箇所 屋外キュービクル

試験年月日 2024 年 8 月 6 日 天候 晴 気温 38 ℃ 湿度 42 %

試験機器

名 称	製造者名	型 式	定 格	製造番号	製造年月
LEAK PHONE	SOUKOU	LH-100F	60Hz	S/No.20 L060561	2020/1
(超音波式放電探知器)					

試験結果

被 試 験 機 器	最大使用 使用電圧 (V)	リーク音レベル					結果
引込ケーブル・引込柱上機器	6,900	無 し					○良
							否
キュービクル・高圧機器	6,900	無 し					○良
							否

電気管理技術者

試験測定者

立 会 者

高圧回路リーク探査試験

業 場 名 マ リ ン テ ラ ス あ し や

定 箇 所 2 階 電 気 室

験 年 月 日 2024 年 7 月 16 日 天候 雨 気温 29 ℃ 湿度 68 %

験 機 器

名 称	製造者名	型 式	定 格	製造番号	製造年月
LEAK PHONE	SOUKOU	LH-100F	60Hz	S/No.20 L060561	2020/1
超音波式放電探知器)					

験 結 果

被 試 験 機 器	最大使用 使用電圧 (V)	リーク音レベル					結果
引込ケーブル・引込柱上機器	6,900	無 し					○良
							否
キュービクル・高圧機器	6,900	無 し					○良
							否

電気管理技術者

試験測定者

立 会 者

定期調査報告書

（第一面）

建築基準法第12条第1項の規定による定期調査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

特定行政庁 福岡県知事 様

令和 6 年 9 月 18 日

報告者氏名

調査者氏名

【1.所有者】

【イ.氏名のフリガナ】 アシヤチョウチョウ ハタノ シゲマル
【ロ.氏名】 芦屋町長 波多野 茂丸
【ハ.郵便番号】 807-0198
【ニ.住所】 福岡県遠賀郡芦屋町幸町2番20号
【ホ.電話番号】 093-223-0881

【2.管理者】

【イ.氏名のフリガナ】
【ロ.氏名】
【ハ.郵便番号】
【ニ.住所】
【ホ.電話番号】

【3.調査者】

（代表となる調査者）

【イ.資格】 () 建築士 () 登録第 号
特定建築物調査員 第 A90031725

【ロ.氏名のフリガナ】

【ハ.氏名】
【ニ.勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ.郵便番号】

【ヘ.所在地】

【ト.電話番号】

（その他の調査者）

【イ.資格】 (1級) 建築士 (大臣) 登録第 252714 号
特定建築物調査員 第

【ロ.氏名のフリガナ】

【ハ.氏名】

【ニ.勤務先】 (1級) 建築士事務所 (福岡県) 知事登録第 1-62530 号

【ホ.郵便番号】

【ヘ.所在地】

【ト.電話番号】

【4.報告対象建築物】

【イ.所在地】 福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588
【ロ.名称のフリガナ】 コクミンシュクジャマリンテラスアシヤ
【ハ.名称】 国民宿舎マリンテラスあしや
【ニ.用途】 ホテル

【5.調査による指摘の概要】

【イ.指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ.指摘の概要】

2-(10)ベランダ下爆裂、2-(11)外壁白華発生及びタイル浮き 3-(1)・(5)植物繁殖・ドレーン詰まりによる劣化
4-(1)EV縦穴区画不成立/既存不適格、4-(42)換気設備故障による未作動 5-(2)物品放置による幅員不良5-
(28)排煙窓開閉不良及びオペレーターの不具合、5-(38)非常照明未設置、5-(39)非常照明未点灯

【ハ.改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【ニ.その他特記事項】

※受付欄	※ 特記欄	※整理番号欄
令和 年 月 日		
第 1-3153 号		
係員氏名		

建築物及びその敷地に関する事項

【 1 . 敷地の位置 】

【 イ . 防火地域等 】

☐ 防火地域☐ 準防火地域☒ その他 (☒ 法第22条区域)☐ 指定なし

【 ロ . 用途 地域 】

第二種住居地域

【 2 . 建築物及びその敷地の概要 】

【 イ . 構 造 】

☒ 鉄筋コンクリート造☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造☐ 鉄骨造☐ その他 ()

【 ロ . 階 数 】

地上 5 階 地下 1 階

【 ハ . 敷地面積 】

6,771.20 m²

【 ニ . 建築面積 】

1,219.16 m²

【 ホ . 延べ面積 】

4,602.17 m²

【 3 . 階別用途別床面積 】

【 イ . 階別用途別 】

(R 階)	(用途)	(床面積)
(5 階)	(機械室)	(35.72 m ²)
(4 階)	(客室)	(703.78 m ²)
(3 階)	(客室)	(705.03 m ²)
(2 階)	(客室)	(654.24 m ²)
(1 階)	(レストラン)	(942.88 m ²)
(B1 階)	(店舗)	(869.21 m ²)
(階)	(温浴施設)	(691.31 m ²)
(階)	()	(m ²)
(階)	()	(m ²)
合 計		(4,602.17 m ²)

【 ロ . 用途別 】

(客室)	(2,063.05 m ²)
(レストラン)	(942.88 m ²)
(店舗)	(869.21 m ²)
(温浴施設・機械室)	(727.03 m ²)

【 4 . 性能検証法等の適用 】

☐ 耐火性能検証法☐ 防火区画検証法☐ 区画避難安全検証法 (階)☐ 階避難安全検証法 (階)☐ 全館避難安全検証法☐ その他 ()

【 5 . 増築、改築、用途変更等の経過 】

平成 26 年 11 月 日 概要 (外壁全面打診実施)

平成 29 年 10 月 日 概要 (外壁改修)

S・H・R 年 月 日 概要 ()

S・H・R 年 月 日 概要 ()

【 6 . 関連図書の整備状況 】

【 イ . 確認に要した図書 】

☒ 有(☒ 各階平面図あり)☐ 無

【 ロ . 確認済証 】

☒ 有☐ 無

交付番号 平成 10 年 1 月 26 日 第 H09証建北土000851 号

交付者 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【 ハ . 完了検査に要した図書 】

☒ 有☐ 無

【 ニ . 検査済証 】

☒ 有☐ 無

交付番号 平成 11 年 10 月 4 日 第 H11証建北土000156 号

交付者 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【 ホ . 維持保全に関する準則又は計画 】

☐ 有☒ 無

【 ヘ . 前回の調査に関する書類の写し 】

☒ 有☐ 無☐ 対象外

【 7 . 備 考 】

外壁仕上材

☒ タイル(打込パネル含む)☐ 石貼り☐ モルタル☒ 打放し☐ パネル等☐ その他 ()

【 竣工年月 】

平成 11 年 10 月

※センター
記入欄

打診の必要性	外壁全面打診等の状況	打診予定・実施年月	改修状況	改修予定・実施年月
☐ 対象外	☐ 打放し ☐ パネル等 ☐ その他			
☐ 不 要	☐ 竣工後10年以内(異常なし)			
	☐ 実施(異常なし)	H・R 年 月		
	☐ 実施(異常あり)	H・R 年 月	☐ 実施済 ☐ 未実施(予定あり) ☐ 未実施(予定なし)	H・R 年 月 R 年 月
☐ 必 要	☐ 竣工・改修後10年以内(異常あり)			
	☐ 打診予定あり ☐ 打診予定なし	R 年 月		
	☐ 打診未実施(予定あり) ☐ 打診未実施(予定なし)	R 年 月		

調査等の概要

【 1 . 調査及び検査の状況 】

- 【 イ . 今回の調査 】 令和 6 年 8 月 20 日実施
- 【 ロ . 前回の調査 】 ☒実施 (令和 4 年 1 月 13 日報告) ☐未実施
- 【 ハ . 建築設備の検査 】 ☒実施 (令和 5 年 8 月 29 日報告) ☐未実施
- 【 ニ . 昇降機等の検査 】 ☒実施 (令和 5 年 1 月 7 日報告) ☐未実施
- 【 ホ . 防火設備の検査 】 ☒実施 (令和 5 年 8 月 28 日報告) ☐未実施

【 2 . 調査の状況 】

1 敷地及び地盤

- 【 イ . 指摘の内容 】 ☐要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☒指摘なし

【 ロ . 指摘の概要 】

- 【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐有 (令和 年 月に改善予定) ☐無

2 建築物の外部

- 【 イ . 指摘の内容 】 ☒要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☐指摘なし

【 ロ . 指摘の概要 】 2-(10)ベランダ下爆裂、2-(11)外壁白華発生及びタイル浮き、外壁全面打診等の調査必要

- 【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐有 (令和 年 月に改善予定) ☒無

3 屋上及び屋根

- 【 イ . 指摘の内容 】 ☒要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☐指摘なし

【 ロ . 指摘の概要 】 3-(1)・(5)植物繁殖・ドレーン詰まりによる劣化

- 【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐有 (令和 年 月に改善予定) ☒無

4 建築物の内部

- 【 イ . 指摘の内容 】 ☒要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☐指摘なし

【 ロ . 指摘の概要 】 4-(1)EV縦穴区画不成立/既存不適格、4-(42)換気設備故障による未作動

- 【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐有 (令和 年 月に改善予定) ☒無

5 避難施設等

- 【 イ . 指摘の内容 】 ☒要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☐指摘なし

【 ロ . 指摘の概要 】 5-(2)物品放置による幅員不良5-(28)排煙窓開閉不良及びオペレーターの不具合、5-(38)非常照明未設置、5-(39)非常照明未点灯

- 【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐有 (令和 年 月に改善予定) ☒無

6 その他

- 【 イ . 指摘の内容 】 ☐要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☒指摘なし

【 ロ . 指摘の概要 】

- 【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐有 (令和 年 月に改善予定) ☐無

【 3 . 石綿を添加した建築材料の調査状況 】 (該当する室)

- 【 イ . 該当建築材料の有無 】 ☐有 (飛散防止措置無) ()
☐有 (飛散防止措置有) ()

- ☒無
- 【 ロ . 措置予定の有無 】 ☐有 (令和 年 月に改善予定) ☐無

【 4 . 耐震診断及び耐震改修の調査状況 】

- 【 イ . 耐震診断の実施の有無 】 ☐有 ☐無 (令和 年 月に実施予定) ☒対象外

- 【 ロ . 耐震改修の実施の有無 】 ☐有 ☐無 (令和 年 月に実施予定) ☒対象外

【 5 . 建築物等に係る不具合等の状況 】

- 【 イ . 不具合等 】 ☐有 ☒無

- 【 ロ . 不具合等の記録 】 ☐有 ☐無

- 【 ハ . 改善の状況 】 ☐実施済 ☐改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐予定なし

【 6 . 備 考 】

(第四面)

建築物等に係る不具合等の状況

不具合等を 把握した 年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善(予定) 年月	改善措置の概要等

調査結果表

当該調査に 関与した調 査者		氏 名	調査者番号
	代表となる調査者		1
	その他の調査者		2

番号	調 査 項 目	調査結果			担当 調査者 番号
		指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
1	敷地及び地盤				
(1)	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況	○		1
(2)	敷地	敷地内の排水の状況	○		1
(3)	建築基準法施行令(昭和25年政令第338号。以下「令」という。)第128条に規定する通路(以下「敷地内の通路」という。)	敷地内の通路の確保の状況	○		1
(4)		有効幅員の確保の状況	○		1
(5)		敷地内の通路の支障物の状況	○		1
(6)	塀	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況	/	/	/
(7)		組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(8)	擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況	○		1
(9)		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況	○		1
2	建築物の外部				
(1)	基礎	基礎の沈下等の状況	○		2
(2)		基礎の劣化及び損傷の状況	○		2
(3)	土台(木造に限る。)	土台の沈下等の状況	/	/	/
(4)		土台の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(5)	外 壁	躯体等	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況	○	2
(6)			木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	/	/
(7)			組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	/	/
(8)			補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	/	/
(9)			鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	/	/
(10)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	○	2
(11)	外装仕上材等	タイル、石貼り等(乾式工法によるものを除く)、モルタル等の劣化及び損傷の状況	○		2
(12)		乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(13)		金属系パネル(帳壁を含む)の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(14)		コンクリート系パネル(帳壁を含む)の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(15)	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況	○		2
(16)		はめ殺し窓のガラスの固定の状況	○		2
(17)	外壁に緊結された広告板、空調室外機等	機器本体の劣化及び損傷の状況	○		2
(18)		支持部分等の劣化及び損傷の状況	○		2
3	屋上及び屋根				
(1)	屋上面	屋上面の劣化及び損傷の状況		○	2
(2)	屋上周り(屋上面を除く。)	パラベットの立上り面の劣化及び損傷の状況	○		2
(3)		笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(4)		金属笠木の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(5)		排水溝(ドレーンを含む)の劣化及び損傷の状況		○	2
(6)	屋根	屋根の防火対策の状況	○		2
(7)		屋根の劣化及び損傷の状況	○		2
(8)	機器及び工作物(冷却等設備、広告塔等)	機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況	○		2
(9)		支持部分等の劣化及び損傷の状況	○		2

4	建築物の内部							
(1)	防火区画	令第112条第11項から第13項までに規定する区画の状況			○	○	2	
(2)		令第112条第1項、第4項、第5項又は第7項から第10項までの各項に規定する区画の状況		○			2	
(3)		令第112条第18項に規定する区画の状況		○			2	
(4)		防火区画の外周部	令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の処置の状況	○			2	
(5)			令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況	○			2	
(6)		壁の室内に面する部分	躯体等	木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/
(7)				組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/
(8)				補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/
(9)			鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/	
(10)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	○			2	
(11)		耐火構造の壁又は準耐火構造の壁（防火区画を構成する壁等に限る）	準耐火性能等の確保の状況	○			2	
(12)				部材の劣化及び損傷の状況	○			2
(13)				鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/
(14)				給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況	○			2
(15)			令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁の状況	○			2
(16)		令第128条の5各項に規定する建築物の壁の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況	○			2	
(17)	床	躯体等	木造の床躯体の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/	
(18)				鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/
(19)				鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況	○			2
(20)		耐火構造の床又は準耐火構造の床（防火区画を構成する床に限る）	準耐火性能等の確保の状況	○			2	
(21)				部材の劣化及び損傷の状況	○			2
(22)			給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況	○			2	
(23)	天井	令第128条の5各項に規定する建築物の天井の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況	○			2	
(24)				室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況	○			2
(25)			特定天井	特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況	/	/	/	/
(26)	防火設備（防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る）又は戸	区画に対応した防火設備又は戸の設置の状況		○			2	
(27)		居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状況		○			2	
(28)		昭和48年建設省告示第2563号第1第一号ロに規定する基準への適合の状況		○			2	
(29)		防火扉又は戸の開放方向		○			2	
(30)		常時閉鎖又は作動した状態にある防火設備又は戸（以下「常閉防火設備等」という）の本体と枠の劣化及び損傷の状況		○			2	
(31)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の状況		○			2	
(32)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況		○			2	
(33)		常閉防火扉等の固定の状況		○			2	
(34)	照明器具、懸垂物等	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況		○			2	
(35)		防火設備又は戸の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況		○			2	
(36)	警報設備	警報設備の設置の状況		/	/	/	/	
(37)		警報設備の劣化及び損傷の状況		/	/	/	/	
(38)	居室の採光及び換気	採光のための開口部の面積の確保の状況		○			2	
(39)		採光の妨げとなる物品の放置の状況		○			2	
(40)		換気のための開口部の面積の確保の状況		○			2	
(41)		換気設備の設置の状況		○			2	
(42)		換気設備の作動の状況			○		2	
(43)		換気の妨げとなる物品の放置の状況		○			2	
(44)	石綿等を添加した建築材料	吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセントを超えるもの（以下「吹付け石綿等」という。）の使用の状況		/	/	/	/	
(45)		吹付け石綿等の劣化の状況		/	/	/	/	
(46)		除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況		/	/	/	/	
(47)		囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況		/	/	/	/	

5	避難施設等					
(1)	令第120条第2項に規定する通路		令第120条第2項に規定する通路の確保の状況	○		2
(2)	廊下		幅の確保の状況		○	2
(3)			物品の放置の状況	○		2
(4)	出入口		出入口の確保の状況	○		2
(5)			物品の放置の状況	○		2
(6)	屋上広場		屋上広場の確保の状況	/	/	/
(7)	避難上有効なバルコニー		避難上有効なバルコニーの確保の状況	○		2
(8)			手すり等の劣化及び損傷の状況	○		2
(9)			物品の放置の状況	○		2
(10)			避難器具の操作性の確保の状況	○		2
(11)	階段	階段	直通階段の設置の状況	○		2
(12)			幅の確保の状況	○		2
(13)			手すりの設置の状況	○		2
(14)			物品の放置の状況	○		2
(15)			階段各部の劣化及び損傷の状況	○		2
(16)		屋内に設けられた避難階段	階段室の構造の状況	○		2
(17)		屋外に設けられた避難階段	屋内と階段との間の防火区画の確保の状況	○		2
(18)			開放性の確保の状況	○		2
(19)		特別避難階段	令第123条第3項第一号に規定するバルコニー(以下単に「バルコニー」という。)又は付室(以下単に「付室」という。)の構造及び面積の確保の状況	/	/	/
(20)			階段室又は付室(以下「付室等」という。)の排煙設備の設置の状況	/	/	/
(21)	付室等の排煙設備の作動の状況		/	/	/	
(22)	付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況		/	/	/	
(23)	物品の放置の状況		/	/	/	
(24)	排煙設備等	防煙壁	防煙区画の設置の状況	○		2
(25)			防煙壁の劣化及び損傷の状況	○		2
(26)			可動式防煙壁の作動の状況	/	/	/
(27)	排煙設備	排煙設備の設置の状況	○		2	
(28)		排煙設備の作動の状況		○	2	
(29)		排煙口の維持保全の状況	○		2	
(30)	その他の設備等	非常用の進入口等	非常用の進入口等の設置の状況	○		2
(31)			非常用の進入口等の維持保全の状況	○		2
(32)		非常用エレベーター	令第129条の13の3第3項に規定する乗降ロビー(以下単に「乗降ロビー」という。)の構造及び面積の確保の状況	/	/	/
(33)			昇降路又は乗降ロビー(以下「乗降ロビー等」という。)の排煙設備の設置の状況	/	/	/
(34)			乗降ロビー等の排煙設備の作動の状況	/	/	/
(35)			乗降ロビー等の外気に向かって開くことができる窓の状況	/	/	/
(36)			物品の放置の状況	/	/	/
(37)		非常用エレベーターの作動の状況	/	/	/	
(38)		非常用の照明装置	非常用の照明装置の設置の状況		○	2
(39)			非常用の照明装置の作動の状況		○	2
(40)	照明の妨げとなる物品の放置の状況		○		2	
6	その他					
(1)	特殊な構造等	膜構造建築物の膜体、取付部材等	膜体及び取付部材の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(2)			膜張力及びケーブル張力の状況	/	/	/
(3)		免震構造建築物の免震層及び免震装置	免震装置の劣化及び損傷の状況(免震装置が可視状態にある場合に限る。)	/	/	/
(4)			上部構造の可動の状況	/	/	/
(5)	避雷設備	避雷針、避雷導線等の劣化及び損傷の状況	○		2	
(6)	煙突	建築物に設ける煙突	煙突本体及び建築物との接合部の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(7)			付帯金物の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(8)		令第138条第1項第一号に掲げる煙突	煙突本体の劣化及び損傷の状況	/	/	/
(9)			付帯金物の劣化及び損傷の状況	/	/	/

その他確認事項				
法第12条3項の規定による検査を要する防火設備の有無				
☒ 有 (B1～5F 階) ☐ 無				
特記事項				
番号	調査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善 (予定) 年月
2-(10)	躯体等	ベランダ下爆裂	爆裂部の補修等	無
2-(11)	外壁仕上材等	外壁白華発生・タイルの浮き箇所あり	外壁補修要す	無
3-(1)	屋上面の劣化及び損傷の状況	植物繁茂・ドレーン詰まりによる劣化	防水補修要す	無
3-(5)	屋上周り			無
4-(1)	防火区画	E V 堅穴区画不成立	既存不適格	無
4-(42)	居室の採光及び換気	換気設備故障により未作動	修理または交換要す	無
5-(2)	廊下	物品による幅員不良	物品除去	無
5-(28)	排煙設備	排煙窓開閉不良あり	修理要す	無
5-(28)	排煙設備	排煙オペレーター破損	取替要す	無
5-(38)	非常用の照明装置	1階 C 階段 非常照明未設置	非常照明設置要す	無
5-(39)	非常用の照明装置	非常照明未点灯	バッテリー取替・器具取替等	無

(注意)

- ① この書類は、特定建築物等ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に記入してください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当調査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「調査結果」欄は、別表 (い) 欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表 (い) 欄に掲げる調査項目について (は) 欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「調査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「その他確認事項」は、法第12条3項の規定による検査を要する随時閉鎖または、作動ができる防火設備の設置の有無を確認し、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。「有」の場合は、該当防火設備が設置されている階を記入してください。
- ⑪ 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合であっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び配置図及び各階平面図を別添1の様式に従い添付し、指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所や撮影した写真の位置等を明記してください。
- ⑫ 要是正とされた調査項目 (既存不適格の場合を除く。) については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してください。
- ⑬ 付近見取図を添付してください。

第三十六号の四様式（第六条、第六条の二の二関係）（A 4）

定期検査報告書
(昇降機)

(第一面)

建築基準法第12条第3項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁 様 令和 年 月 日

報告者氏名

検査者氏名

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【3. 報告対象建築物等】

【イ. 所在地】

【ロ. 名称のフリガナ】

【ハ. 名称】

【ニ. 用途】

【4. 報告対象昇降機】

【イ. 検査対象昇降機の台数】（ 台）

【ロ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり 台 （うち既存不適格 台）
要重点点検の指摘あり 台 指摘なし 台

【ハ. 指摘の概要】

【ニ. 改善予定の有無】 ☐有（令和 年 月に改善予定） ☐無

【ホ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
令和 年 月 日		
第 号		
係員氏名		

(第二面)

昇降機の状況等

【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和・平成・令和 年 月 日 第 号
 【ロ. 確認済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 (号)
 【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和・平成・令和 年 月 日 第 号
 【ニ. 検査済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 (号)

【2. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 年 月 日実施
 【ロ. 前回の検査】 ☐ 実施 (平成・令和 年 月 日報告) ☐ 未実施
 【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ☐ 有 ☐ 無

【3. 検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 昇降機等検査員 第

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 昇降機等検査員 第

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【4. 保守業者】

【イ. 名称】

【ロ. 郵便番号】

【ハ. 所在地】

【ニ. 電話番号】

【5. 昇降機の概要】 (番号)

【イ. 種類】 ☐ 建築設備 ☐ 工作物
 【ロ. 種別】 ☐ エレベーター (☐ 斜行) ☐ エスカレーター ☐ 小荷物専用
 【ハ. 駆動方式】 ☐ ロープ式 ☐ 油圧式 ☐ その他 ()
 【ニ. 用途等】 ☐ 乗用 (☐ 人荷共用 ☐ 非常用) ☐ 寝台用 ☐ 自動車運搬用 ☐ 荷物用
 【ホ. 機械室の有無】 ☐ 有 ☐ 無
 【ヘ. 仕様】 (電動機の定格容量) (定格速度) (積載量) (定員) (踏段の幅) (勾配)
 (kW) (m/min) (kg) (人) (m) (度)
 【ト. 停止階】 階 (停止階床数)
 【チ. 製造者名】

【6. 検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要重点点検の指摘あり ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【7. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無
 【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
 【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【8. 備考】

検査結果表
(第1第1項第1号に規定する昇降機)

当該検査に関与した検査者		氏 名		整理番号	昇降機番号		検査者番号	
代表となる検査者					01-006-0200		1	
その他の検査者								
番号	検査項目	指摘なし	要重点点検	要是正	既存不適格	担当者番号		
1	機械室(機械室を有しないエレベーターにあつては、共通)							
(1)	機械室への通路及び出入口の戸	○	----					
(2)	機械室内の状況並びに照明装置及び換気設備等	○	----					
(3)	機械室の床の貫通部	○	----					
(4)	救出装置	○	----					
(5)	開閉器及び遮断器	○	----					
(6)	電動機主回路用接触器の主接点 主接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (該当する・該当しない) 交換基準 イ 製造者が指定する交換基準 (なし) ロ、やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 (-----) ブレーキ用接触器の接点 接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (該当する・該当しない) 交換基準 イ 製造者が指定する交換基準 (なし) ロ、やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 (-----)	○	----					
(7)	ヒューズ	○	----					
(8)	絶縁 電動発電機の回路 (300V以下 380V超) 20.0 MΩ 電動機の回路 (300V以下 380V超) 20.0 MΩ 制御器等の回路の300Vを超える回路 MΩ 制御器等の回路の150Vを超え380V以下の回路 MΩ 制御器等の回路の150V以下の回路 20.0 MΩ	○	----					
(9)	接地	○	----					
(10)	減速歯車	○	----					
(11)	綱車又は巻網	○	----					
(12)	綱車と主索のかかり イ 製造者が指定する要是正となる基準値 (0mm以下 mm) ロ、やむを得ない事情により、検査者が設定する 要是正となる基準値 (----- mm) ハ、綱車と主索の滑り等により判定 複数の溝間の摩耗差の状況	○	----					
(13)	軸受	○	----					
(14)	ブレーキ しゅう動面への油の付着の状況 保持力 イ、ブレーキをかけた状態において、トルクレンチにより確認 ロ、ブレーキをかけた状態において、電動機にトルクをかけ確認 ハ、かごに荷重を加え、かごの位置を確認 パッドの厚さ イ 製造者が指定する 要重点点検となる基準値 (5.5 mm) 右 6.1 mm 要是正となる基準値 (5.0 mm) 左 6.0 mm ロ、やむを得ない事情により、検査者が設定する 要重点点検となる基準値 (----- mm) 要是正となる基準値 (----- mm) プランジャーストローク イ 構造上対象外 ロ、製造者が指定する 要重点点検となる基準値 (----- mm) ----- mm 要是正となる基準値 (----- mm) ハ、やむを得ない事情により、検査者が設定する 要重点点検となる基準値 (----- mm) 要是正となる基準値 (----- mm)	○	----					
(15)	そらせ車	○	----					
(16)	電動機	○	----					
(17)	電動発電機		----	○	○			
(18)	駆動装置等の耐震対策		----					
(19)	速度 定格速度 (90.0 m/min)		----					
	上昇 89.0 m/min	○	----					
	下降 90.0 m/min	○	----					

2	共通										
(1)	かご側調速機	過速スイッチの作動速度 (定格速度の	127.8 %	115.0	m/min	○					
		キャッチの作動速度 (定格速度の	137.8 %	124.0	m/min						
(2)	釣合おもり側調速機	キャッチの作動速度			m/min						
		(かご側キャッチの作動速度の	%)								
(3)	主索又は鎖	主索	径の状況			○					
			最も摩耗した主索の番号 (1)	98.35	%						
			直径 (11.9 mm) 末摩耗直径 (12.1 mm)								
			素線切れ	1よりピッチ内の素線切れ数	0						本
			最も摩耗した主索の番号 (素線切れなし)								
				該当する素線切れ判定基準 (ハ)	1構成より1ピッチ内の最大の素線切れ数	0	本				
				素線切れが生じた部分の断面積の割合	70%超 70%以下						
				錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり なし)		%					
				谷部が赤錆色に見える主索の番号 (-----)	1構成より1ピッチ内の最大の素線切れ数	0	本				
				直径 (----- mm) 末摩耗直径 (----- mm)							
		該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準 (ハ)									
		主索本数 (6 本)									
		要重点点検の主索の番号 (-----)	要是正の主索の番号 (-----)								
		摩耗 最も摩耗した鎖の番号 ()	伸び	%							
		測定長さ (mm) 基準長さ (mm)									
		鎖本数 (本)									
		要重点点検の鎖の番号 ()	要是正の鎖の番号 ()								
(4)	主索又は鎖の張り					○	-----		-----		
(5)	主索又は鎖及び調速機ロープの取付部						-----	○	○		
(6)	主索又は鎖の緩み検出装置										
(7)	主索又は鎖の巻過ぎ検出装置										
(8)	はかり装置					○	-----				
(9)	戸開走行保護装置						-----	○	○		
(10)	地震時等管制運転装置						-----	○	○		
(11)	降下防止装置										
(12)	換気設備等										
(13)	制御盤扉										
3	かご室										
(1)	かごの壁又は囲い、天井及び床					○	-----		-----		
(2)	かごの戸及び敷居					○	-----		-----		
(3)	かごの戸のスイッチ					○	-----		-----		
(4)	床合わせ補正装置及び着床装置					○	-----		-----		
(5)	車止め、光電装置等										
(6)	かご操作盤及び表示器					○	-----		-----		
(7)	操縦機										
(8)	外部への連絡装置					○	-----		-----		
(9)	かご内の停止スイッチ					○	-----		-----		
(10)	用途、積載量及び最大定員の標識					○	-----		-----		
(11)	かごの照明装置					○	-----		-----		
(12)	停電灯装置					○	-----		-----		
(13)	かごの床先					○	-----		-----		
4	かご上										
(1)	かご上の停止スイッチ					○	-----		-----		
(2)	預部安全距離確保スイッチ										
(3)	上部ファイナルリミットスイッチ及びリミット (強制停止) スwitch					○	-----		-----		
(4)	上部緩衝器又は上部緩衝材										
(5)	預部綱車										
(6)	調速機ロープ	径の状況			○						
		直径 (6.1 mm) 末摩耗直径 (6.2 mm)	98.71	%							
		素線切れ	該当する素線切れ判定基準 (ハ)								
		素線切れが生じた部分の断面積の割合	70%超 70%以下								
		錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり なし)		%							
		直径 (----- mm) 末摩耗直径 (----- mm)									
		該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準 (ハ)									
(7)	かごの非常救出口					○	-----		-----		
(8)	かごのガイドシュー等					○	-----		-----		
(9)	かご吊り車										
(10)	ガイドレール及びレールブラケット					○	-----		-----		
(11)	施錠装置					○	-----		-----		
(12)	昇降路における壁又は囲い					○	-----		-----		
(13)	乗り場の戸及び敷居					○	-----		-----		
(14)	昇降路内の耐震対策						-----	○	○		
(15)	移動ケーブル及び取付部					○	-----		-----		
(16)	釣合おもりの各部						-----	○	○		
(17)	釣合おもり 非常止め装置	形式 早ぎき式・次第ぎき式・スラックロープ式			○						
		作動の状況 イ、無積載の状態において非常止め作動時にブレーキを開放して確認 ロ、非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す 発光ダイオード、信号等により確認 ハ、非常止め作動時にかごを持ち上げ、主索の緩みを確認 ニ、スラック式にあっては、主索又は鎖を緩めた後に釣合おもりが動 かず、主索又は鎖が緩んだままであることを確認									
(18)	釣合おもりの吊り車					○	-----		-----		
(19)	かごの戸の開閉機構					○	-----		-----		
(20)	かごの枠					○	-----		-----		
						整理番号	01-006-0200				

5 乗り場								
(1)	押しボタン等及び表示器		○	-----		-----		
(2)	非常解錠装置		○	-----		-----		
(3)	乗り場の戸の遮断構造							
(4)	昇降路の壁又は開いの一部を有しない部分の構造							
(5)	制御盤屋							
6 ピット								
(1)	保守用停止スイッチ							
(2)	底部安全距離確保スイッチ							
(3)	下部ファイナルリミットスイッチ及びリミット（強制停止）スイッチ		○	-----		-----		
(4)	緩衝器又は緩衝材	形式 ばね式 油入式 緩衝材						
		劣化の状況		○	適	否		
		作動の状況（油入式のものに限る。）		○	適	否		
		油量の状況（油入式のものに限る。）		○	適	否		
(5)	張り車		○	-----		-----		
(6)	ピット床		○	-----		-----		
(7)	かご非常止め装置	形式 早ぎき式 次第ぎき式 スラックロープ式						
		作動の状況						
		イ、釣合おもりよりかごが重い状態において非常止め作動時にブレーキを開放して確認		○				
		ロ、非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す発光ダイオード、信号等により確認						
ハ、非常止め作動時に釣合おもりを持ち上げ、主索の緩みを確認								
ニ、スラック式にあっては、主索を緩めた後にかごが動かず、主索が緩んだままであることを確認								
(8)	かご下綱車							
(9)	釣合おもり又は釣合鎖の取付部							
(10)	釣合おもり底部すき間	緩衝器形式 ばね式 油入式 緩衝材						
		制御方式 交流1(2)段制御 その他						
		前回の定期検査時 (530 mm)		532 mm	○	-----		
(11)	移動ケーブル及び取付部		○	-----		-----		
(12)	ピット内の耐震対策			-----	○	-----	○	
(13)	駆動装置の主索保護カバー							
(14)	かごの枠		○	-----		-----		
7 非常用エレベーター								
(1)	かご呼び戻し装置							
(2)	一次消防運転							
(3)	二次消防運転	二次消防運転時の速度			m/min			
(4)	予備電源切替え回路							
(5)	その他							
8 上記以外の検査項目								
(1)	1(14) ブレーキ対策：エレベーターが走行する事を確認（正常に走行する事）		○	-----		-----		
特記事項								
番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等		改善(予定)年月	
					整理番号	01-006-0200		

2024.4.1.～

整 理 番 号							
1	0	4	B	0	0	1	4

(必ず記入して下さい)

第三十六号の六様式(第六条、第六条の二の二関係)(A4)

定期検査報告書

建築設備(昇降機を除く。)

(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

特定行政庁 福岡県知事 様

令和 6 年 9 月 9 日

報告者氏名

検査者氏名

【 1 . 所有者 】

【 イ . 氏名のフリガナ 】 アシヤチョウチョウ ハタノ シゲマル
【 ロ . 氏 名 】 芦屋町長 波多野 茂丸
【 ハ . 郵便番号 】 807-0198
【 ニ . 住 所 】 福岡県遠賀郡芦屋町幸町2番20号
【 ホ . 電話番号 】 093-223-0881

【 2 . 管理者 】

【 イ . 氏名のフリガナ 】
【 ロ . 氏 名 】
【 ハ . 郵便番号 】
【 ニ . 住 所 】
【 ホ . 電話番号 】

【 3 . 報告対象建築物 】

【 イ . 所 在 地 】 福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588
【 ロ . 名称のフリガナ 】 コクミンシュクシャマリンテラスアシア
【 ハ . 名 称 】 国民宿舎マリンテラスあしや
【 ニ . 用 途 】 ホテル

【 4 . 検査による指摘の概要 】

【 イ . 指摘の内容 】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
【 ロ . 指摘の概要 】
換気:2-(13)換気量不足 非照:1-(1)電球なし1-(2)非常照明未設置・非常照明破損2-(1)非常照明未点灯、
2-(2)照度不足

【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無
【 ニ . その他特記事項 】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
令和 年 月 日		
第 1 - 3 / 2 4 号		
係員氏名		

(第二面)

建築設備の状況等

【 1 . 建築物の概要 】		地上 5 階 地下 1 階	
【 イ . 階 数 】		1,219.16 m ²	
【 ロ . 建築面積 】		4,602.17 m ²	
【 ハ . 延べ面積 】			
【 ニ . 検査対象建築設備 】	☒ 換気設備 ☐ 排煙設備 ☒ 非常用の照明装置 ☐ 給水設備及び排水設備		
【 2 . 確認済証交付年月日等 】		平成 10 年 1 月 26 日 第 H09 証建北土000851 号	
【 イ . 確認済証交付年月日 】		平成 11 年 10 月 4 日 第 H09 証建北土000156 号	
【 ロ . 確認済証交付者 】	☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()		
【 ハ . 検査済証交付年月日 】			
【 ニ . 検査済証交付者 】	☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()		
【 3 . 検査日等 】		令和 6 年 8 月 20 日 実施	
【 イ . 今回の検査 】		☒ 実施 (令和 5 年 8 月 29 日 報告) ☐ 未実施	
【 ロ . 前回の検査 】			
【 ハ . 前回の検査に関する書類の写し 】	☒ 有 ☐ 無		
【 4 . 換気設備の検査者 】			
(代表となる検査者)			
【 イ . 資格 】	() 建築士 () 登録第 号	D90041560 号	
建築設備検査員			
【 ロ . 氏名のフリガナ 】			
【 ハ . 氏 名 】			
【 ニ . 勤 務 先 】	() 建築士事務所 () 知事登録第 号		
【 ホ . 郵便番号 】			
【 ヘ . 所在地 】			
【 ト . 電話番号 】			
(その他の検査者)			
【 イ . 資格 】	() 建築士 () 登録第 号	号	
建築設備検査員			
【 ロ . 氏名のフリガナ 】			
【 ハ . 氏 名 】			
【 ニ . 勤 務 先 】	() 建築士事務所 () 知事登録第 号		
【 ホ . 郵便番号 】			
【 ヘ . 所在地 】			
【 ト . 電話番号 】			
【 5 . 換気設備の概要 】			
【 イ . 無窓居室 】	☐ 自然換気設備 (系統 室) ☒ 機械換気設備 (9 系統 9 室) ☐ 中央管理方式の空気調和設備 (系統 室) ☐ その他 (系統 室) ☐ 無		
【 ロ . 火気使用室 】	☐ 自然換気設備 (系統 室) ☒ 機械換気設備 (4 系統 2 室) ☐ その他 (系統 室) ☐ 無		
【 ハ . 居室等 】	☐ 自然換気設備 (系統 室) ☐ 機械換気設備 (系統 室) ☐ 中央管理方式の空気調和設備 (系統 室) ☐ その他 (系統 室) ☒ 無		
【 ニ . 防火ダンパーの有無 】	☒ 有 ☐ 無		
【 6 . 換気設備の検査の状況 】			
【 イ . 指摘の内容 】	☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし		
【 ロ . 指摘の概要 】	2-(13)換気量不足		
【 ハ . 改善予定の有無 】	☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無		
【 7 . 換気設備の不具合の発生状況 】			
【 イ . 不 具 合 】	☐ 有 ☒ 無		
【 ロ . 不具合記録 】	☐ 有 ☐ 無		
【 ハ . 改善の状況 】	☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし		

【 8 . 排煙設備の検査者 】

【 イ . 代表となる検査者 】 () 建築士 () 登録第 号
 建築設備検査員
 【 ロ . 氏名のフリガナ 】
 【 ハ . 氏名 】
 【 ニ . 勤務先 】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【 ホ . 郵便番号 】
 【 ヘ . 所在地 】
 【 ト . 電話番号 】
 (その他の検査者)
 【 イ . 資格 】 () 建築士 () 登録第 号
 建築設備検査員
 【 ロ . 氏名のフリガナ 】
 【 ハ . 氏名 】
 【 ニ . 勤務先 】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【 ホ . 郵便番号 】
 【 ヘ . 所在地 】
 【 ト . 電話番号 】

【 9 . 排煙設備の概要 】

【 イ . 避難安全検証法等の適用 】 ☐ 区画避難安全検証法 (階)
☐ 階避難安全検証法 (階) ☐ 全館避難安全検証法 ☐ その他 ()
 【 ロ . 特別避難階段の階段室又は付室 】
☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無
 【 ハ . 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー 】
☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無
 【 ニ . 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室 】
☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無
 【 ホ . 居室等 】 ☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 無
 【 ヘ . 予備電源 】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン ☐ その他 ()

【 10 . 排煙設備の検査の状況 】

【 イ . 指摘の内容 】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
 【 ロ . 指摘の概要 】
 【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【 11 . 排煙設備の不具合の発生状況 】

【 イ . 不具合 】 ☐ 有 ☐ 無
 【 ロ . 不具合記録 】 ☐ 有 ☐ 無
 【 ハ . 改善の状況 】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【 12 . 非常用の照明装置の検査者 】

(代表となる検査者)
 【 イ . 資格 】 () 建築士 () 登録第 号
 建築設備検査員 D90041560
 【 ロ . 氏名のフリガナ 】
 【 ハ . 氏名 】
 【 ニ . 勤務先 】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【 ホ . 郵便番号 】
 【 ヘ . 所在地 】
 【 ト . 電話番号 】
 (その他の検査者)
 【 イ . 資格 】 () 建築士 () 登録第 号
 建築設備検査員
 【 ロ . 氏名のフリガナ 】
 【 ハ . 氏名 】
 【 ニ . 勤務先 】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【 ホ . 郵便番号 】
 【 ヘ . 所在地 】
 【 ト . 電話番号 】

【 13 . 非常用の照明装置の概要 】

【 イ . 照明器具 】 ☒ 白熱灯 (44 灯) ☒ 蛍光灯 (20 灯) 計 160
☒ LEDランプ (96 灯) ☐ その他 (灯)
【 ロ . 予備電源 】 ☒ 蓄電池 (内蔵形) (居室 84 灯、廊下 57 灯、階段 19 灯)
☐ 蓄電池 (別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 自家用発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 蓄電池 (別置形) ・ 自家発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯) 計 160 OK
☐ その他 ()

【 14 . 非常用の照明装置の検査の状況 】

【 イ . 指摘の内容 】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
【 ロ . 指摘の概要 】 1-(1)電球なし1-(2)非常照明未設置・非常照明破損2-(1)非常照明未点灯、2-(2)照度不足
【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【 15 . 非常用の照明装置の不具合の発生状況 】

【 イ . 不 具 合 】 ☐ 有 ☒ 無
【 ロ . 不具合記録 】 ☐ 有 ☐ 無
【 ハ . 改善の状況 】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【 16 . 給水設備及び排水設備の検査者 】

(代表となる検査者)
【 イ . 資 格 】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員
【 ロ . 氏名のフリガナ 】
【 ハ . 氏 名 】
【 ニ . 勤 務 先 】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
【 ホ . 郵便番号 】
【 ヘ . 所 在 地 】
【 ト . 電話番号 】

【 17 . 給水設備及び排水設備の概要 】

【 イ . 飲料水の配管設備 】 ☐ 給水タンク (基 m³) ☐ 貯水タンク (基 m³)
☐ その他 ()
【 ロ . 排水設備 】 ☐ 排水槽 (☐ 汚水槽 ☐ 雑排水槽 ☐ 合併槽 ☐ 雨水槽・湧水槽)
☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他 ()
【 ハ . 圧力タンクの有無 】 ☐ 有 ☐ 無
【 ニ . 給湯方式 】 ☐ 局所式 ☐ 中央式
【 ホ . 湯沸器 】 ☐ 開放式燃焼器 ☐ 半密閉式燃焼器 ☐ 密閉式燃焼器
☐ その他 ()

【 18 . 給水設備及び排水設備の検査の状況 】

【 イ . 指摘の内容 】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
【 ロ . 指摘の概要 】
【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【 19 . 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況 】

【 イ . 不 具 合 】 ☐ 有 ☐ 無
【 ロ . 不具合記録 】 ☐ 有 ☐ 無
【 ハ . 改善の状況 】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【 20 . 備考 】

【国土交通大臣が定める検査項目の有無】 ☐ 有 (☐ 換気設備 ☐ 排煙設備) ☒ 無

(第三面)

建築設備に係る不具合の状況

【 1 . 換気設備 】

不具合を 把握した 年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定) 年月	改善措置の概要等

【 2 . 排煙設備 】

不具合を 把握した 年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定) 年月	改善措置の概要等

【 3 . 非常用の照明装置 】

不具合を 把握した 年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定) 年月	改善措置の概要等

【 4 . 給水設備及び排水設備 】

不具合を 把握した 年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定) 年月	改善措置の概要等

検査結果表
(換気設備)

当該検査に関与した検査者		氏 名		検査者番号	
		代表となる検査者		1	
		その他の検査者			
番号	(い) 検 査 項 目	(ろ) 検 査 事 項	指摘 なし	検査結果 要是正 既 存 不 適 格	担当 検査者 番号
1	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）				
(1)	機械換気設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取り入れ口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水等の防止措置の状況	○	1
(2)			給気機の外気取り入れ口及び排気機の排気口の取付けの状況	○	1
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置	○	1
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況	○	1
(5)			風道の取付けの状況	○	1
(6)			風道の材質	○	1
(7)			給気機又は排気機の設置の状況	○	1
(8)			換気扇による換気の状況	○	1
(9)				○	1
(10)	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能	各居室の換気量			
(11)	中央管理方式の空気調和設備	中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況			
(12)		空気調和設備の設置の状況			
(13)		空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況			
(14)		空気調和設備の運転の状況			
(15)		空気ろ過器の点検口			
(16)		冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離			
(17)	空気調和設備の性能	各居室内の温度			
(18)		各居室内の相対湿度			
(19)		各居室の浮遊粉じん量			
(20)		各居室の一酸化炭素含有率			
(21)		各居室の二酸化炭素含有率			
(22)		各居室の気流			
2	換気設備を設けるべき調理室等				
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質	○		1
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況	○		1
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	○		1
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置	○		1
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況	○		1
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況	○		1
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離	○		1
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況			
(9)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）			
(10)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況			
(11)		換気扇による換気の状況	○		1
(12)		給気機又は排気機の設置の状況	○		1
(13)		機械換気設備の換気量		○	1
3	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室等				
(1)	防火ダンパー等（外壁の開閉部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの設置の状況	○		1
(2)		防火ダンパーの取付けの状況	○		1
(3)		防火ダンパーの作動の状況	○		1
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○		1
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無			
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ	○		1
(7)		壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況	○		1
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置			
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況			

4	上記以外の検査項目等			
特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
2-(13)	機械換気設備の換気量	換気量不足	清掃又は交換等	未定

（注意）

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1(9)「各居室の換気量」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（別表1）を添付してください。
- ⑫ 2(12)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（別表2）を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の検査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除して構いません。
- ⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録

- 1 建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録については、次の表の左欄に掲げる各別表における中欄の項目に対して、それぞれ同表の右欄に掲げる法令による点検等の記録とすること。

別表	項目	建築基準法令以外の法令
別表第一 (換気設備)	1項(4)、(13)	建築物における衛生的環境の確保に関する法律 (昭和45年法律第20号)

- 2 前回の検査後に別表第一に掲げる検査方法と同等の方法で一級建築士等が実施した検査の記録、又は前回の検査後に別表第一に掲げる検査について建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録により確認する場合には、当該建築設備の実態や他の項目等の結果を適切に把握した上で判断すること。
また、当該記録において、何らかの指摘事項がある場合は、定期検査時にも改めて検査すること。

検査結果表
(非常用の照明装置)

当該検査に關与した検査者		氏 名		検査者番号	
		代表となる検査者	その他の検査者		
				1	
番号	(い) 検 査 項 目	(ろ) 検 査 事 項	指摘 なし	検査結果 要是正 既 存 不適格	担当 検査者 番号
1	照明器具				
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等		○	1
(2)		照明器具の取付けの状況		○	1
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置				
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能		○	1
(2)	照度	照度の状況		○	1
(3)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況	○		1
(4)	配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	○		1
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置				
(1)	配線	照明器具の取付状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）			
(2)		電気回路の接続の状況			
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況			
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱配線処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）			
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況			
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況			
4	電池内蔵形の蓄電池				
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況	○		1
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況	○		1
5	電源別置形の蓄電池				
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況			
(2)		蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況			
(3)		蓄電池室の換気の状況			
(4)		蓄電池の設置の状況			
(5)		蓄電池の性能			
(6)		電圧			
(7)		電解液比重			
(8)		電解液の温度			
(9)		充電器			
(10)		充電器室の防火区画等の貫通措置の状況			
(11)		キュービクルの取付けの状況			
6	自家用発電装置				
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況			
(2)		自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況			
(3)		発電機の発電容量			
(4)		発電機及び原動機の状況			
(5)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況			
(6)		始動用の空気槽の圧力			
(7)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況			
(8)		燃料及び冷却水の漏洩の状況			
(9)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況			
(10)		自家用発電装置の取付けの状況			
(11)		自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）			
(12)		接地線の接続の状況			
(13)		絶縁抵抗			
(14)		電源の切替えの状況			
(15)		始動の状況			
(16)		運転の状況			
(17)		排気の状況			
(18)		コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況			

7	上記以外の検査項目等			
特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
1-(1)	非常用の照明器具	電球無し	電球取付け	未定
1-(2)	非常用の照明器具	非常照明本体破損（1階サービス搬入口）	非常照明器具修繕、取替等	未定
1-(2)	非常用の照明器具	非常照明未設置（1階 階段C）	非常照明の設置	未定
2-(1)	予備電源	非常照明未点灯	バッテリー取替・器具取替等	未定
2-(2)	照度	照度不足	バッテリー取替・器具取替等	未定

（注意）

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第三（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 2(2)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表（別表4）を添付してください。
- ⑫ 7「上記以外の調査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、7は削除して構いません。
- ⑬ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑭ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録

- 1 建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録については、次の表の左欄に掲げる各別表における中欄の項目に対して、それぞれ同表の右欄に掲げる法令による点検等の記録とすること。

別表	項目	建築基準法令以外の法令
別表第三 (非常用の 照明装置)	5項(2)～(6) 6項(3)～(8)、(10)～(17)	消防法 (昭和23年法律第186号)
	6項(3)～(8)、(12)、(15)～(17)	電気事業法(昭和39年法律第170号)

- 2 前回の検査後に別表第三に掲げる検査について建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録により確認する場合においては、当該建築設備の実態や他の項目等の結果を適切に把握した上で判断すること。
また、当該記録において、何らかの指摘事項がある場合は、定期検査時にも改めて検査すること。

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4）

測定年月日	令和6年8月20日	測定機器	メーカー名	株式会社FUSO			型式番号等	FUSO-77535	
階	室番号	室名	必要換気量 (m3/h)	換気方式	系統番号	換気設備機種名※注1)	換気状況の評価※注2)	判定	
B1	1	脱衣室A	255.80	三種	1	排気ファン	282.61 m³/h	指摘なし	
B1	2	脱衣室B	210.40	三種	2	排気ファン	500.00 m³/h	指摘なし	
B1	3	ゲームコーナー	219.60	三種	3	天井換気扇	254.90 m³/h	指摘なし	
1	4	社員食堂	102.40	三種	4	排気ファン	361.11 m³/h	指摘なし	
2	5	漁火1	446.27	一種	5	外気処理ユニット	838.71 m³/h	指摘なし	
2	6	漁火2	351.60	一種	6	外気処理ユニット	371.43 m³/h	指摘なし	
2	7	漁火3	355.67	一種	7	外気処理ユニット	376.81 m³/h	指摘なし	
2	8	喫煙室	51.93	三種	8	天井換気扇	265.31 m³/h	指摘なし	
2	9	レストラン	1430.20	一種	9	外気処理ユニット	CO₂ : 510ppm	指摘なし	
				一種・二種・三種				指摘なし・要是正	
				一種・二種・三種				指摘なし・要是正	
				一種・二種・三種				指摘なし・要是正	
				一種・二種・三種				指摘なし・要是正	
				一種・二種・三種				指摘なし・要是正	
				一種・二種・三種				指摘なし・要是正	
〇〇	参考	〇〇〇室	120	三種	〇〇	F F-〇〇	160 m3/h	指摘なし	

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。

これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表 (A4)

別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気量等測定表 (単位: m³/h)

測定年月日		令和 6 年 8 月 20 日		測定機器 メーカー名		KANOMAX 株式会社		型式番号等		ANE MOMASTER LITE	
室番号	室番 (場所)	使用器具	発熱量 (kW)	換気型式 (n)	必要換気量 (m³/h)	系統番号	開口面積 (m²)	測定風速*注) (m/s)	測定風量 (m³/h)	判 定	
1	1階社員食堂	オーブンコンロ	34.10	30	951.39	1	0.400	1.40	2,016.00	指摘なし	
2	2階厨房	グリラー 炊飯器	46.30	30	1,291.77	2	0.720	1.30	3,369.60	指摘なし	
2	2階厨房	ガスレンジ ガスコンロ フライヤー ローテーブル	121.60	30	3,392.64	3	0.720	0.50	1,296.00	要是正	
2	2階厨房	食洗器	11.20	30	312.48	4	0.162	1.50	874.80	指摘なし	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
				40・30・20・2						指摘なし・要是正	
参考	〇〇〇室	〇〇〇ガス器具	25	30		698	0.3	0.9	972	指摘なし	

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

別表4 非常用の照明装置の照度測定表 (A4)

別表4 非常用の照明装置の照度測定表（ハ4）				株式会社シンワ		型式番号等	DIGITAL LUX METER	
測定年月日	令和 6 年 8 月 20 日	測定機器	メーカー名	最低照度の測定場所			最 低 照 度 （1 x）	判 定
				部屋・廊下等				
光源の種類		階						
	白熱灯	B1		ゲームコーナー 他			0	要是正
	蛍光灯	1		D階段			13	指摘なし
LED	B1		通路（ランドリー前）他			0	要是正	
その他（ ）							指摘なし・要是正	

(別紙)

階別	測定場所	測定位置 ^{*注1)}	光源の種類 ^{*注2)}	照度 (lx)
B1	ロビー リラックススルーム	エレベーター前	白熱灯 (内)	6
B1	ロビー リラックススルーム	ゲームコーナー前	白熱灯 (内)	3
B1	ロビー リラックススルーム	階段付近	白熱灯 (内)	4
B1	トレーニングコーナー	整体付近	白熱灯 (内)	2
B1	ゲームコーナー	出入口付近	白熱灯 (内)	0
B1	ゲームコーナー	出入口付近	白熱灯 (内)	0
B1	カラオケスルーム1	出入口付近	白熱灯 (内)	0
B1	カラオケスルーム2	出入口付近	白熱灯 (内)	2
B1	通路	トイレ前	LED (内)	10
B1	通路	ランドリールーム前	LED (内)	0
B1	通路	脱衣室A前	LED (内)	12
B1	脱衣室A	出入口付近	LED (内)	26
B1	浴室A	出入口付近	白熱灯 (内)	7
B1	脱衣室B	出入口付近	LED (内)	0
B1	浴室B	出入口付近	白熱灯 (内)	0
1	風除室1	出入口付近	白熱灯 (内)	6

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED、その他 () の別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

(別紙)

階 別	測 定 場 所	測 定 位 置*注1)	光源の種類*注2)	照 度 (lx)
1	エントランスロビー	中央付近	白熱灯 (内)	7
1	エレベーター前	自販機コーナー付近	白熱灯 (内)	0
1	ティールラウンジ	窓際	白熱灯 (内)	0
1	ティールラウンジ	階段付近	白熱灯 (内)	6
1	売店	中央付近	白熱灯 (内)	14
1	通路	売店前	白熱灯 (内)	7
1	通路	倉庫出入口付近	白熱灯 (内)	9
1	通路	トイレ前	白熱灯 (内)	6
1	倉庫	出入口付近	LED (内)	14
1	サービスルーム	出入口付近	LED (内)	14
1	通路	C階段横	LED (内)	0
1	事務室	出入口付近	白熱灯 (内)	7
1	事務室	出入口付近	LED (内)	18
1	当直室	出入口付近	LED (内)	30
1	通路	支配人室付近	白熱灯 (内)	12
1	支配人室	出入口付近	LED (内)	14
1	サービス出入口	出入口付近	白熱灯 (内)	0
1	サービス廊下	中央付近	LED (内)	19
1	社員食堂	出入口付近	LED (内)	17
1	社員休憩室女子	出入口付近	白熱灯 (内)	15
1	社員休憩室男子	出入口付近	白熱灯 (内)	8
1	風除室2	出入口付近	白熱灯 (内)	9
1	通路	社員食堂裏中央付近	白熱灯 (内)	0
2	レストラン	出入口付近	LED (内)	31

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED、その他 () の別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

(別紙)

階 別	測 定 場 所	測 定 位 置*注1)	光源の種類*注2)	照 度 (lx)
2	レストラン	窓際	LED (内)	0
2	レストラン	東側	LED (内)	0
2	レストラン	北側	LED (内)	37
2	レストラン	受付付近	LED (内)	34
2	厨房	受付付近	LED (内)	0
2	厨房	オープン付近	白熱灯 (内)	0
2	厨房	コンロ付近	白熱灯 (内)	0
2	厨房	出入口付近	LED (内)	0
2	厨房	食洗器付近	LED (内)	18
2	通路	EV前	白熱灯 (内)	19
2	喫煙所	出入口付近	白熱灯 (内)	16
2	通路	トイレ前	LED (内)	40
2	サーベイスホール	階段室出入口付近	LED (内)	0
2	通路	階段付近	白熱灯 (内)	13
2	通路	漁火3前	白熱灯 (内)	16
2	通路	漁火2前	白熱灯 (内)	16
2	通路	漁火1前	白熱灯 (内)	19
2	宴会場「漁火3」	出入口付近	LED (内)	34
2	宴会場「漁火2」	出入口付近	LED (内)	25
2	宴会場「漁火1」	出入口付近	LED (内)	29
2	宴会場裏通路	漁火1前	LED (内)	0
2	宴会場裏通路	漁火2前	LED (内)	25
3	多目的室1	中央付近	LED (内)	26

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED、その他 () の別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

(別紙)

階 別	測 定 場 所	測 定 位 置*注1)	光源の種類*注2)	照 度 (lx)
3	多目的室2	出入り口付近	LED (内)	19
3	多目的室2	中央付近	LED (内)	13
3	多目的室2	サービスルーム付近	LED (内)	0
3	多目的室2	窓際	LED (内)	0
3	サービスルーム	出入口付近	白熱灯 (内)	0
3	通路	トイレ前	LED (内)	6
3	ロビー	EV前	白熱灯 (内)	15
3	喫煙所	出入口付近	LED (内)	0
3	通路	ビジネスコーナー付近1	LED (内)	0
3	通路	ビジネスコーナー付近2	LED (内)	0
3	301号室	出入口付近	LED (内)	19
3	302号室	出入口付近	LED (内)	0
3	303号室	出入口付近	LED (内)	16
3	304号室	出入口付近	LED (内)	16
3	通路	302前	LED (内)	0
4	通路	304前	LED (内)	0
4	401号室	出入口付近	LED (内)	0
4	402号室	出入口付近	LED (内)	0
4	403号室	出入口付近	LED (内)	13
4	404号室	出入口付近	LED (内)	11
4	405号室	出入口付近	LED (内)	0
4	406号室	出入口付近	LED (内)	13
4	407号室	出入口付近	LED (内)	0
4	408号室	出入口付近	LED (内)	19
4	409号室	出入口付近	LED (内)	0

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED、その他 () の別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

(別紙)

階 別	測 定 場 所	測 定 位 置 *注1)	光源の種類 *注2)	照 度 (lx)
4	410号室	中央付近	LED (内)	15
4	411号室	出入口付近	LED (内)	16
4	412号室	出入口付近	LED (内)	25
4	413号室	出入口付近	LED (内)	19
4	リネン庫	出入口付近	LED (内)	0
4	通路	EV前	LED (内)	16
4	通路	403前	LED (内)	21
4	通路	リネン庫前	LED (内)	18
4	通路	EVホール付近	LED (内)	18
4	通路	406前	LED (内)	0
4	通路	408前	LED (内)	21
4	通路	410前	LED (内)	0
4	通路	412前	LED (内)	0
5	501号室	出入口付近	LED (内)	26
5	502号室	出入口付近	LED (内)	0
5	503号室	出入口付近	LED (内)	0
5	504号室	出入口付近	LED (内)	15
5	506号室	出入口付近	LED (内)	0
5	507号室	出入口付近	LED (内)	22
5	508号室	出入口付近	LED (内)	21
5	509号室	出入口付近	LED (内)	22
5	510号室	出入口付近	LED (内)	0
5	511号室	出入口付近	LED (内)	0

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED、その他 () の別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

(別紙)

階 別	測 定 場 所	測 定 位 置 *注1)	光源の種類 *注2)	照 度 (lx)
5	512号室	出入口付近	LED (内)	12
5	513号室	出入口付近	LED (内)	10
5	リネン庫	出入口付近	LED (内)	19
5	通路	EV前	LED (内)	0
5	通路	503前	LED (内)	19
5	通路	505前	LED (内)	0
5	通路	EV付近	LED (内)	0
5	通路	507前	LED (内)	0
5	通路	509前	LED (内)	23
5	通路	511前	LED (内)	0
5	通路	513前	LED (内)	21
R	EV機械室	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	17
R	EV機械室	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	14
	【階段】			
2	中央階段	階段踊場付近	白熱灯 (内)	0
2～3	中央階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	21
2～3	中央階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	24
3～4	中央階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	25
3～4	中央階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	21
4～5	中央階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	23
4～5	中央階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	26
5～R	屋上階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	28
R	屋上階段	階段踊場付近	蛍光灯 (内)	31

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED、その他 () の別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

(別紙)

注2)「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED、その他()の別及び電池内蔵のものにあつては、(内)と付す。

整 理 番 号							
1	0	4	B	0	0	1	4
						2	

(必ず記入して下さい)

第三十六号の八様式(第六条関係)(A4) 2019.4.1～

定期検査報告書

防火設備

(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

特定行政庁 福岡県知事 様

令和 6 年 9 月 3 日

報告者氏名

検査者氏名

【 1 . 所有者 】

【 イ . 氏名のフリガナ 】 アシヤホテル マリンテラス
 【 ロ . 氏 名 】 芦屋町長 波多野 茂丸
 【 ハ . 郵便番号 】 807-0198
 【 ニ . 住 所 】 福岡県遠賀郡芦屋町幸町2番20号
 【 ホ . 電話番号 】 093-223-0881

【 2 . 管理者 】

【 イ . 氏名のフリガナ 】
 【 ロ . 氏 名 】
 【 ハ . 郵便番号 】
 【 ニ . 住 所 】
 【 ホ . 電話番号 】

【 3 . 報告対象建築物 】

【 イ . 所 在 地 】 福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588
 【 ロ . 名称のフリガナ 】 コシノキマリンテラス
 【 ハ . 名 称 】 国民宿舎マリンテラスあしや
 【 ニ . 用 途 】 ホテル

【 4 . 検査による指摘の概要 】

【 イ . 指摘の内容 】 ☒ 要是正の指摘あり (☒ 既存不適格) ☐ 指摘なし
 【 ロ . 指摘の概要 】 防火戸の危害防止装置なし

【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【 ニ . その他特記事項 】

※受付欄	※ 特記欄	※整理番号欄
令和 年 月 日		
第 号		
係員印		

(第二面)

防火設備の状況等

【 1 . 建築物の概要 】			
【 イ . 階 数 】	地上 5 階	地下 1 階	
【 ロ . 建築面積 】	1,219.16	m ²	
【 ハ . 延べ面積 】	4,602.17	m ²	
【 2 . 確認済証交付年月日等 】			
【 イ . 確認済証交付年月日 】	平成 10 年 1 月 26 日	第 H09証建北土000851 号	
【 ロ . 確認済証交付者 】	☒ 建築主事	☐ 指定確認検査機関 ()	
【 ハ . 検査済証交付年月日 】	平成 11 年 10 月 4 日	第 H09証建北土000156 号	
【 ニ . 検査済証交付者 】	☒ 建築主事	☐ 指定確認検査機関 ()	
【 3 . 検査日等 】			
【 イ . 今回の検査 】	令和 6 年 8 月 20 日実施		
【 ロ . 前回の検査 】	☒ 実施 (令和 5 年 8 月 31 日報告)	☐ 未実施	
【 ハ . 前回の検査に関する書類の写し 】	☐ 有	☒ 無	
【 4 . 防火設備の検査者 】			
(代表となる検査者)			
【 イ . 資 格 】	() 建築士	() 登録第	号
	防火設備検査員	第 B00009542	号
【 ロ . 氏名のフリガナ 】			
【 ハ . 氏 名 】			
【 ニ . 勤 務 先 】	() 建築士事務所	() 知事登録第	号
【 ホ . 郵便番号 】			
【 ヘ . 所 在 地 】			
【 ト . 電話番号 】			
(その他の検査者)			
【 イ . 資 格 】	() 建築士	() 登録第	号
	防火設備検査員	第	号
【 ロ . 氏名のフリガナ 】			
【 ハ . 氏 名 】			
【 ニ . 勤 務 先 】	() 建築士事務所	() 知事登録第	号
【 ホ . 郵便番号 】			
【 ヘ . 所 在 地 】			
【 ト . 電話番号 】			
【 5 . 防火設備の概要 】			
【 イ . 避難安全検証法等の適用 】 ☐ 階避難安全検証法 (階) ☐ 全館避難安全検証法			
☐ その他 ()			
【 ロ . 防火設備 】 ☒ 防火扉 (5 枚)			
☒ 防火シャッター (7 枚)			
☐ 耐火クロススクリーン (枚)			
☐ ドレンチャー (台)			
☐ その他 (台)			
【 12 . 備考 】			

(注意)

この様式には、第三十六号の八様式に記入した内容と同一の内容を記入してください。第二面は、同様式第二面において指摘があった防火設備についてのみ作成し、第一面に添えてください。

検査結果表
（防火扉）

当該検査に関与した検査者		氏 名		検査者番号			
		代表となる検査者	その他の検査者	1			
番号	検査項目	検査事項	検査結果 指摘なし 要是正 既存不適格			担当検査者番号	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○	○	1
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1	
(6)			感知の状況	○		1	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況				
(8)		連動機構	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1
(9)			結線接続の状況	○			1
(10)			接地の状況	○			1
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			1
(12)	連動機構用予備電源		劣化及び損傷の状況	○			1
(13)			容量の状況	○			1
(14)	自動閉鎖装置		設置の状況	○			1
(15)			再ロックの防止機構の作動の状況	○			1
(16)		防火扉の閉鎖の状況	○			1	
(17)	総合的な作動の状況	防火区画（建築基準法施行令（昭和二十五年政令第338号。以下「令」という）第112条第10項から第12項までの規定による区画に限る）の形成の状況					
上記以外の検査項目							
特記事項							
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善案の具体的内容等		改善（予定）年月		
4	危害防止装置	なし	既存不適格				

（注意）

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合に於いても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善案が明らかになっている場合は「改善案の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別紙1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		

番号	検 査 項 目	検査事項	指摘 なし	検査結果 要是正		担当 検査者 番号
					既 存 不適格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1
(2)		駆動装置((二)の項から(四)の項までの点検については、日常的に開閉するものに限る。)	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況	○		1
(3)			スプロケットの設置の状況	○		1
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況	○		1
(5)			ローラチェーン又はワイヤロープの劣化及び損傷の状況	○		1
(6)			スラット及び座板の劣化等の状況	○		1
(7)		カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○		1
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○		1
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○		1
(10)		危害防止装置	危害防止用運動中継器の配線の状況	△	△	△
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	○		1
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況	○		1
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況	○		1
(14)			作動の状況	○		1
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1
(16)			感知の状況	○		1
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	△	△	△
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1
(19)			結線接続の状況	○		1
(20)			接地の状況	○		1
(21)			予備電源への切り替えの状況	○		1
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1
(23)			容量の状況	○		1
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況	○		1
(26)	総合的な作動の状況	防火シャッターの開鎖の状況	○			1
(27)		防火区画(令第112条10項から第12項までの規定による区画に限る)の形成の状況	△	△	△	△

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善案の具体的内容等	改善(予定)年月

別記様式第 1

防火対象物点検結果報告書					
令和3年 5 月 28 日					
遠賀郡消防本部消防長 殿					
届出者					
住 所					
氏 名					
電話番号					
下記のとおり防火対象物の点検を実施したので、消防法第8条の2の2第1項の規定に基づき報告します。					
記					
防火対象物	所在地	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地			
	名称	マリンテラスあしや			
	用途	ホテル	令別表第一(5)項・イ		
	構造・規模	RC造 地上 5 階 地下 1 階 床面積 1219.16 m ² 延べ面積 4626.92 m ²			
点検実施日		令和3年 5 月 13 日			
点検票		別添のとおり			
消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用		☐ 有	☐ 第1号 ☐ 第2号		
		☒ 無			
点検者	住所				
	氏名				
	免状	講習機関名	免状交付年月日	免状交付番号	再講習受講年月日
		福岡県	平成30年6月6日	第441508641号	年 月 日
※受付欄		※経過欄		※備考	
					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用の欄は、当該規定が適用される場合は「有」の□にレ点を記入し、適用されない場合は「無」の□にレ点を記入すること。なお、「有」の場合において、同項第1号の規定が適用される場合は「第1号」の□にレ点を記入し、同項第2号の規定が適用される場合は「第2号」の□にレ点を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。

(その1)

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 防火管理維持台帳の欄は、該当する□にレ点を記入すること。
3 防火対象物の概要が欄に記載できない場合は、別紙に記載し添付すること。

防火対象物点検票（その2）

点 検 項 目		点 検 結 果		状 況 及 び 措 置 内 容
		判 定	不 備 内 容	
届 出	防火管理者選任(解任)	☒ 適 ☐ 否		
	消防計画作成(変更)	☒ 適 ☐ 否		
	自衛消防組織の設置	☐ 適 ☐ 否		該当なし
消 防 計 画	自 衛 消 防 の 組 織	☒ 適 ☐ 否		
	火災予防上の自主検査	☒ 適 ☐ 否		
	消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び整備	☒ 適 ☐ 否		令和3年5月13日実施
	避難施設の維持管理及びその案内	☒ 適 ☐ 否		
	防火上の構造の維持管理	☒ 適 ☐ 否		
	収容人員の適正化	☒ 適 ☐ 否		
	防火管理上必要な教育	☒ 適 ☐ 否		
	消火、通報及び避難の訓練その他必要な訓練	☒ 適 ☐ 否		
	消火活動、通報連絡及び避難誘導	☒ 適 ☐ 否		
	消防機関との連絡	☒ 適 ☐ 否		
	工事中の火気使用又は取扱いの監督	☒ 適 ☐ 否		
	防火管理に関し必要な事項	☒ 適 ☐ 否		
	自衛消防組織	活 動 要 領	☒ 適 ☐ 否	
		要 員 の 教 育 及 び 訓 練	☒ 適 ☐ 否	
		業 務 に 関 し 必 要 な 事 項	☒ 適 ☐ 否	

共同自衛消防組織	協議会の設置及び運営	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	統括管理者の選任	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	業務を行う範囲	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	運営に関し必要な事項	☐ 適 ☐ 否		該当なし
防火管理業務の一部委託		☐ 適 ☐ 否		該当なし
権原の範囲		☒ 適 ☐ 否		
に地 所震 在防 す災 る対 防策 火強 対化 象地 物域	自衛消防の組織	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	情報等の伝達	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	避難誘導	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	施設及び設備の点検及び整備	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	応急対策	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	防災訓練	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	教育及び広報	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	防火管理者	消火訓練及び避難訓練の実施回数	☒ 適 ☐ 否	
消火訓練及び避難訓練を実施する場合の消防機関への通報		☒ 適 ☐ 否		令和3年5月6日実施

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その3）

点 検 項 目		点 検 結 果		状 況 及 び 措 置 内 容
		判 定	不 備 内 容	
届 出	統括防火管理者選任 （解 任）	☐ 適		該当なし
		☐ 否		
	全体についての消防 計画作成（変更）	☐ 適		該当なし
		☐ 否		

点 検 項 目		点 検 結 果		状 況 及 び 措 置 内 容
		判 定	不 備 内 容	
避難上必要な施設 及び防火戸の管理		☒ 適		
		☐ 否		
防災物品の表示		☒ 適		
		☐ 否		
圧縮アセチレンガス等の 貯蔵又は取扱いの届出		☐ 適		該当なし
		☐ 否		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その４）

点 検 項 目		法第17条の 2の5第1 項の適用	法第17条の 3第1項の 適用	点 検 結 果		状 況 及 び 措 置 内 容
				判 定	不 備 内 容	
消 防 用 設 備 等	消火器・簡易消火用具	☐ 有 ☒ 無	☐ 有 ☒ 無	☒ 適 ☐ 否		
	屋 内 消 火 栓 設 備	☐ 有 ☒ 無	☐ 有 ☒ 無	☒ 適 ☐ 否		
	スプリンクラー設備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	水噴霧消火設備等	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	屋 外 消 火 栓 設 備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	動力消防ポンプ設備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	自動火災報知設備	☐ 有 ☒ 無	☐ 有 ☒ 無	☒ 適 ☐ 否		
	ガス漏れ火災警報設備	☐ 有 ☒ 無	☐ 有 ☒ 無	☒ 適 ☐ 否		
	漏 電 火 災 警 報 器	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	消防機関へ通報する 火 災 報 知 設 備	☐ 有 ☒ 無	☐ 有 ☒ 無	☒ 適 ☐ 否		
	非 常 警 報 器 具 ・ 非 常 警 報 設 備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☒ 適 ☐ 否		
	避 難 器 具	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☒ 適 ☐ 否		
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☒ 適 ☐ 否		
	消 防 用 水	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	排 煙 設 備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	連 結 散 水 設 備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	連 結 送 水 管	☐ 有 ☒ 無	☐ 有 ☒ 無	☒ 適 ☐ 否		
	非常コンセント設備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし
	無線通信補助設備	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 適 ☐ 否		該当なし

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法第17条の2の5第1項の適用の欄及び法第17条の3第1項の適用の欄は、規定が適用される場合は「有」の□にレ点を記入し、適用されない場合は「無」の□にレ点を記入すること。
- また、市町村長が法第17条第2項の規定に基づき定めた消防用設備等の技術上の基準について、規則第4条の2の6第9号の規定に基づき定めた場合にあっては記入すること。
- 3 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 4 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 5 設置義務のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。
- 6 水噴霧消火設備等とは、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備をいうこと。

防火対象物点検票（その5）

点 検 項 目		必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の概要	点 検 結 果		状況及び措置内容
			判 定	不 備 内 容	
設備等	令第29条の4第1項の必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等	連結送水管	☐ 適 ☐ 否		該当なし

点 検 項 目		適用される消防用設備等	点 検 結 果		状況及び措置内容
			判 定	不 備 内 容	
設備等	令第32条の適用		☐ 適 ☐ 否		該当なし

点 検 項 目		特殊消防用設備等の概要	点 検 結 果		状況及び措置内容
			判 定	不 備 内 容	
用設備等	法第17条第3項の特殊消防用設備等		☐ 適 ☐ 否		該当なし

点 検 項 目		適用される消防用設備等又は特殊消防用設備等	点 検 結 果		状況及び措置内容
			判 定	不 備 内 容	
特殊消防用設備等又は	設置の届出	消火器・屋内消火栓設備・自動火災報知設備・火災通報装置・ガス漏れ火災警報設備・非常警報器具・誘導灯・非常電源（自家発電設備）防火設備・連結送水管	☒ 適 ☐ 否		
	消防機関の検査	同上	☒ 適 ☐ 否		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その6）

点 検 項 目			点 検 結 果		状 況 及 び 措 置 内 容
			判 定	不 備 内 容	
火を使用する設備の位置・構造及び管理等	設 火 を 使 用 す る 等	設 備 の 位 置	☒ 適		
			☐ 否		
	設 備 の 管 理		☒ 適		
			☐ 否		
	器 用 火 具 用 使 等 する 使	器 具 の 取 扱 い	☒ 適		
			☐ 否		
	関 火 す の る 使 制 用 限 等 に	喫 煙 等 の 制 限	☒ 適		
			☐ 否		
		が ん 具 用 煙 火 の 制 限	☐ 適		該当なし
			☐ 否		
備 考					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その7）

点 検 項 目		点 検 結 果		状 況 及 び 措 置 内 容
		判 定	不 備 内 容	
指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱	貯 蔵 又 は 取 扱 い 数 量	☒ 適 ☐ 否		
	火 気 の 使 用 制 限	☒ 適 ☐ 否		
	漏 れ ・ あ ふ れ 又 は 飛 散 の 防 止	☒ 適 ☐ 否		
	容 器	☒ 適 ☐ 否		
	少 量 計 器 類 に 関 する 監 視	☒ 適 ☐ 否		
	危 険 タ ン ク 本 体	☒ 適 ☐ 否		
	配 管	☒ 適 ☐ 否		
備 考				

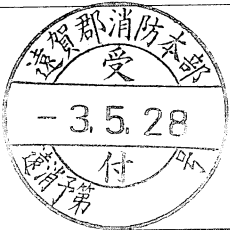
- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その８）

点 検 項 目			点 検 結 果		状 況 及 び 措 置 内 容	
			判 定	不 備 内 容		
指 定 可 燃 物 等 の 貯 蔵 及 び 取 扱 い	可 燃 性 液 体 類 等	火 気 の 使 用 制 限	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
		漏 れ ・ あ ふ れ 又 は 飛 散 の 防 止	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
		容 器	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
		計 器 類 に 関 する 監 視	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
		タ ン ク 本 体	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
		配 管	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
	綿 花 類 等	火 気 の 使 用 制 限	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
		集 積 単 位	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
		計 器 類 に 関 する 監 視 (廃棄物固化燃料等を貯蔵し、又は取り扱う場合)	☐ 適 ☐ 否		該 当 な し	
	備 考					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

別記様式第 1

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書		
令和 3 年 5 月 28 日		
遠賀郡消防本部消防長 殿		
届 出 者		
住 所		
氏 名		
電話番号		
下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第 17 条の 3 の 3 の規定に基づき報告します。		
記		
防 火 対 象 物	所 在 地	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 1 5 8 8 番地
	名 称	マリンテラスあしや
	用 途	第 5 項（イ） ホテル又は宿泊所
	規 模	地上 5 階 地下 1 階 延べ面積 4, 626.92 m ²
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等	消火器・屋内消火栓設備・非常電源（自家発電設備）・非常電源（蓄電池設備） 自動火災報知設備・ガス漏れ火災警報設備・消防機関へ通報する火災報知設備 非常警報器具及び設備・避難器具・誘導灯・連結送水管・防火設備	
※受 付 欄		※経 過 欄
		
※備 考		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第 3 に記入し、添付すること。
- 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。

別記様式第2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その1)

名 称	マリンテラスあしや		防 火 管 理 者	
所 在 地	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地		点検実施 責 任 者	
点検種別	機器点検・総合点検・(設備等設置維持計画による点検)	点検年月日	令和3年5月13日～令和3年5月14日	
設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判 定	不良内容		
消火器	良・不良			
屋内消火栓設備	良・不良	※各設備の備考に記載		
非常電源 (自家発電設備)	良・不良			
非常電源 (蓄電池設備)	良・不良			
自動火災報知設備	良・不良	※各設備の備考に記載		
ガス漏れ 火災警報設備	良・不良			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第 2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その2)

設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判 定	不良内容		
消防機関へ通報 する火災報知設備	良・不良			
非常警報器具 及び設備	良・不良			
避難器具	良・不良	※各設備の備考 に記載		
誘導灯	良・不良			
連結送水管	良・不良			
防火設備	良・不良	※各設備の備考 に記載		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者						設 備 名
住 所		氏 名				【第1種】 ・消火器 ・屋内消火栓設備 ・非常電源 （自家発電設備） ・非常電源 （蓄電池設備） ・連結送水管 【第2種】 ・自動火災報知設備 ・ガス漏れ 火災警報設備 ・消防機関へ通報 する火災報知設備 ・非常警報器具 及び設備 ・避難器具 ・誘導灯 ・防火設備
社 名		電 話 番 号				
資 格		消防設備士				
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月	
甲 種	特 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	1 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	2 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	3 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	4 類	平成27年 9月 28日	000239	福岡	平成29年 9月	
甲・乙種	5 類	年 月 日			年 月	
乙 種	6 類	年 月 日			年 月	
乙 種	7 類	年 月 日			年 月	
備 考						
資 格		消防設備点検資格者				
種類等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種		年 月 日		年 月 日		
第 1 種		令和1年 6月 17日	142601639号	令和7年 3月 31日		
第 2 種		令和1年 6月 18日	242601999号	令和7年 3月 31日		

点 検 者						設 備 名
住 所		氏 名				
社 名		電 話 番 号				
資 格		消防設備士				
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月	
甲 種	特 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	1 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	2 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	3 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	4 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	5 類	年 月 日			年 月	
乙 種	6 類	年 月 日			年 月	
乙 種	7 類	年 月 日			年 月	
備 考						
資 格		消防設備点検資格者				
種類等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種		年 月 日		年 月 日		
第 1 種		年 月 日		年 月 日		
第 2 種		年 月 日		年 月 日		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。

3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。

4 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

点 検 済 表 示 ラ ベ ル 貼 付 状 況

	A ラ ベ ル		B ラ ベ ル		C ラ ベ ル		備 考
消火器	29	枚		枚		枚	
屋内消火栓設備	13	枚	1	枚		枚	
スプリンクラー設備		枚		枚		枚	
水噴霧消火設備		枚		枚		枚	
泡消火設備		枚		枚		枚	
不活性ガス設備		枚		枚		枚	
ハロゲン化物消火設備		枚		枚		枚	
粉末消火設備		枚		枚		枚	
屋外消火栓設備		枚		枚		枚	
動力消火ポンプ設備		枚		枚		枚	
自動火災報知設備		枚	1 (兼用使用)	枚		枚	
ガス漏れ火災警報設備		枚	1 (兼用使用)	枚		枚	
漏電火災警報設備		枚		枚		枚	
消防機関に通報する火災報知設備		枚	1	枚		枚	
非常警報器具及び設備		枚	1	枚		枚	
避難器具	5	枚		枚		枚	
誘導灯及び誘導標識		枚		枚		枚	
消火防水		枚		枚		枚	
排煙設備		枚		枚		枚	
連結散水設備		枚		枚		枚	
連結送水管設備	7	枚	1	枚		枚	
無線通信補助設備		枚		枚		枚	
非常電源 (専用受電)		枚		枚		枚	
非常電源 (自家発電)		枚	1	枚		枚	
非常電源 (蓄電池)		枚	1	枚		枚	
簡易自動消火設備		枚		枚		枚	
自動防排煙設備		枚		枚		枚	
パッケージ型消火設備		枚		枚		枚	
パッケージ型自動消火設備		枚		枚		枚	
非常コンセント設備		枚		枚		枚	
燃料電池設備		枚		枚		枚	
総合操作盤設備		枚		枚		枚	
共同住宅用スプリンクラー設備		枚		枚		枚	
共同住宅用自動火災報知設備		枚		枚		枚	
住戸用自火報・共同住宅用 非常警報設備		枚		枚		枚	
特定小規模施設用 自動火災報知設備		枚		枚		枚	
加圧防排煙設備		枚		枚		枚	
複合型居住施設用 自動火災報知設備		枚		枚		枚	
特定駐車場泡消火設備		枚		枚		枚	
防火設備		枚	1 (兼用使用)	枚		枚	
合 計	54	枚	7	枚		枚	

別記様式第 1

(その 1)

消 火 器 具 点 検 票														
名 称	マリンテラスあしや							防 火 管 理 者	点検結果総括表と同じ					
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 1 5 8 8 番地							立 会 者	点検結果総括表と同じ					
点検種別	機 器 点 検		点検年月日		令和 3 年 5 月 1 3 日 ～ 令和 3 年 5 月 1 4 日									
点 検 者	氏名		点 検 者 所属会社		社名		TFI							
					住所									
点 検 項 目			点 検 結 果						措 置 内 容					
			消火器の種別										判定	不 良 内 容
			A	B	C	D	E	F						
機 器 点 検														
設 置 状 況	設 置 場 所	○						○						
	設 置 間 隔	○						○						
	適 応 性	○						○						
	耐 震 措 置	○						○						
表 示 ・ 標 識		○						○						
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○						○						
	安 全 栓 の 封	○						○						
	安 全 栓	○						○						
	使用済みの表示装置	○						○						
	押し金具・レバー等	○						○						
	キ ャ ッ プ	○						○						
	ホ ー ス	○						○						
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○						○						
	指 示 圧 力 計	○						○						
	圧 力 調 整 器	/						/						
	安 全 弁	/						/						
	保 持 装 置	/						/						
	車 輪 (車 載 式)	○						○						
ガス導入管 (車載式)	/						/							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第 1

消火器具 (その 2)

消火器具の内部等機能	本・体内容器等	本体容器	/						/		
	消火剤	内筒等	/						/		
		液面表示	/						/		
	消火剤	性状	/						/		
		消火薬剤量	/						/		
	加圧用ガス容器	/						/			
	カッター・押し金具	/						/			
	ホース	/						/			
	開閉式ノズル・切替式ノズル	/						/			
	指示圧力計	/						/			
	使用済みの表示装置	/						/			
	圧力調整器	/						/			
	安全弁・減圧孔 (排圧栓を含む。)	/						/			
	粉上り防止用封板	/						/			
	パッキン	/						/			
サイホン管・ガス導入管	/						/				
ろ過網	/						/				
放射能力	/						/				
消火器具の耐圧性能		/						/			
簡火用消具	外形	/	/	/	/	/	/	/			
	水量等	/	/	/	/	/	/	/			
備考	点検の結果異常なし。										
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名			

器 種 名	設 置 数	点 検 数	合 格 数	要 修 理 数	廃 棄 数
(外) 粉末10・加	—	—	—	—	—
(外) 粉末10・蓄	27	27	27	0	0
(機) 粉末10・加	—	—	—	—	—
(機) 粉末10・蓄	—	—	—	—	—
(外) 粉末20・蓄	1	1	1	0	0
(外) 粉末50・蓄	1	1	1	0	0

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消火器具の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 台 帳

点検件名 : マリンテラスあしや

1/2

整理 番号	階	設 置 場 所	種 別	メーカー	製造年	製造番号	型式番号	点 検 年 月 日			点 検 結 果
								令和3年 5月13日			
1	屋外	地下タンク 屋 外	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100600	27-59	外 観 点 検			○
2	屋外	地下タンク 屋 外	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100601	27-59	外 観 点 検			○
3	屋外	地下タンク 屋 外	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100602	27-59	外 観 点 検			○
4	B1F	浴室 入 口 女 湯	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100598	27-59	外 観 点 検			○
5	B1F	浴 室 機 械 室 内	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100591	27-59	外 観 点 検			○
6	1 階	受 付 奥 自動販売機前	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100593	27-59	外 観 点 検			○
7	1 階	機 械 室 内 通 路	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100594	27-59	外 観 点 検			○
8	1 階	受 水 槽 室 通 路	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100595	27-59	外 観 点 検			○
9	1 階	E V 横 通 路	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100596	27-59	外 観 点 検			○
10	1 階	従業員食堂前 廊 下	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100597	27-59	外 観 点 検			○
11	1 階	ボイラー室内 通 路	粉末10 加・蓄	ドライ	2020	019124	23-112	外 観 点 検			○
12	1 階	ボイラー室内 通 路	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100599	27-59	外 観 点 検			○
13	1 階	プロパン庫内 通 路	粉末20 加・蓄	ヤマト	2019	002719	23-361	外 観 点 検			○
14	2 階	レストラン 厨 房	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100603	27-59	外 観 点 検			○
15	2 階	E V 横 通 路	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100604	27-59	外 観 点 検			○
16	2 階	宴 会 場 通 路 表	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100605	27-59	外 観 点 検			○
17	2 階	宴 会 場 通 路 裏	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	100606	27-59	外 観 点 検			○
18	2 階	電 気 室 通 路	粉末50 加・蓄	ヤマト	2019	000284	27-59	外 観 点 検			○
19	3 階	ロ ビ ー 通 路	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	101034	27-59	外 観 点 検			○
20	3 階	303号室前 通 路	粉末10 加・蓄	ヤマト	2019	101040	27-59	外 観 点 検			○
								大 島			

消 火 器 台 帳

点検件名 _____ :

マリンテラスあしや

2 / 2

[illegible]

別記様式第2

(その1)

屋内消火栓設備点検票									
名 称		マリンテラスあしや				防 火 管 理 者		点検結果総括表と同じ	
所 在		福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地				立 会 者		点検結果総括表と同じ	
点検種別		機 器 ・ 総 合		点検年月日		令和3年5月13日 ~ 令和3年5月14日			
点 検 者		氏名		点 検 者		社名		TEL	
				所 属 会 社		住所			
点 検 備 名		ポンプ		製造者名 株式会社川本製作所		電 動 機		製造者名 三菱電機	
				型 式 等 KTK-50X406X3S-7.5TB				型 式 等 SB-JRF 7.5	
点 検 項 目				点 検 結 果				措 置 内 容	
				種別・容量等の内容		判 定			不 良 内 容
機 器 点 検									
水 源	貯 水 槽		種別 地下水槽		○				
	水 量		7.8m ³		○				
	水 状				○				
	給 水 装 置		ボールタップ方式		○				
	水 位 計		電極棒方式		○				
	圧 力 計				○				
	バ ル ブ 類				○				
加 圧 送 水 装 置	ポ ンプ 機 制 御 装 置 方 式	周 囲 の 状 況		地下1階 ポンプ室		○			
		外 形		ユニット型		○			
		表 示		電源灯		○			
		電 圧 計 ・ 電 流 計		210V A		○			
		開 閉 器 ・ ス イ ッ チ 類		NFB60A		○			
		ヒ ュ ー ズ 類		3A		○			
		継 電 器				○			
		表 示 灯				○			
		結 線 接 続				○			
		接 地		D種接地工事		○			
予 備 品 等		ヒューズ・ランプ等		○					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第 2

屋内消火栓設備（その 2）

加 圧 送 水 方 式 装 置	ポンプ	起動装置	直接操作部	周囲の状況	地下1階 ポンプ室	○		
				外形	制御盤押釦	○		
				表示		○		
				機能		○		
			遠隔操作部	周囲の状況	各消火栓箱組込	○		
				外形	押釦及び開閉式	○		
				表示		○		
				機能	専用 兼用	○		
			遠隔起動部	周囲の状況		/		
				外形		/		
				機能		/		
			起閉装置 起動用水圧	圧力スイッチ	設定圧力 MPa	/		
		起動用圧力タンク		MPa	/			
		機能		作動圧力 MPa	/			
		電動機	外形		○			
			回転軸	3460 r p m	○			
			軸受部	グリス潤滑	○			
			継手	フランジ式	○			
		ポンプ	機能	3相籠型誘導	○			
			外形		○			
			回転軸	グリス潤滑	○			
			軸受部		○			
			グラード部		○			
			連成計・圧力計		○			
			性能	0.9MPa 300L/min	○			
		呼水装置	呼水槽	100L	○			
			バルブ類		○			
			自動給水装置	ボールタップ方式	○			
			減水警報装置	フロートスイッチ	○			
			フート弁		○			
		性能試験装置			○			
		高架水槽方式		MPa	/			
		圧力水槽方式		MPa	/			
減圧のための措置			/					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第2

屋内消火栓設備（その3）

配管等	管・管継手		主管40A（開）	○				
	支持金具・つり金具			○				
	バルブ類			○				
	ろ過装置			○				
屋内消火栓等	逃し配管		オリフィス 15A	○				
	消火栓箱	周囲の状況	計13台・テスト弁1台	○				
		外形	埋込式	○				
		表示	扉前面に貼付	○				
	ホース・ノズル	外形	1号消火栓	ホース ノズル径 m×本 mm	/			
			易操作性1号消火栓・2号消火栓・ 広範囲型2号消火栓	ホース ノズル径 30m×13本 13 mm	×	※備考に記載		
		操作性			○			
		ホースの耐圧性能			/			
	消火栓開閉弁		玉型弁	○				
	表示灯		専用 <u>兼用</u>	○				
	始動表示灯		ポンプ起動時フリッカー	○				
	使用方法の表示		消火栓扉内部に貼付	○				
	降下装置	周囲の状況		/				
		外形		/				
		表示灯		/				
表示灯			/					
機能			/					
耐震措置		フレキシブル継手	○					
総合点検								
ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置		○				
		表示・警報等	※別紙に記載	○				
		電動機の運転電流	15A	○				
		運転状況		○				
	放水圧力		0.35MPa	○				
	放水量		206L/min	○				
減圧のための措置			/					
高架水槽方式・ 圧力水槽方式	放水圧力		MPa	/				
	放水量		L/min	/				
	減圧のための措置			/				
備考	※1階 受水槽室内消火栓 ホースに亀裂があり水漏している。 早急な改修を要します。 【屋上 消防用補給水槽有り 200L】							
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

【屋内消火栓設備】

(令和3年 5月 13日)

[illegible]

流量試験・放水試験 数値

	圧力値	電流値
締切(0ℓ /min)	1.02MPa	15.0A
定格(300ℓ /min)	0.86MPa	24.0A

※放水場所 : 1階 受水槽室消火栓
 放水圧力値 : 0.35MPa
 放水量 : 206ℓ

(諸警報)

- ・ポンプ起動 (1階事務室内 受信機 に表示)
- ・ポンプ故障 (1階事務室内 受信機 に表示)
- ・消火水槽減水 (1階事務室内 受信機 に表示)
- ・消火水槽満水 (表示なし)
- ・呼水槽減水 (1階事務室内 受信機 に表示)
- ・呼水槽満水 (表示なし)
- ・補給水槽減水 (表示なし)
- ・補給水槽満水 (表示なし)

非常電源（自家発電設備）点検票（設備名 屋内消火栓設備）						
名 称	マリンテラスあしや				防 火 者	点検結果総括表と同じ
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地				立 会 者	点検結果総括表と同じ
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和3年5月13日～令和3年5月14日		
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属 会 社	社名 TEL		
				住所		
点 設 備 検 名	原 動 機	製造者名 三菱自動車工業株式会社		発 電 機	製造者名 西日本発電機株式会社	
		型式等 PX-82VSR-8			型式等 PX-82MSR-B	
点 検 項 目			点 検 結 果			措 置 内 容
			種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機 器 点 検						
設 置 状 況	周 囲 の 状 況		3階 発電機室内	○		
	区 画 等		キュービクル式 キュービクル式以外	○		
	水 の 浸 透			○		
	換 気		自然 機械	○		
	照 明			/		
	標 識			○		
表 示				○		
自 家 発 電 装 置	原 動 機 ・ 発 電 機		種類:ディーゼル機関 60kW (75KVA)	○		
	冷却 装置	ラジエータ、配管等		○		
		冷 却 フ ァ ン		○		
	潤 滑 油 類			○		
そ の 他 の 付 属 機 器 類			○			
始 動 装 置	※始 動 用 蓄 電 池 設 備		12V×2	○		
	始 動 用 空 気 圧 縮 設 備	外 形		/		
		空 気 だ め	MPa L	/		
		潤 滑 油 類		/		
	始 動 用 燃 料			/		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その2）

制 御 装 置	周 囲 の 状 況		3階 発電機室内	○		
	発 電 機 盤			○		
	自 動 始 動 盤			○		
	補 機 盤			/		
	電 源 表 示 灯			○		
	表 示 灯			○		
	開 閉 器 ・ 遮 断 器		主開閉器 NFB225A	○		
	ヒ ュ ー ズ 類		A	○		
	継 電 器			○		
保 護 装 置				○		
計 器 類				○		
燃 料 容 器 等	外 形	発電機室内 別置	○			
	燃 料 貯 蔵 量	種類：軽油180L	○			
冷 却 水 タ ン ク	外 形	ラジエター冷却	○			
	水 量	19.7L	○			
排 気 筒	周 囲 の 状 況	発電機室内	○			
	外 形		○			
	貫 通 部	発電機室側面	○			
配 管				○		
結 線 接 続				○		
接 地				○		
始 動 性 能				○		
運 転 性 能	運 転 状 況		○			
	換 気		○			
停 止 性 能	手 動 停 止		○			
	自 動 停 止		○			
耐 震 措 置				○		
予 備 品 等			ランプ・ヒューズ等	○		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その3）

総 合 点 検								
接 地 抵 抗			種 別	Ω	○			
絶 縁 抵 抗				MΩ	○			
自 家 発 電 装 置 の 接 続 部					○			
始 動 装 置	※ 始 動 用 蓄 電 池 設 備				○			
	始 動 用 空 気 圧 縮 設 備			L	/			
	始 動 補 助 装 置				/			
保 護 装 置					○			
※※ 運 転 性 能	負 荷 運 転		kW		/			
	内 部 観 察 等				/			
切 替 性 能	運 転 切 替 性 能				○			
	※ 蓄 電 池 切 替 性 能				○			
	始 動 用 燃 料 切 替 性 能				/			
備 考	電気主任技術者 氏名及び番号 負荷運転又は内部観察等の最終実施年月 （ 年 月 ） ※点検の結果異常なし。 【運転状況】 回転数： 1800 r p m 電圧： 220V 周波数： 62.0H z ・ 電圧確立 5 秒 ・ 9 0 秒継続後 自動停止							
	測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。
- 7 票中※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項（6）に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は、当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。

非常電源（蓄電池設備）点検票（設備名 自家発電設備）					
名 称	マリンテラスあしや			防 管 理 火 者	点検結果総括表と同じ
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地			立 会 者	点検結果総括表と同じ
点 検 種 別	機 器 ・ 総 合	点 検 年 月 日	令和3年5月13日 ～ 令和3年5月14日		
点 検 者	氏 名		点 検 者 所 属 会 社	社 名	TEL
				住 所	
点 設 備 名	蓄 電 池	製造者名 ユアサコーポレーション		充 電 装 置	製造者名 西日本発電機株式会社
		型式等 IIS-120-6E			型式等 TC1024
	逆変換装置	製造者名		直 交 変 換 装 置	製造者名
		型式等			型式等
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
設 置 状 況	周 囲 の 状 況	3階 発電機室	○		
	区 画 等	キュービクル式 キュービクル式以外	○		
	水 の 浸 透		○		
	換 気	自然 機械	○		
	照 明		/		
	標 識		○		
蓄 電 池	外 形	鉛蓄電池シール型	○		
	表 示		○		
	電 解 液		○		
	減 液 警 報 用 電 極		○		
	液 漏 れ 警 報 用 電 極		/		
	総 電 圧	DC25.6V	○		
	セ ル 電 圧	2.2V	○		
	負 荷 容 量		○		
均 等 充 電		○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第25

非常電源（蓄電池設備）（その2）

充電装置	外形		○		
	表示		○		
	開閉器・遮断器		○		
	交流入力電圧	206V	○		
	トリクル・浮動・定電流定電圧充電電圧	トリクル 浮動 定電流定電圧 26.2V	○		
	均等充電電圧	26.4V	○		
	出力電流	A	/		
	負荷電圧	V	○		
	負荷電流	A	/		
	自動充電切替		○		
	接地		○		
逆変換装置	外形		/		
	表示		/		
	開閉器・遮断器		/		
	交流出力電圧	V	/		
	交流出力電流	A	/		
	周波数	Hz	/		
	接地		/		
直交変換装置	外形		/		
	表示		/		
	開閉器・遮断器		/		
	交流入力電圧	V	/		
	充電電圧	V	/		
	充電電流	A	/		
	交流出力電圧	V	/		
	交流出力電流	A	/		
	接地		/		
結線接続		○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第25

非常電源（蓄電池設備）（その3）

ポ ン プ	外 形		/					
	性 能		/					
タ ン ク ・ 配 管 等			/					
制 御 装 置			○					
耐 震 措 置			○					
予 備 品 等			○					
総 合 点 検								
接 地 抵 抗		種	Ω	○				
絶 縁 抵 抗			MΩ	○				
容 量				○				
切 替 装 置				○				
電 圧 計 ・ 周 波 数 計				○				
警 報 動 作				○				
減 液 警 報 装 置				○				
液 漏 れ 警 報 装 置				○				
電 圧 調 整 範 囲				/				
負 荷 電 圧 補 償 装 置				/				
タ イ マ ー				/				
備 考	電気主任技術者 氏名及び資格							
	※点検の結果異常なし。							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

自 動 火 災 報 知 設 備 点 検 票										
名 称	マリンテラスあしや						防 火 管 理 者	点検結果総括表と同じ		
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地						立会者	点検結果総括表と同じ		
点検種別	機 器 ・ 総 合		点検年月日	令和3年5月13日 ~ 令和3年5月14日						
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属 会 社	社名		TEL				
				住所						
点 検 名 設 備	受 信 機		製造者名 ニッタン株式会社							
			型 式 等 RXN-5MA 受第9-104-1 1999年製							
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容			
			種別・容量等の内容		判定	不良内容				
機 器 点 検										
予備電源・非常電源 (内蔵型)	外 形	Ni-Cd			○					
	表 示	DC 24V 6.0Ah			○					
	※端子電圧	24V			○					
	※切替装置				○					
	※充電装置				○					
	※結線接続				○					
受信機・中継器	周囲の状況		1階 事務所内			○				
	外 形		壁掛型			○				
	表 示		GR型			○				
	警戒区域の表示装置					○				
	電 圧 計		交流電源灯			○				
	スイッチ類		押釦			○				
	ヒューズ類		5A			○				
	※継電器					○				
	表 示 灯		LED			○				
	通 話 装 置		受信機～発信機間			○				
	※結線接続					○				
	接 地		D種接地工事			○				
	附 属 装 置		※備考に記載			○				
	※火災表示等	蓄積式				○				
		アナログ式				○				
		二信号式				/				
		その他				/				
	※注 意 表 示					/				
回 路 導 通		常時断線監視			○					
設定表示温度等					/					
感知器作動等の表示					○					
予 備 品 等		ヒューズ等			○					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第11

自動火災報知設備（その2）

感 知 器	感 況	外 形		○			
		警 戒 状 況	未 警 戒 部 分		○		
			感 知 区 域		○		
			適 応 性		○		
			機 能 障 害		○		
	※ 熱 感 知 器	※ 分 布 型	ス ポ ッ ト 型	送動 定温 (再) 熱アナログ	○		
			空 気 管 式		/		
			熱電対式・熱半導体式		/		
		感 知 線 型		/			
	※ 煙 感 知 器	分	ス ポ ッ ト 型	イオン 光電 アナログ	○		
			離 型		/		
	※炎 感 知 器	赤外線 紫外線	/				
	※多信号感知器・複合式感知器		/				
	遠隔試験機能を有する感知器		/				
発 信 機	周 囲 の 状 況	各消火栓箱組込	○				
	外 形	埋込型	○				
	表 示	P型 1級	○				
	押 し ボ タ ン ・ 送 受 話 器		○				
	表 示 灯		○				
音 響 装 置	外 形		/	※非常放送			
	取 付 状 態		/	※非常放送			
	音 圧 等		/	※非常放送			
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	/	※非常放送			
※蓄 積 機 能		○					
※二 信 号 機 能		/					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
- 7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

自動試験機能	予備電源・非常電源		/						
	受信機の火災表示		/						
	受信機の注意表示		/						
	受信機・中継器の制御機能・電路		/						
	感知器		/						
	感知器回路・ベル回路		/						
無線機能		/							
総合点検									
同時作動		○							
※煙感知器等の感度		○							
地区音響装置の音圧		/	※非常放送						
※総合作動		○							
備考	※受信機 プリンター故障表示が表示される。（感知器の機能的には問題ないが、印刷されない為履歴が残らない。）現状はプリントをオフラインにして故障表示を表示させないように設定。 ※3階 303号室 伝送の無応答 現状は故障マスクを掛けている状態。 ※5階 510号室の物入内の差動式スポット型感知器にへこみが有り。機能的に問題なし。取替の検討をお願いいたします。 【付属機器】 ・表示機 2台（支配人室・当直室） ・EV停止移報 ・非常放送（自火報連動） ・誘導灯信号装置								
	測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器				メーターリレー試験器				
	加煙試験器				炎感知器用作動試験器				
	外部試験器								
	煙感知器用感度試験器								
	減光フィルター								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
- 7 票中※の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第11

自動火災報知設備(その5)

警 戒 区 域		感 知 器												※ 地区音響装置	※ 発信機	点 検 結 果		
番 号 No.	名 称	差 動 式			定温式	※ 熱 アナログ式 スポット型	※ 煙 式											
		※ 分布型			ス ポ ッ ト 型		ス ポ ッ ト 型				分離型							
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式			ス ポ ッ ト 型	ス ポ ッ ト 型	※ 感 知 線 型	イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式				光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式
001	地 下 1 階																1	○
002	受 水 槽 室				3												1	○
003	1 階																1	○
004	2 階 電 気 室				2												1	○
005	2 階 E V ホール																1	○
006	2 階 宴 会 場 側																1	○
007	3 階 非 常 発 電 機 室				2												1	○
008	3 階 東 側																1	○
009	3 階 西 側																1	○
010	4 階 東 側																1	○
011	4 階 西 側																1	○
012	5 階 東 側																1	○
013	5 階 西 側																1	○
小 計					7												13	○
備 考																		

- 備考
1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2. 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3. ※印のあるもので不良のものは、(その7) に機器ごとに点検結果を記入すること。
 4. 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5. 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備(その5)

警 戒 区 域		感 知 器														※ 地 区 音 響 装 置	※ 発 信 機	点 検 結 果	
番 号 No.	名 称	差 動 式			定温式		熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ッ ト 型	※ 煙 式											
		※分布型			ス ポ ッ ト 型	ス ポ ッ ト 型		※ 感 知 線 型	ス ポ ッ ト 型				分離型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式		光 電 式		イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式		光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式
								非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積			非 蓄 積	蓄 積				
014	4 階 中 央 階 段 前												1						○
015	5 階 中 央 階 段 前												1						○
101	B1F脱衣室・機械室					9				3									○
102	B1Fカラオケ・ゲームコーナー									13									○
104	1Fロビー・売店・廊下				9														○
105	1F事務所・従業員食堂他				18	8				1									○
107	2階厨房・レストラン				5	5													○
108	2 階 宴 会 場				9					4									○
110	3 階 ロ ビ ー 他				14					3									○
111	3 階 3 0 4 号 室				4	1				1									○
112	3 階 3 0 3 号 室				4	1				1									×
113	3 階 3 0 2 号 室				3	1				1									○
114	3 階 3 0 1 号 室				3	2				1									○
小 計					69	27				28									
備 考	※303号室 感知器無応答 現状は故障マスクを掛けている。																		

- 備考
1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2. 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3. ※印のあるもので不良のものは、(その7) に機器ごとに点検結果を記入すること。
 4. 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5. 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備(その5)

警 戒 区 域		感 知 器												※ 地 区 音 響 装 置	※ 発 信 機	点 検 結 果			
番 号 No.	名 称	差 動 式			定 温 式		熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ッ ト 型	※ 煙 式											
		※分布型			ス ポ ッ ト 型	ス ポ ッ ト 型		※ 感 知 線 型	ス ポ ッ ト 型				分離型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式		
115	4 階 東 側				5						1							○	
116	4 階 西 側				5	2					2							○	
117	4 階 4 1 3 号室				3	1					1							○	
118	4 階 4 1 2 号室				2						1							○	
119	4 階 4 1 1 号室				2						1							○	
120	4 階 4 1 0 号室				2						1							○	
121	4 階 4 0 9 号室				2						1							○	
122	4 階 4 0 8 号室				2						1							○	
123	4 階 4 0 7 号室				3	1					1							○	
124	4 階 4 0 6 号室				3	1					1							○	
125	4 階 4 0 5 号室				3	1					1							○	
126	4 階 4 0 4 号室				3	1					1							○	
127	4 階 4 0 3 号室				3	1					1							○	
小 計					38	8					14								
備 考																			

- 備考
1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2. 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3. ※印のあるもので不良のものは、(その7) に機器ごとに点検結果を記入すること。
 4. 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5. 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備(その5)

警 戒 区 域		感 知 器														※ 地 区 音 響 装 置	※ 発 信 機	点 検 結 果
番 号 No.	名 称	差 動 式			定温式		熱 アナログ式 スポット 型	※ 煙 式										
		※分布型			ス ポ ッ ト 型	ス ポ ッ ト 型		※ 感 知 線 型	ス ポ ッ ト 型				分離型					
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式				
128	4 階 4 0 2 号室				3	1				1								○
129	4 階 4 0 1 号室				3	1				1								○
130	5 階 東 側				4					1								○
131	5 階 西 側				6					2								○
132	5 階 5 1 3 号室				3	1				1								○
133	5 階 5 1 2 号室				3	1				1								○
134	5 階 5 1 1 号室				3	1				1								○
135	5 階 5 1 0 号室				3	1				1								○
136	5 階 5 0 9 号室				3	1				1								○
137	5 階 5 0 8 号室				3	1				1								○
138	5 階 5 0 7 号室				3	1				1								○
139	5 階 5 0 6 号室				3	1				1								○
140	5 階 5 0 5 号室				1					1								○
小 計					41	10				14								
備 考																		

- 備考
1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2. 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3. ※印のあるもので不良のものは、(その7) に機器ごとに点検結果を記入すること。
 4. 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5. 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備(その5)

警 戒 区 域		感 知 器														※ 地 区 音 響 装 置	※ 発 信 機	点 検 結 果
番 号 No.	名 称	差 動 式			定 温 式		※ アナログ式 スポット型	※ 煙 式										
		※ 分布型			ス ポ ッ ト 型	ス ポ ッ ト 型				分 離 型								
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式		イオン化式 非蓄積		光 電 式 非蓄積	イオン化アナログ式	光 電 アナログ式 非蓄積	光 電 式 非蓄積	光 電 アナログ式						
141	5 階 5 0 4 号 室				3	1				1								○
142	5 階 5 0 3 号 室				3	1				1								○
143	5 階 5 0 2 号 室				3	1				1								○
144	5 階 5 0 1 号 室				2	1				1								○
145	客 用 E V 機 械 室				1													○
146	従 業 員 E V 機 械 室				1													○
201	1 階 ティーラウンジ											1						○
202	1 階 中 央 階 段 D N											1						○
203	1 階 客 用 トイレ前											1						○
204	1 階 エントランス ロ ビ											1						○
205	1 階 売 店											1						○
206	1 階 売 店											1						○
小 計					13	4				4		6						
備 考																		

- 備考
1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2. 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3. ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとに点検結果を記入すること。
 4. 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5. 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備(その5)

警 戒 区 域		感 知 器														※ 地 区 音 響 装 置	※ 発 信 機	点 検 結 果			
番 号 No.	名 称	差 動 式			定 温 式			熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ツ ト 型	※ 煙 式												
		※分布型			ス ポ ツ ト 型	ス ポ ツ ト 型	※ 感 知 線 型		ス ポ ツ ト 型				分離型								
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式							
207	1 階 食 品 庫 裏														1						○
208	1 階 売 店														1						○
209	1 階 1 階 階 段 裏 DN														1						○
211	2 階 宴 会 場 入 口														1						○
212	2 階 宴 会 場 入 口														1						○
213	2 階 ロ ビ ー														1						○
218	3 階 ロ ビ ー														1						○
219	3 階 吹 き 抜 け														1						○
220	3 階 裏 階 段 踊 り 場														1						○
221	5 階 中 央 階 段 踊 り 場														1						○
223	従 業 員 用 EV シャフト														1						○
224	客 用 EV シャフト														1						○
225	階 段														1						○
総 合 計					168	49						60			22					13	
備 考																					

- 備考
1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2. 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3. ※印のあるもので不良のものは、(その7) に機器ごとに点検結果を記入すること。
 4. 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5. 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第26

配 線 点 検 票										(設 備 名 自動火災報知設備)	
名 称	マリンテラスあしや							防 火 管理者	点検結果総括表と同じ		
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 1 5 8 8 番地							立会者	点検結果総括表と同じ		
点検種別	総 合		点検年月日	令和 3 年 5 月 1 3 日 ~ 令和 3 年 5 月 1 4 日							
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属会社	社名		TEL					
				住所							
点 検 項 目				点 検 結 果				措 置 内 容			
				種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容				
総 合 点 検											
専 用 回 路	1 階 分電盤内			○							
開 閉 器 ・ 遮 断 器	NFB20A			○							
ヒ ュ ー ズ 類				／							
絶 縁 抵 抗	常用 MΩ 非常50MΩ			○							
耐 熱 保 護				○							
備 考	※点検の結果異常なし。										
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

ガス漏れ火災警報設備点検票									
名 称	マリンテラスあしや						防火 管理者		
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地						立会者		
点検種別	機 器 ・ 総 合		点検年月日	令和3年5月13日 ~ 令和3年5月14日					
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属 会 社	社名 TEL					
				住所					
点 設 備 検 名	受 信 機	製造者名 ニッタン株式会社			中 継 器	製造者名			
		型 式 等 RXN-5MA				型 式 等			
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容		
			種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容			
機 器 点 検									
予備電源・非常電源 (内蔵型)	外 形	Ni-Cd		○					
	表 示	DC24V 6.0Ah		○					
	端 子 電 圧	DC24V		○					
	切 替 装 置			○					
	充 電 装 置			○					
	結 線 接 続			○					
受 信 機 ・ 中 継 器	周 囲 の 状 況	1階 事務所内		○					
	外 形	壁掛型		○					
	表 示	GR型		○					
	警 戒 区 域 の 表 示 装 置			○					
	電 圧 計	交流電源灯		○					
	ス イ ッ チ 類	押釦		○					
	ヒ ュ ー ズ 類	5A		○					
	継 電 器			○					
	表 示 灯	LED		○					
	通 話 装 置			/					
	結 線 接 続			/					
	接 地	D種接地工事		○					
	附 属 装 置	ガス遮断弁コントローラー		○					
	ガ ス 漏 れ 表 示	受信機液晶画面表示		○					
	回 路 導 通	常時断線監視		○					
故 障 表 示	受信機液晶画面表示		○						
予 備 品 等	ヒューズ等		○						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第11の2

ガス漏れ火災警報設備（その2）

ガス漏れ検知器	外	形	SD-023・SH1274		○			
	警戒状況	未警戒部分			○			
		設置場所・設置位置	別紙に記載		○			
		適応性			○			
		機能障害			○			
作動等			○					
警報装置	音声警報装置	外	形			/		
		取付状態			/			
		増幅器、操作部			/			
		音圧等			/			
	ガス漏れ表示灯				/			
	検知区域警報装置	外	形			○		
		取付状態			○			
		音圧等			○			
鳴動区域		検知器内蔵ブザー		○				
総合点検								
同時作動				○				
検知区域警報装置		70db以上		○				
総合作動				○				
備考	※点検の結果異常なし。							
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加ガス試験器							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

【ガス漏れ火災警報設備設置場所】

・従業員食堂（単独）	パナソニック株式会社	SH1274
・食器洗浄コーナー	矢崎計器株式会社	YP-313 SD-023
・2階厨房①	矢崎計器株式会社	YP-313 SD-023
・2階厨房②	矢崎計器株式会社	YP-313 SD-023
・ガス遮断弁コントローラー	矢崎計器株式会社	VCB-12D

検知器 4 台 遮断弁コントローラー 1 台

消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備 点 検 票								
名 称	マリンテラスあしや				防 火 管 理 者	点検結果総括表と同じ		
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地				立 会 者	点検結果総括表と同じ		
点検種別	機 器	点検年月日	令和3年5月13日～令和3年5月14日					
点 検 者	氏 名	点 検 者 所 属 会 社	社 名		TEL			
			住 所					
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容			
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容				
機 器 点 検								
火 災 通 報 装 置	予 備 電 源	外 形	NI-CD	○				
		表 示	DC16.8 0.6Ah	○				
		結 線 接 続		○				
		電 圧	DC16.6V	○				
		切 替 装 置		○				
		充 電 装 置		○				
	本 体	周囲の状況		1階 事務所内	○			
		外 形	壁掛型		○			
		表 示	火通-008号		○			
		ヒューズ類		0.1・3.15・2A	○			
		予 備 品 等		ヒューズ等	○			
		起 動 機 能	手動起動装置		○			
			連動起動機能		/			
		優先通報機能			/			
		通報頭出し機能			/			
		手動起動装置優先機能			○			
		蓄積音声情報機能			○			
		再呼出し機能			/			
		通 話 機 能 等 (※)	蓄積音声情報送出後の呼返し			/		
			不応答時の通報継続			/		
切 替				/				
通話終了後の呼返し				/				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと

別記様式第13

消防機関へ通報する火災報知設備（その2）

火災通報装置	本体	ハンズフリー通話への移行			/			
		通話機能等（切替）	切		/			
			替		/			
	遠隔起動装置	電話回線の保持			/			
		モニター機能			/			
		周囲の状況			/			
		外形			/			
	表示機能	表示			/			
		機能			/			
		回線終端装置等	外形			/		
			予備電源	外形		/		
	回線終端装置等との接続				/			
	切替装置				/			
	充電装置		/					
消防機関へ通報する火災報知設備	発信機	周囲の状況			/			
		外形			/			
		機能	押しボタン		/			
			連動起動機能		/			
	結線接続			/				
	標識	標識板	外形		/			
			常夜灯		/			
		標識灯			/			
	備考	※点検の結果異常なし。 ・ニッタン株式会社 ETA-1 火通－008号 ・専用回線 093-293-3003 ≪蓄積音声≫ ・火事です。火事です。 こちらは 芦屋町山鹿1588 国民宿舎マリンテラスあしやです。 電話は 223-1081です。 逆信願います。						
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第26

配 線 点 検 票 (設 備 名 消防機関へ通報する火災報知設備)								
名称	マリンテラスあしや					防 火 管	点検結果総括表と同じ	
所在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 1 5 8 8 番地					立会者	点検結果総括表と同じ	
点検種別	総 合	点検年月日	令和3年5月13日 ~ 令和3年5月14日					
点検者	氏名	点 検 者 所	社名 TEL					
			住所					
点 検 項 目		点 検 結 果			備 考			
		種別・容量等の内容	判定	不良内容				
総 合 点 検								
専用回路		1 階 分電盤内		○				
開閉器・遮断器		NFB20A		○				
ヒューズ類				/				
絶縁抵抗		常用 MΩ 非常50MΩ		○				
耐熱保護				○				
備 考	※点検の結果異常なし。							
備 考	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

非常警報器具及び設備点検票										
名 称	マリンテラスあしや					防 火 管理者	点検結果総括表と同じ			
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 1 5 8 8 番地					立会者	点検結果総括表と同じ			
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和3年5月13日～令和3年5月14日						
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属 会 社	社名 TEL						
				住所						
点 検 設 備 名	操作部・ 複合装置	製造者名 TOA株式会社			増 幅 器	製造者名 TOA株式会社				
		型 式 等 FS-971 EP0510				型 式 等 FS-971 PA2440B				
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容			
			種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容				
機 器 点 検										
非常電源 (内蔵型)	外	形	Ni-Cd		○					
	表	示	DC24V 6000mAh		○					
	端 子	電 圧	DC24V		○					
	切 替	装 置			○					
	充 電	装 置			○					
	結 線	接 続			○					
非常ベル・ 自動式サイレン	起動装置	周囲の状況				/				
		外	形			/				
		表	示			/				
		機	能			/				
	操作部・ 複合装置	外	形			/				
		表	示			/				
		電 圧	計	V		/				
		ス イ ッ チ	類			/				
	ベル・サイレン	ヒ ュ ー ズ	類	A		/				
		継 電	器			/				
		表 示	灯			/				
		結 線	接 続			/				
	予備品等	接 地			/					
		予 備 品	等			/				
		外	形			/				
取 付		状 態			/					
音 圧		等			/					
	鳴 動	方 式	一斉 区分 相互 再鳴動		/					
	表 示	灯			/					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第14

非常警報器具及び設備（その2）

放 送 器 等 備	起 動 装 置	周 围 の 状 況	1 階 事務所内	○		
		外 形	自立型	○		
		押 し ボ タ ン 等		○		
		発 信 機 ・ 非 常 電 話		/		
		自動火災報知設備との連動		○		
	増 幅 器 等	周 围 の 状 況	1 階 事務所内	○		
		外 形	自立型	○		
		表 示	28/35L	○		
		電 圧 計	DC24V	○		
		ス イ ッ チ 類	押釦	○		
				/		
		ヒ ュ ー ズ 類	1・10・25A	○		
		継 電 器		○		
		計 器 類		○		
		表 示 灯		○		
		結 線 接 続		○		
		接 地	D種接地工事	○		
		回 路 選 択		○		
		2 以 上 の 操 作 部 等		/		
		遠 隔 操 作 器 の 連 動		/		
		非 常 用 放 送 切 替		○		
		※地震動予報等に係る放送切替		/		
		回 路 短 絡		○		
		音 声 警 報 音		○		
		火 災 音 信 号		○		
		マ イ ク ロ ホ ン		○		
		予 備 品 等	ヒューズ等	○		
		ス ピー カー	外 形	コーン型・壁掛型	○	
	取 付 状 態			○		
	音 圧 等		90db以上	○		
	鳴 動 方 式		一斉 <u>区分</u> 相互 <u>再鳴動</u>	○		
	音 量 調 整 器			/		
	表 示 灯	表 示 灯		/		
警 鐘 ・ 等		周 围 の 状 況		/		
		外 形		/		
	機 能		/			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第二十五条の二第二項第三号りに規定する地震動予報等に係る放送を行う場合に限る。

備考	1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
----	---

別記様式第26

配線点検票 (設備名 非常警報器具及び設備)								
名 称	マリンテラスあしや						防 火 管理者	点検結果総括表と同じ
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地						立会者	点検結果総括表と同じ
点検種別	総 合		点検年月日	令和3年5月13日 ~ 令和3年5月14日				
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属会社	社名		TEL		
				住所				
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容	
			種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容		
総 合 点 検								
専 用 回 路	1階 倉庫内 L-1分電盤		○					
開 閉 器 ・ 遮 断 器	NFB20A		○					
ヒ ュ ー ズ 類			/					
絶 縁 抵 抗	常用 MΩ 非常50MΩ		○					
耐 熱 保 護			○					
備 考	※点検の結果異常なし。							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

避 難 器 具 点 検 票										
名 称	マリンテラスあしや						防 火 管理者	点検結果総括表と同じ		
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地						立会者	点検結果総括表と同じ		
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和3年5月13日～令和3年5月14日						
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属 会 社	社名 TEL						
				住所						
設 置 階	2階・3階・4階・5階									
設 置 場 所	2階（レストランテラス・宴会場テラス）3～5階（1号室テラス）									
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容			
			種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容				
機 器 点 検										
周囲の状況	設 置 場 所		屋外		○					
	操 作 面 積 等				○					
	開 口 部		600×600		○					
	降 下 空 間		直下階テラス		○					
	避 難 空 地		駐車場及び裏手敷地内		○					
標	識		設置居室入口に標識		○					
器具本体	避難はしご	縦 棒				○				
		横 さ ん				×	※備考欄に記載			
		突 子				○				
		結 合 部 等				○				
		可 動 部	外 形			○				
			機 能			○				
	つ り 下 げ 金 具				○					
	緩降機	調 速 機	外 形			/				
			機 能			/				
		調 速 機 の 連 結 部				/				
ロ ー プ				/						
すべり台	着 用 具				/					
	ロープと着用具の緊結部				/					
	底 板 及 び 側 板				/					
	す べ り 面 の 勾 配				/					
	手 す り				/					
	す べ り 棒				/					
避難ロープ	ロ ー プ 本 体				/					
	結 合 部				/					
つ り 下 げ 金 具				/						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第15

避難器具（その2）

器 具 本 体	避難橋	床 板、手 す り 等			／			
		接 合 部			／			
		可 動 部	外 形		／			
			機 能		／			
	避難用タラップ	踏 み 板、手 す り 等			／			
		接 合 部			／			
		可 動 部	外 形		／			
			機 能		／			
	救 助 袋	本 体 布 及 び 展 張 部 材			／			
		縫 い 合 せ 部			／			
		保護装置（斜降式の救助袋に限る。）			／			
		結 合 部			／			
		可 動 部	外 形		／			
			機 能		／			
		取 付 具 ・ 支 持 部	取 付 具			○		
			可 動 部			○		
支 持 部				○				
固 定 環				○				
ハッチ	上 蓋			○				
	下 蓋			○				
使 用 方 法 の 表 示		ハッチ上蓋に貼付	○					
格納状況	格 納 箱		スチール製	○				
	格 納 状 況			○				
総 合 点 検								
器 具 の 取 付 け 等					○			
降 下					×	※備考欄に記載		
格 納					○			
備 考	※2階～5階に設置してある折りたたみ式の避難はしごの横さん（足を掛ける部分）がサビで腐食している為、降下の際に危険である。早急な改修を要します。 【設置場所及び型式】 ・別紙に記載							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

【避難器具設置場所及び型式一覧】

設置場所	
2階	レストランテラス
2階	宴会場屋外テラス
3階	301号室屋外テラス
4階	401号室屋外テラス
5階	501号室屋外テラス

【型式】

(2階 レストランテラス)

城田鉄工株式会社 は第52～7～1号 金属製避難つり下げはしご
つり下げ式 (ワイヤーロープ式)
4. 6 m 8. 4 kg

(2階 宴会場屋外テラス)

ナカ工業株式会社 は第4～3号 金属製避難つり下げはしご
折りたたみ式
3. 7 m 21. 6 kg

(3階 301号室屋外テラス)

ナカ工業株式会社 は第4～3号 金属製避難つり下げはしご
折りたたみ式
3. 7 m 21. 6 kg

(4階 401号室屋外テラス)

ナカ工業株式会社 は第4～3号 金属製避難つり下げはしご
折りたたみ式
3. 7 m 21. 6 kg

(5階 501号室屋外テラス)

ナカ工業株式会社 は第4～3号 金属製避難つり下げはしご
折りたたみ式
2. 7 m 17. 6 kg

誘導灯及び誘導標識点検票									
名 称	マリンテラスあしや					防 火 管 理 者	点検結果総括表と同じ		
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地					立 会 者	点検結果総括表と同じ		
点検種別	機 器		点検年月日		令和3年5月13日～令和3年5月14日				
点 検 者	氏 名		点 検 者 所 属 会 社		社 名		TEL		
					住 所				
点 検 項 目			点 検 結 果					措 置 内 容	
			種別・容量等の内容			判 定	不 良 内 容		
			避 難 口	通 路	客 席				
機 器 点 検									
誘 導 灯	外箱・表示面	種 類			/	○			
		視認障害等			/	○			
		外 形			/	○			
		表 示			/	○			
	非 常 電 源 (内 蔵 型)	外 形			/	○			
		表 示			/	○			
		機 能			/	○			
	光 源				/	○			
	点 検 ス イ ッ チ				/	○			
	ヒ ュ ー ズ 類				/	○			
	結 線 接 続				/	○			
	信 号 装 置 等	外 形		/	/	○			
		結 線 接 続		/	/	○			
機 能			/	/	○				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第16

誘導灯及び誘導標識（その2）

誘 導 標 識	外 形		/	/	/	/		
	視 認 障 害 等		/	/	/	/		
	採 光 又 は 照 明		/	/	/	/		
	※表 示 面 の 輝 度		/	/	/	/		
	※設 置 場 所 の 照 度		/	/	/	/		
	※ ※ ヒ ュ ー ズ 類		/	/	/	/		
	※ ※ 結 線 接 続		/	/	/	/		
	※※※非常電源	外形	/	/	/	/		
		表示	/	/	/	/		
機能		/	/	/	/			
備 考	※点検の結果異常なし。 【設置台数】 ・別紙に記載							
測 定 機 器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号ハ並びに第28条の3第
- 7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。
- 8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

別記様式第26

配線点検票								(設備名 誘導灯)	
名称	マリンテラスあしや						防火管	点検結果総括表と同じ	
所在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地						立会者	点検結果総括表と同じ	
点検種別	総合		点検年月日	令和3年5月13日～令和3年5月14日					
点検者	氏名		点検者所	社名		TEL			
				住所					
点検項目			点検結果				備		
			種別・容量等の内容		判定	不良内容			
総合点検									
専用回路			各階分電盤内		○				
開閉器・遮断器			NFB20A		○				
ヒューズ類					/				
絶縁抵抗			常用 MΩ 非常50MΩ		○				
耐熱保護					○				
備考	※点検の結果異常なし。								
備	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

誘導灯総括表

物件名：

マリンテラスあしや

1/1

階	設置場所	種別	大きさ	形状	矢印	判定	備考
B 1	浴室前 通路	避難口	B 級 B L 型	両面		○	キセノン・音声警報 B1
B 1	階段前 通路	避難口	中 型	両面		○	キセノン・音声警報 B2
B 1	カラオケBOX マリゾン前	避難口	中 型	片面		○	B3
B 1	ゲームコーナー 通路	室内通路灯	中 型	両面		○	B4
1 階	正面玄関 出入口	避難口	中 型	片面		○	キセノン・音声警報 1-1
1 階	裏玄関 出入口	避難口	中 型	片面		○	キセノン・音声警報 1-2
1 階	中央通路 出入口	避難口	中 型	片面		○	キセノン・音声警報 1-3
1 階	事務所裏 出入口	避難口	中 型	片面		○	キセノン・音声警報 1-4
1 階	事務所裏 生簀上	避難口	中 型	片面		○	1-5
1 階	機械室 出入口	避難口	中 型	片面		○	1-6
1 階	ロビー 通路	廊下通路灯	中 型	片面		○	1-7
2 階	レストラン 出入口	避難口	中 型	片面		○	2-1
2 階	パントリ 出入口	避難口	中 型	片面		○	キセノン・音声警報 2-2
2 階	漁火（三） 出入口	避難口	中 型	片面		○	2-8
2 階	レストラン 階段	避難口	中 型	片面		○	キセノン・音声警報 2-10
2 階	厨房 通路	室内通路灯	中 型	片面		○	2-3
2 階	レストラン 通路	室内通路灯	中 型	両面		○	2-4
2 階	レストラン 通路	室内通路灯	中 型	両面		○	2-5
2 階	レストラン奥 パントリ	廊下通路灯	C 級	片面		○	2-6
2 階	レストラン ロビー通路	廊下通路灯	中 型	片面		○	2-7
2 階	漁火（二） 通路	廊下通路灯	中 型	片面		○	2-9

誘導灯総括表

物件名 :

マリンテラスあしや

1/1

階	設置場所	種別	大きさ	形状	矢印	判定	備考
3階	階段出入口	避難口	中型	片面		○	3-1
3階	外階段室出入口	避難口	中型	両面		○	キセノン・音声警報 3-2
3階	多目的ホール右出入口	避難口	中型	片面		○	3-5
3階	多目的ホール左出入口	避難口	中型	片面		○	3-6
3階	喫煙室前路	廊下通路灯	中型	両面		○	3-3
3階	302号室前路	廊下通路灯	中型	片面		○	3-4
4階	階段出入口	避難口	中型	片面		○	4-1
4階	外階段室出入口	避難口	中型	片面		○	キセノン・音声警報 4-2
4階	413号室前路	避難口	中型	片面		○	キセノン・音声警報 4-3
4階	410号室前路	廊下通路灯	C級	両面		○	4-4
4階	406号室前路	廊下通路灯	中型	片面		○	4-5
4階	402号室前路	廊下通路灯	中型	片面		○	4-6
5階	階段出入口	避難口	中型	片面		○	5-1
5階	外階段室出入口	避難口	中型	両面		○	キセノン・音声警報 5-2
5階	513号室前路	避難口	中型	片面		○	キセノン・音声警報 5-3
5階	510号室前路	廊下通路灯	中型	片面		○	5-4
5階	507号室前路	廊下通路灯	中型	片面		○	5-5
5階	502号室前路	廊下通路灯	中型	片面		○	5-6

連 結 送 水 管 (共同住宅用連結送水管) 点 検 票									
名称	マリンテラスあしや					防火 管理者	点検結果総括表と同じ		
所在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地					立会者	点検結果総括表と同じ		
点検種別	機 器 ・ 総 合		点検年月日	令和3年5月13日 ~ 令和3年5月14日					
点検者	氏名		点 検 者 所属会社	社名 TEL					
				住所					
点検 設備名	電動機	製造者名			ポンプ	製造者名			
		型 式 等				型 式 等			
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容		
			種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容			
機 器 点 検									
送 水 口	周囲の状況		屋外 駐車場入り口		○				
	外形		スタンド型 双口型		○				
	本体				○				
	標識				○				
放 水 用 器 具 格 納 箱 等	放水用器 具格納箱	周囲の状況		/					
		外形		/					
		標識		/					
	ホース・ノ	外形・機能		ホース ノズル径 m × 本 mm		/			
		ホースの耐圧性能				/			
	放水口	周囲の状況		3階～R階 7か所		○			
		外形		単口 65A		○			
		標識		放水口箱扉前面に貼付		○			
		開閉弁		玉形弁		○			
	格納箱				/				
加 圧 送 水 装 置	電 動 機 の 制 御 装 置	周囲の状況		/					
		外形		/					
		表示		/					
		電圧計・電流計		V A		/			
		開閉器・スイッチ類				/			
		ヒューズ類		A		/			
		継電器				/			
		表示灯				/			
		結線接続				/			
		接地		種接地		/			
予備品等				/					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第20

連結送水管（その2）

加 圧 送 水 装 置	起 動 装 置	直 接 操 作 部	周囲の状況		/		
			外形		/		
			表示		/		
			機能		/		
		遠 隔 操 作 部	周囲の状況		/		
			外形		/		
			表示		/		
			機能	専用 兼用	/		
	電 動 機	外形		/			
		回転軸		/			
		軸受部		/			
		軸継手		/			
		機能		/			
		ポ ン プ	外形		/		
			回転軸		/		
			軸受部		/		
			グランド部		/		
			連成計・圧力計		/		
			性能	MPa L/min	/		
		呼 水 装 置	呼水槽		/		
バルブ類			/				
自動給水装置			/				
減水警報装置			/				
中 間 水 槽 等	中 間 水 槽	外形		/			
		水状		/			
	給水装置		/				
	水位計		/				
	バルブ類		/				
配 管 等	管・管継手	外形		○			
		配管の耐圧性能	2020年11月実施	○			
	支持金具・つり金具		○				
	バルブ類		○				
	ろ過装置		/				
	逃し配管		/				
耐震措置				○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

備考	1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
----	---

別記様式第26

配線点検票 (設備名 連結送水管設備【表示灯】)								
名称	マリンテラスあしや				防火管	点検結果総括表と同じ		
所在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地				立会者	点検結果総括表と同じ		
点検種別	総合	点検年月日	令和3年5月13日～令和3年5月14日					
点検者	氏名	点検者所	社名	TEL				
			住所					
点検項目		点検結果			備			
		種別・容量等の内容	判定	不良内容				
総合点検								
専用回路		1階分電盤内		○				
開閉器・遮断器		NFB20A		○				
ヒューズ類				／				
絶縁抵抗		常用 MΩ 非常50MΩ		○				
耐熱保護				○				
備考	※点検の結果異常なし。							
器具	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

(その1)

防 火 設 備 点 検 表						(防火扉・シャッター・ダンパー・ たれ壁・非常錠)	
名 称	マリンテラスあしや				防 火 管 理 者	点検結果総括表と同じ	
所 在	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1588番地				立 会 者	点検結果総括表と同じ	
点検種別	機器・総合		点 検 年 月 日	令和3年5月13日～令和3年5月14日			
点検者	氏名		点 検 者 所 属 会 社	社名 TEL			
				住所			
点 検 名 設 備 名	連 動 制 御 盤	製造者名	ニッタン株式会社		型 式 等	RXN-5MA	
	連 動 操 作 盤						
	複 合 盤 受 信 機						
点 検 項 目			点 検 結 果			措置内容	
			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	判 定	不 良 内 容		
予 備 電 源 非 常 電 源 (内 蔵 型)	外 形	Ni-Cd	○				
	表 示	DC24V 6.0Ah	○				
連 動 制 御 盤 ・ 連 動 操 作 盤 複 合 受 信 機 ・ 連 動 中 継 器	周 囲 の 状 況		1階 事務所内	○			
	外 形		壁掛型	○			
	差 動 確 認 表 示 装 置		受信機液晶画面	○			
	電 圧 計		交流電源灯	○			
	ス イ ッ チ 類		押釦	○			
	表 示			○			
	予 備 品 等		ヒューズ等	○			
表 示 灯		LED	○				
防 火 扉 シャッター ダンパー 垂 れ 壁	周 囲 の 状 況		各階	○			
	変 形 ・ 損 傷			○			
	温 度 ヒ ュ ー ズ			/			
	取 付 状 況			○			
	手 動 起 動 装 置			○			
自 鎖 動 装 閉 置 感 知 器	周 囲 の 状 況			○			
	変 形 ・ 損 傷			×	※備考欄に記載		
	取 付 状 況			○			
	機 能 障 害			○			
知 器	取 付 状 況			○			
	変 形 ・ 損 傷			○			

(その2)

機 器 点 検						
予備電源 (内蔵型)	端子電圧	DC24V	○			
	切替装置		○			
	充電電圧		○			
	結線接続		○			
複合盤受信機・連動中継器	スイッチ類	押釦	○			
	ヒューズ類	5A	○			
	継電器		○			
	ランプ類		○			
	表示灯	LED	○			
	結線接続		○			
	設置		○			
	付属装置		/			
	作動確認表示装置		○			
	遠隔手動操作		○			
防火戸 シャッター ダンパー 垂れ壁	開閉作動状況		×	※備考欄に記載		
	機能障害		×	※備考欄に記載		
	温度ヒューズ		/			
	ガイドレール		○			
手動起動装置	巻上げ装置	手動 電動	/			
		点検口内及び壁埋込スイッチ	○			
自動閉鎖装置	作動状況		×	※備考欄に記載		
	復旧状況		○			
感知器	作動状況	熱式	/			
		煙式	○			
		光電式アナログ感知器 2種	○			
総 合 点 検						
同時作動			○			
※煙感知器感度			○			
総合作動			○			
配線	絶縁抵抗	電源回路	常用 非常	MΩ 50MΩ	○	
		制御回路		50MΩ	○	
		感知器回路		50MΩ	○	
		附属装置回路		MΩ	/	

備考 1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2. 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3. 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4. 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5. 措置内容欄には、点検の歳措置した内容をきにゅうすること。

(その4)

防火設備点検表

防火扉・シャッター・ダンパー
たれ壁・非常錠

表 示 回 路		設 置										数	総 合 点 検		点 検 結 果	措 置 内 容	
番 号	名 称	連 動 中 継 器	手 動 起 動 装 置	自 動 起 動 装 置			自 動 開 錠 装 置					音 響 装 置	製 造 番 号	感 度 濃 度			
				感 知 器	※ 煙 感 知 器		防 火 戸	シ ャ ッ タ ー	ダ ン パ ー	垂 れ 壁	そ の 他						
					熱 感 知 器	イ オ ン 化 式											光 電 式
201	1階ティールラウンジ		1			1		6	}						○		
204	1階エントランスロビー		1			1		6							○		
205	1 階 売 店		1			1		6		※ 6 枚一斉起動						○	
206	1 階 売 店		1			1		6							○		
208	1 階 売 店		1			1		6							○		
207	1 階 食 品 庫 前					1	1								×		
212	2 階 宴 会 場 入 口					1	1	1							○		
218	3 階 ロ ビ ー					1	1								○		
014	4 階 中 央 階 段 前					1	1								○		
015	5 階 中 央 階 段 前					1	1								○		

- 備考 1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2. 点検結果欄は正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良事項及び措置内容は内容欄に記入すること。記入できない場合「備考」に詳細を記入すること。
3. 連動制御器の表示回路ごとに数量を記入すること。
4. ※印のあるもので不良のものは、製造番号を記入すること。